

公示用

設 計 書

工事名称 南区土木センター冷暖房衛生設備改修工事

工事内容説明書

1. 工事名称 南区土木センター冷暖房衛生設備改修工事

2. 施工場所 札幌市南区南31条西8丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和7年12月12日 まで

5. 工事内容 南区土木センターの冷暖房設備、換気設備、給排水設備、衛生器具設備等の改修工事を行う。

共通費の算定に用いる工期 T = 7.7

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費含む
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

南区土木センター									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
冷房設備		1		式					
暖房設備		1		式					
給油設備		1		式					
換気設備		1		式					
自動制御設備		1		式					
衛生器具設備		1		式					
屋外給水設備		1		式					
屋内給水設備		1		式					
排水設備		1		式					
給湯設備		1		式					
プロパンガス設備		1		式					
都市ガス設備		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

南区土木センター		冷房設備		設備工		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	6.35外径(1/4B) 液管 厚8mm		m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径(3/8B) 液管 厚8mm		m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	12.7 外径(1/2B) 液管 厚10mm以上		m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	12.7 外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上		m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上		m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	19.05外径(3/4B) ガス管 厚20mm以上		m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	25.4 外径(1 B) ガス管 厚20mm以上		m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 30A		m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 25A		m			
保温化粧ケース (金属製)			m			
保温化粧ケース (樹脂製)			m			
600Vポリリン絶縁 耐燃性ポリリンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井		m			
耐震支持費		1	式			
あと施工アンカー		1	式			
据付費		1	式			
搬入費		1	式			
撤去費		1	式			
保温材分別費		1	式			
搬出費		1	式			
はつり補修費		1	式			

南区土木センター		暖房設備		機器費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
BH 真空温水器	缶体出力:348KW,2回路		基			
SD 煙導	SS400,300 x3.2t x 4.0~4.8m	1	式			
EH 熱交換器	シェルチューブ型,交換熱量:17.4KW		基			
HP-1 温水循環ポンプ	ライ型 40x190L/min,3 x 200V x 0.4KW		台			
HP-2 温水循環ポンプ	ライ型 32x80L/min,3 x 200V x 0.75KW		台			
HP-3 温水循環ポンプ	ライ型 25x35L/min,3 x 200V x 0.25KW		台			
HP-4 温水循環ポンプ	ライ型 25x20L/min,3 x 200V x 0.25KW		台			
HP-5 温水循環ポンプ	ライ型 25x25L/min,3 x 200V x 0.25KW		台			
HS 温水ヘッダ	鋼管製 150A x 1,600L 架台付		台			
HR 温水ヘッダ	鋼管製 150A x 1,800L 架台付		台			
TE-1 密閉式膨張タンク	タンク容量96L		台			
TE-2 密閉式膨張タンク	タンク容量7.5L		台			
TPW 水槽付きポンプ	タンク容量50L,ポンプ 20A x 20L/min 1 x 100V x 0.13KW		台			
WP-1 補給水ポンプ	タンク容量50L,20 x15L/minx20m 1 x100L x 0.15kw		台			
ハ° 給ヒーター	1.9KW 1400L		台			警備室
ハ° 給ヒーター	1.1KW 800L		台			清掃員室
ハ° 給ヒーター	1.1KW 800L		台			洗面室
ハ° 給ヒーター	2.0KW 1200L		台			洗濯乾燥室
ハ° 給ヒーター	1.2KW 800L		台			シャワー室
ハ° 給ヒーター	1.2KW 1000L		台			脱衣室

南区土木センター		暖房設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サーモバルブ	20A		個			
サーモバルブ	15A		個			
レタンコック	20A		個			
レタンコック	15A		個			
気水分離器	黒 65A		個			
気水分離器	黒 50A		個			
気水分離器	黒 32A		個			
気水分離器	黒 25A		個			
MV-1 電動三方弁装置	32x20		組			
MV-2 電動三方弁装置	25x20		組			
MV-3 電動三方弁装置	25x20		組			
PV-1 差圧調整弁装置	50x50		組			
RV-1 減圧弁装置	20x20		組			
青銅仕切弁	5K(ねじ) 50A		個			
青銅仕切弁	5K(ねじ) 32A		個			
青銅仕切弁	5K(ねじ) 25A		個			
青銅仕切弁	5K(ねじ) 20A		個			
青銅仕切弁	5K(ねじ) 15A		個			
青銅逆止弁	10K(ねじ・スイング) 50A		個			
青銅逆止弁	10K(ねじ・スイング) 32A		個			

南区土木センター		暖房設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
青銅逆止弁	10K(ねじ・スイング) 25A		個			
青銅逆止弁	10K(ねじ・スイング) 20A		個			
ゴムシートバクワイ弁	10K(ワエル→ 鑄鉄) 65A		個			
自動IA抜弁	20A		個			
自動IA抜弁	15A		個			
防振継手	合成ゴム製 65A		個			
防振継手	合成ゴム製 50A		個			
防振継手	合成ゴム製 32A		個			
防振継手	合成ゴム製 25A		個			
防振継手	合成ゴム製 20A		個			
防振継手	ハコ型 40A		個			
防振継手	ハコ型 20A		個			
鋼管用伸縮管継手	複式 32A		個			
鋼管用伸縮管継手	複式 40A		個			
安全弁	25A		個			
Y形ストレーナ	10K 50A		個			
Y形ストレーナ	10K 32A		個			
圧力計	水用		組			
水高計	100 0-30m		個			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 屋内一般 50A		m			

南区土木センター			暖房設備		設備工	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 屋内一般 40A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 屋内一般 32A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 屋内一般 25A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 屋内一般 20A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 機械室・便所 65A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 機械室・便所 50A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 機械室・便所 32A		m			
温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)改修	ねじ接合 機械室・便所 25A		m			
冷温水・配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ接合 機械室・便所 20A		m			
保温工事		1	式			
塗装工事		1	式			
耐震支持費		1	式			
あと施工アンカー		1	式			
据付費		1	式			
搬入費		1	式			
撤去費		1	式			
保温材分別費		1	式			
搬出費		1	式			
はつり補修費		1	式			
文字標識等		1	式			

南区土木センター		換気設備		機器費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
HEU-1 全熱交換型換気扇	天井吊り型, 90m ³ /h		台			
HEU-2 全熱交換型換気扇	天井埋込型, 450m ³ /h		台			
HEU-3 全熱交換型換気扇	天井埋込型, 600m ³ /h		台			
SEU-3 顕熱交換型換気扇	天井埋込型, 600m ³ /h		台			
CF-1 天井換気扇	100m ³ /h		台			
CF-2 天井換気扇	150m ³ /h		台			
CF-3 天井換気扇	240m ³ /h		台			
CF-4 天井換気扇	370m ³ /h		台			
CF-5 天井換気扇	490m ³ /h		台			
PF-1 有圧換気扇	350 x 650m ³ /h		台			
PF-2 有圧換気扇	250 x 410m ³ /h		台			
DF-1 中間ダクトファン	#1 3/4 x 1300m ³ /h		台			
DF-2 中間ダクトファン	#1 x 250m ³ /h		台			
DF-3 中間ダクトファン	#1 1/4 x 390m ³ /h		台			
RF-1 レンジフードファン	幅600, 240m ³ /h		台			
HCU-1 加熱コイルユニット	天吊型, 加熱能力13.7KW		台			
エアフィルター	500 x 500 x 25		個			
計						

南区土木センター		衛生器具設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
洋風大便器			台			
身障者用便器			台			
小便器			台			
紙巻器			個			
注意板			枚			
洗面器	カウンター式,自動水栓		台			
洗面器	壁掛式,自動水栓		台			
身障者用洗面器	壁掛式,自動水栓		台			
水石鹸入れ			台			
水石鹸入れ			台			
流し台			台			
コト台 (F)	700×545×620 KG1		台			
混合水栓	シングルレバー-台付 (札幌市型番 SF-31) 13A		個			
混合水栓	シングルレバー-壁付 (札幌市型番 SF-33) 13A		個			
洗濯水栓			個			
シャワー-金具	SF-103		個			
掃除流し			台			
流し台取付			台			
うがい器取付			台			
撤去費		1	式			

南区土木センター		屋外給水設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダブル分水栓	DCIP用 分水栓 50mm 本管 100mm		個			
量水器 取付	25A		個			
量水器きょう 取付	25A		個			
横水栓	F12(胴短) (札幌市型番 SF-2) 25A		個			
散水栓きょう	B3-BA		個			
埋設標識テープ	150幅		m			
埋設標識テープ (ダブル)	幅150mm ダブル		m			
水道用ホリソリ管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 50A		m			
水道用ホリソリ管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 25A		m			
水道用ホリソリ管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 20A		m			
土工事		1	式			
撤去費		1	式			
配管切断・接続		1	式			
計						

南区土木センター		屋内給水設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	10K(ねじ) 25A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	10K(ねじ) 20A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 50A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 40A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 25A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 20A		個			
一般配管用 ステンレス鋼管 タフライ弁	10K(ワイルド) 65A		個			
ドレンバルブ (丸ハンドル) (鉛新基準適合)	25A		個			
定水位弁(スレト) (鉛新基準適合)	25A		個			
ルキップバルブジョイント	ハコ型 25A		個			
ルキップバルブジョイント	ハコ型 20A		個			
防振継手	ハコ型 65A		個			
防振継手	ハコ型 50A		個			
屋内止水栓 (市型) (鉛新基準適合)	20A		個			
ボールタップ(複式)	20A		個			
水位制御用電極棒	4P		個			
水道用ホリソノ管 改修	軟質管・金属製継手接合 屋外架空・暗渠 25A		m			
給水・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 60SU		m			
給水・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 50SU		m			
給水・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 40SU		m			

南区土木センター		屋内給水設備		設備工		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 30SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 25SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 20SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 60SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 50SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 40SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 30SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 25SU		m			
給水・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 20SU		m			
保温工事		1	式			
耐震支持費		1	式			
あと施工アッカー		1	式			
据付費		1	式			
搬入費		1	式			
撤去費		1	式			
保温材分別費		1	式			
搬出費		1	式			
はつり補修費		1	式			
管洗浄費		1	式			
水質検査費		1	式			

南区土木センター		排水設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水用ホッパー	200×300再取付		個			
排水口	200×50		個			
排水口	200×40		個			
排水口	150×40		個			
排水口	100×50		個			
排水口	100×40		個			
流しトラップ			個			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 100A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 75A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 50A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 40A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 20A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 40A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 25A		m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 20A		m			
通気・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 50A		m			

南区土木センター		給湯設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 50A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 40A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 25A		個			
青銅仕切弁 (鉛新基準適合)	5K(ねじ) 20A		個			
青銅逆止弁 (鉛新基準適合)	10K(ねじ・スイング) 40A		個			
青銅逆止弁 (鉛新基準適合)	10K(ねじ・スイング) 25A		個			
防振継手	合成ゴム製 40A		個			
防振継手	合成ゴム製 25A		個			
フレキシブルジョイント	ハロー型 40A		個			
自動1/4抜弁	20A		個			
安全弁	20A		個			
安全弁	25A		個			
AS気水分離器	ナイロンコーティング 40A		個			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 50SU		m			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 40SU		m			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 30SU		m			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 25SU		m			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 屋内一般 20SU		m			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	圧縮・プラスチック接合 屋内一般 13SU		m			
給湯・一般配管用 ステンレス鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 50SU		m			

南区土木センター		給湯設備		設備工		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給湯・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	圧縮・プレス接合 機械室・便所 40SU		m			
給湯・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 25SU		m			
給湯・一般配管用 ステン鋼鋼管 改修	拡管式接合 機械室・便所 20SU		m			
被覆銅管	8A		m			
保温工事		1	式			
耐震支持費		1	式			
あと施工アッカー		1	式			
据付費		1	式			
搬入費		1	式			
撤去費		1	式			
保温材分別費		1	式			
はつり補修費		1	式			
配管洗浄費		1	式			
搬出費		1	式			
計						

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 南区土木センター冷暖房衛生設備改修工事
2. 工事場所 札幌市南区南31条西8丁目
3. しゅん功期限 契約書に示す着手の日から 令和 7年12月12日 まで
4. 部分引渡し 部分引渡しの時期 : 令和 年 月 日 まで
引渡しの範囲 :
5. 工事内容

建物概要		工事概要	
用途	土木センター 4号第1類	項目	内容
構造	SRC造	機械設備	冷暖房・換気・衛生設備の改修工事
規模	2,375m ²		

II. 工事仕様

1. 本工事は、公共工事に準じるものとする。
2. 図面及び本仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事項)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事項)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事項)、公共建築工事標準仕様書(建築工事項)、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事項)によるほか、一般財団法人 札幌市住宅管理公社建設工事請負契約約款により、工事を履行するものとする。
なお、これらの仕様書はすべて工事契約日時点の最新版を適用するものとする。
3. 該当項目
(1) 特記事項は●印のついたものを適用する。

III. 特記仕様

章	項目	特記事項
一般事項	1. 適用法規等	建設業法および同施行令等ならびに関係法令を遵守し、工事の適正な施工を図るものとする。
	2. 特許権等	一般財団法人札幌市住宅管理公社建設工事請負契約約款第8条に基づく特許権等の対象となっている工事材料、施工方法等。 ・特許権等の種類および内容()
	3. 工事提出書類	工事契約締結後すみやかに監督員に工事着手届、工事工程表、現場代理人及び主任技術者(監理技術者)等 指定通知書(各2部)、使用資材届(各2部)等を「機械設備工事提出書類様式集及び施工要領集」(平成25年版)により提出するものとする。
	4. 機材及び材料	設計図書仕様により選択し、監督員に使用資材届、承諾図、品質性能等の資料を提出し承諾を得ること。「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」((社)公共建築協会編集)の活用により評価を受けた材料を使用する場合は、評価書の添付により品質性能等資料の提出を省略することができる。
	5. 道産品の使用	本工事に使用する主要資材のうち、道内で産出、生産または製造される資材等で規格・品質が適正である場合は、これを優先的に使用するよう努めるものとする。
	6. 工食用動力等	本工事に必要な仮設、照明、工食用動力、用水、試運転調整および関係官庁への手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
一般事項	7. 工事標識	● 要 ○ 不要 (仕様は、特記仕様書2 工事標識による)
	8. 火災保険等	工事的物および工事材料等に火災保険、建設工事保険、組立保険等の内、1以上の保険(火災に対する補償を含むもの)を付保して、その写しを監督員に提出すること。 (保険期間: 始期～保険の目的物が工事現場に搬入される日) 終期～しゅん功期限+14日以上)
	9. 法定外の労災保険の付保	(1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険を付すこと。 (2) 前項で定める保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものの写しを速やかに監督員へ提出すること。
	10. 実施工程表・施工計画書等	着工に先立ち実施工程表、施工計画書等提出すること。 施工計画書は「機械設備工事提出書類様式集及び施工要領集」(平成25年版)の施工計画書作成要領によるものとする。
	11. 工事月報	工事工程月報を作成し、監督員に提出すること。
	12. 現場管理	現場代理人を責任者とし、関係法令に従って事故の防止に努めるとともに公害、災害の発生の恐れがある場合には、監督員と協議し適切な処置をとること。
一般事項	13. 安全衛生管理	労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づく特定元方事業者としての指名をする場合がある。また、敷地内の除排雪については、工事の安全確保のため適切に行うこと。
	14. 監督員の立会い	隠蔽、埋設工事、スリーブ入れ、主要機器の搬入・据付および試運転調整時には、監督員の立会いの上に行うものとする。
	15. 主任技術者資格	主任技術者を配置する場合は、原則として1級又は2級管工施工管理技士の資格を有する者とする。
	16. 監理技術者資格	監理技術者を配置する場合は、建設業法による監理技術者の資格を有する者及び国土交通大臣の登録を受けた講習を受講した者とする。
	17. 技能士	職業能力開発促進法第5章による技能検定に合格し資格を有する者とする。 指定職種技能士は1名以上とする。ただし、作業が軽易な場合は監督員と協議の上省略することができる。技能士の適用は下記の指定職種とし、従事する技能士の氏名、職種及び資格の等級別等を監督員に提出すること。(指定職種: 冷凍空調調和機器施工、熱熱線施工、建築板金(ダクト板金)施工、配管施工、厨房設備施工)
	18. 臨時検査	発注者の工事施工途中における検査の実施 ○臨時技術検査 発注者が必要と認めた場合に行う検査 ○中間技術検査 原則各年度1回以上(ただし、複数年度の継続工事において、支払いが発生しない年度については除く)。

19. 工事しゅん功時提出書類

20. 引渡し

21. 疑義 22. 公営住宅の施工

23. 施工体制台帳等

24. 建設副産物対策

25. グリーン購入

26. 建設機械の選定

27. 発生材の処理・処分

次に掲げる書類及び完成図書を提出すること。

- (1) 工事しゅん功届(2部)・・・しゅん功日と同じ
- (2) 諸官庁検査・許可書等(一覧表を作成)・マニフェスト(A+E票)
- (3) 工事写真・写真データ
- (4) しゅん功図 ○原因 部、製本(●A4判2部、○A2判 部)
●CADデータ、○A3マイラー-原因、●施工図(製本1部)
- (5) 打合せ記録簿、各種測定表、保証書、社内検査書等(監督員による)

なお、受注者は著作物等(工事写真・完成写真等)の利用を、発注者に許諾するものとする。現場代理人は主要機器等の取扱説明書、付属品、カギ等については、目録を付けて建物管理者に引き渡すものとする。使用取扱方法については取扱者に直接説明を行うこと。設計図書に明記のない場合、または疑いが生じた場合は監督員と協議する。

- (1) 現地での施工開始前に、対象住棟地区の集会所へ施工開始の連絡をすること。
- (2) 工事施工の通知書を住棟の各共用階段室1階に掲示し、必要に応じ各戸に配布すること。
- (3) 各住戸の工事が完了した時は、入居者より確認印を受けること。(空住宅は、管理人の確認印とする。
- (4) 住宅内の工事は必ず入居者立会いのもとで行い、作業工程の調整は、入居者と充分に行い遺漏の無いよう行うこと
- (5) 入居中での工事となるため、住民とのトラブルや安全対策には十分留意すること。
- (6) 玄関前アプローチへの工事車両の乗り入れは厳禁とする。
- (7) 作業場内での資材等は、常に整理整頓し事故の防止に努める。

- (1) 施工体制台帳 建設業法並びに公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、受注者は下請契約を締結する場合には下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、作成後速やかに施工体制台帳の写しを監督員に提出するものとする。その際、資格要件にない免許・資格証等の不必要な個人情報等は添付しない。また、施工体制に変更が生じる場合は、その都度、提出するものとする。
なお、施工体制台帳の作成範囲・構成は、「施工体制台帳作成のポイント(札幌市財政局工事管理室)」による。
- (2) 施工体系図 受注者は、施工体制台帳をもとに施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示するものとする。
- (3) 現場の管理 受注者は、監理技術者、主任技術者(下請負を含む)及び元請負の専門技術者(専任している場合のみ)に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

- (1) 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の対象となった場合は次の項目に掲げた事項について措置を講ずること。
①「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を厳守し、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に努めること。
②工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、監督員に説明の上提出するとともに、特定建設資材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、実施書によりその実施状況を報告すること。
③本法律の対象となった場合は、契約等の新たな手続きが必要となるので留意すること。
- (2) 受注者は、「建設副産物適正処理推進要綱」を厳守して、建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努めるものとする。
- (3) 受注者は、工事中時に別途指示する再生資源利用計画書(建設資材を搬入する場合)及び再生資源利用促進計画書(建設副産物を搬出する場合)を作成し、監督員に提出するとともに、工事完了時には、実施書によりその実施状況を報告すること。

「札幌市グリーン購入ガイドライン」により環境負荷の低減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努めること。

資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の環境負荷低減に配慮されたものを使用するよう努めること。

- (1) 建設機械 工事に使用する建設機械は以下による。
「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(改正 平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)に基づき、指定された機械を使用する。
本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械及び平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用するものとする。ただし、道路運送車両法の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。
その旨を施工計画書に記載し監督員の確認を受けるとともに、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。なお、これによりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

対象機種	型式	規格
バックホウ	油圧式クローラ型	ディーゼルエンジン
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装置付	(エンジン出力7・5KW以上260KW以下)を搭載した建設機械に限る。
トラクターショベル	ホイール型	ただし、道路運送車両法の排出ガス規制を受けている建設機械は除く。
発動発電機	可搬式、溶接兼用機を含む	
空気圧縮機	可搬式	
油圧式杭圧入引拔機		
ローラ	ロードロー、5t以下、振動ロー	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

1. 発生材処理・処分に係る関係法令の遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等関係法令を遵守する。
2. 発生材の分別 排出時に現場で搬入するリサイクル施設・処理施設に合わせて分別することを原則とする。

3. 産業廃棄物運搬・処分 排出事業者(元請人)は、収集運搬業者・処分業者にそれぞれ委託し、書面にて契約をすることを原則とする。
又、運搬・処分にあたってはマニフェストにより明確にすることを原則とする。ただし、アスベスト含有製品の処理については、別項目「アスベスト含有製品の処理等」による。
4. 発生材の処理
本工事で発生する建設副産物の処理方法は下記のとおりとする。また、処理施設については、原則として札幌市内の処理施設とし受入条件等を確認の上、事前に監督員と協議すること。
なお、搬出先等の 指定なきものは『産業廃棄物処理業者名簿(URL: http://www.city.sapporo.jp/seiso/jigyousyo/sanhai_meibo/sanhai_meibo.html)』を参照し、適切に処分すること。
(1) 再生資源化施設へ搬出
●アスファルトコンクリート塊
●コンクリート塊・コンクリートブロック
●金属くず
○木くず
●混合廃棄物
○炭石膏ボード
●廃プラスチック類
○蛍光管類
(2) その他の施設へ搬出
●ガラス・陶磁器くず
●汚水(舗装切断汚水)
○汚水(油洗浄水)
●廃油
○廃バッテリー
(3) 建設発生土の処理 ●構外へ搬出(○堆積 ●敷均し)
搬出先(民間処理場)
○構内指示の場所の運搬(○堆積 ○敷均し)
(4) 引渡しを要するもの(対象) (調査書を作成し、下記場所に保管すること。)
保管場所()
(5) 特別管理産業廃棄物
○引火性廃油 ○廃強酸 ○廃強アルカリ ○PCB ○飛散性アスベスト
○その他()
なお、特別管理産業廃棄物の処理にあたっては『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』第12条の2に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し管理させること。
アスベスト含有製品の処理については、別項目「アスベスト含有製品の処理等」による。
(6) 有価金属
有価金属は、下記の業者で処分すること。
①札幌市競争入札参加資格者: 物品・役務関係・再生資源関係業者
②廃棄物再生事業登録業者(知事登録)
③金属くず商許可業者(警察許可)
なお、搬出を行った際、領収書又は受入伝票及び許可証等の写しを監督員に提出すること。
○有価金属は、材料引渡リストを作成し、下記保管場所に保管すること。
(保管場所:)
(7) フロン類の処理
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律を遵守し、適正に処理すること。
- (8) 産業廃棄物運搬車両表示
産業廃棄物を自己運搬する際に使用する車両には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条」により定められた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え付けること。(同法施行規則第7条の2第3項及び第7条の2の2)
アスベストの処理については、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』等の関係法令と併せて『特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル(事業者向け)』(URL: http://www.city.sapporo.jp/kankyo/taiki_oson/kisei/asbesto/syori.html)に従い必要な措置を講ずること。

28. アスベスト含有製品の処理等

1. 事前調査等
(1) 施工計画書の作成にあたっては、「アスベスト調査票」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその他有害物質の有無を確認すること。
また、調査結果については、大気汚染防止法の規定に基づき書面に於いて発注者に説明するとともに、公衆が見やすいように掲示すること。
(2) アスベスト及びその他有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行い、新たにアスベスト及びその他有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員と施工方法等について協議すること。
(3) 調査結果の報告等
事前調査が完了した際は、石綿障害予防規則及び大気汚染防止法に基づき、以下の通り各種報告等を行うこと。
①監督員に事前調査の結果等を書面で交付し、説明すること。
②労働基準監督署及び札幌市(環境局)に事前調査の結果等について報告を行うこと。
③事前調査の結果等については、公衆にみやすいように掲示すること。

2. アスベスト含有製品の処理等
(1) アスベスト含有製品の仕様
●機器類 (機器: 真空温水ボイラー 1台)
○耐火二層管
●フランジパッキン(煙道、配管)
※パッキンはフランジを付けたまま切り離し、非飛散性アスベストとして適切に処理すること。
○ダクトパッキン
●外壁塗装下地調整材 ●基礎モルタル仕上面
○内壁塗装下地調整材
処理を行う範囲は、図示による。
(2) 施工調査
アスベスト含有製品の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督員に提出する。
① アスベスト含有製品使用部位の確認
② アスベスト含有製品の種類、厚さ等の確認
③ アスベスト含有製品使用数量の確認
④ 施工範囲等の確認
なお、含有製品の使用部位、種別または使用範囲等に変更が生じた場合は、監督員と協議のこと。
(3) 作業管理者
「石綿作業主任技能講習修了者」、又は「平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者」の資格を有する作業管理者を選任し管理させること(作業時、調査時等)。
(4) 作業標準 アスベスト含有製品処理作業の標準
① アスベスト含有製品の撤去
(ア)アスベスト含有製品の撤去は、内装材及び外部建具等の撤去に先がけを行う。
(イ)建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損個所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散する恐れがある箇所を、ビニールシート等で塞ぐものとする。
(ウ)アスベスト含有製品の撤去は、可能な限り破損又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト含有製品を撤去する場合は、出来る限り原形のまま撤去する。
(エ)撤去作業中は、散水その他の方法により、アスベスト含有製品を常に湿潤な状態として作業を行う。
(オ)撤去作業には、防じんマスク、防護めがね及び作業衣を着用させる。
(カ)撤去作業後、アスベスト含有製品の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。
② アスベスト含有製品の集積、運搬等
(ア)撤去したアスベスト含有製品の集積及び積み込みにあたっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。
(イ)細かく破砕されたアスベスト含有製品は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等の、飛散防止の措置を講じる。
(ウ)撤去したアスベスト含有製品を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。
また、保管場所には、アスベスト含有製品と保管場所であることを表示を行う。
(エ)アスベスト含有製品の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
(オ)アスベスト含有製品の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。
③ アスベスト含有製品の処分等
(ア)本工事で発生するアスベスト含有製品は、下記で示す処分施設で処分する。なお、変更が生じた場合は監督員と協議のこと。
マニフェストには、アスベスト含有製品であることを明示する。
○飛散性アスベスト 受入先(参考) ・山口処理場
(手稲区手稲山口364番地)
●非飛散性アスベスト 受入先(参考) ・角山開発棟
(江別市角山425番地)
(イ)撤去されたアスベスト含有製品の処分が完了した場合は、マニフェストを監督員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受ける。

(一財)札幌市住宅管理公社 保全部 設備課 機械係

令和 7年 3月

工事名 南区土木センター冷暖房衛生設備改修工事

図面名 特記仕様書 1

図番

1/31

29. 揮発性有機化合物対策
揮発性有機化合物が含有しているおそれのある材料については安全データシート等により確認を行い、極力揮発性有機化合物が少ない材料、または含有していない材料の使用に努めること。
使用する材料はF☆☆☆☆等の規制対象外材料を基本とし、該当する材料がない場合は、F☆☆☆☆又は同等品とすること。
また、施工時・完了後引渡し前においては、揮発性有機化合物の放散を促進するため、繰り返し換気を行わなければならない。

30. 揮発性有機化合物の室内濃度
測定対象工事の受注者は、検査機関（計量法第122条に定める計量士を配置し、計量法第107条に定める計量証明事業登録を行っている機関）に依頼し揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、基準値以下であることを確認の上、測定結果の報告書等を監督員に提出しなければならない。
(1) 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン
(2) 測定方法 札幌市公共建築物シックハウス対策指針及び同解説に基づき、拡散法（パンプ法）より測定する。
(3) 測定時期及び箇所（測定位置等は監督員と協議のこと）
○施工前 箇所 ○施工後 箇所

31. その他
1. 一般事項の内、監督員が不要と指示したものは省略できる。
2. 計量単位は国際単位系（SI単位）とする。
3. 工事の施工にあたって、札幌市の「環境方針」「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」の意図を理解し、環境に配慮した施工に努めること。
4. 当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を特定した上で、その一覧（適用法令・要領・要綱・指針・基準・届出時期等）を作成し施工計画書に明示すること。また、監督員に法令等の遵守状況を月報等で報告し、しゅん功時には届出書(写)を提出すること。
5. 当該工事における苦情への対応及び報告書について、施工計画書に明示すること。また、監督員にその都度報告し指示を受けること。しゅん功時には報告書(写)を提出すること。
6. 受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（電波法に規定する免許または登録をせずに開設する無線局 例：不法アマチュア局、外国製無線機（FRS/GMR S）など）及び無線局の違法な運用（免許または登録を受けていながら、電波法の範囲を逸脱して使用することなど 例：アマチュア局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。
7. 交通安全管理
公道等において工事を行う場合は、必要な保安施設を設置し、交通安全に努めること。なお、必要に応じて交通誘導警備員を配置するが、北海道公安委員会が認定する路線における工事現場には、一級又は二級検定合格警備員を交通誘導警備員として配置する。
8. 酸欠等作業場所
第1種、第2種酸欠場所においては、法律等関係法令を遵守し安全に努めること。
9. 火気の使用場所においては、確実に消火の確認を行い安全に努めること。
10. 高所作業における落下、転倒事故防止に努めること。
11. 現場代理人は、作業員に対し腕章、名札等を着用させその身分を明確にしなければならない。
12. 作業員の服装、言動には十分留意すること。
13. 公衆災害の防止及び安全管理について
施工範囲の埋設物に十分注意し、「建築工事安全施行技術指針」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」を遵守すること。

32. 工事記録写真撮影要領
1. 工事記録写真
(1) 工事記録写真については、機械設備工事記録写真撮影要領（機械設備工事提出書類、様式集及び施工要領集）（平成25年版）、営繕工事写真撮影要領（工事契約日時点の最新版を適用）による。
印刷等の出力については①プリンターはフルカラーで300dpi以上 ②用紙・インク等は通常の使用条件のもとで3年間程度顕著な劣化が生じないものを使用する。
また、デジタルカメラ使用の場合は記録画素数を1280×960以上とする。
(2) 小黒板



(寸法は参考とする)

33. 工事標識
工事に先立ち監督員の指示により設置する。



表面材
着色カラー鉄板白色 0.35mm厚さ
文字塗装は黒色フタル酸樹脂系エナメル

●耐震措置
機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据付け、取付け及び支持を行う。
(1) 機器
(ア) 図面特記で指定された設計用標準震度を用いて耐震対策を検討し、必要に応じて耐震処置を行う。なお、図面特記に指定がない場合には「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」及び「建築設備耐震設計・施工指針」によるものとする。
(イ) 基礎の施工は、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」によるものとする。
(2) 配管、ダクト等
「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」により耐震を考慮し堅固に取付け、支持を行う。
なお、(1)(2)の仕様書・基準・指針等はすべて工事契約日時点の最新版とする。

施工条件（改修工事の場合）

- 全館無人改修
- 執務並行改修

●空調設備 ●暖房設備 ○冷房設備
1. 空調方式 ○全空気式 ○空気-水式 ●水方式 ○冷媒方式
○重油 ○灯油 ●都市ガス ○液化石油ガス
○地域暖房 ○木質ペレット
3. 熱媒体 ○冷水水 ●温水 ○高温水 ○温風
4. 設計空気条件
5. 暖房機器及び付属品 図内機器表による。
6. 冷房機器及び付属品 図内機器表による。
7. 放熱器 ○鉄製放熱器 ○ベースボードヒーター ○コンベクター
●ファンコンベクター ●パネルヒーター ○ファンコイルユニット
○FF暖房機 ●パッケージエアコン ○ガスヒートポンプ
8. 風道 (1) 種別 ○低圧 ○高圧1 ○高圧2
(2) 種類
○鉄板製 ○円形 ○コーナーボルト工法 ○共板工法 (スパイラル) ○スライド工法
○グラスウール製 ○アルミ製
9. 弁類 ●青銅製 ○鉄製 ○鋳鋼製 ○ダクタイル製 ○ステンレス製
10. 管種 ●配管用炭素鋼管(●黒 ○白) ○一般配管用ステンレス鋼管
○鋼管(○L型 ○M型) ○冷媒用被覆鋼管 ○ポリブテン管
○硬質塩化ビニルライニング鋼管(○黒 ○白)
11. 保温 保温防露塗装特記仕様書による。
12. 管内洗浄 配管施工中に管内に入ったゴミ、切削屑等の不純物を完全に除去すること。管内洗浄は系の配管施工（圧力試験迄）完了後、放熱器等の手前でバイパス等を組み、系全体の洗浄を行い、その記録を報告書として提出すること。

●自動制御設備
1. 制御方式 ●電気式 ○空気式 ○電子式 ○デジタル式
2. 中央監視制御 ○あり ○無し
3. 配管・配線等 配管、配線図は参考とする。

●換気（排煙設備含む）
1. 方式 ○中央 ●局所式
2. 風道 (1) 種別 ○低圧 ○高圧1 ○高圧2
(2) 種類
○鉄板製 ○円形 ○コーナーボルト工法 ○共板工法 (スパイラル) ○スライド工法
○グラスウール製 ○アルミ製
3. 送風機 図内機器表による。

●屋外給水設備 ●屋内給水設備
1. 水源 ●上水 ○その他()
2. 給水方式 ○直結式 ○高置水槽式 ○圧力タンク式 ●インバータ制御方式
●受水槽方式
3. 水栓 JIS規格品及びJWWA認証品等とする。
4. 量水器 ○直読型 ●遠隔型(●貸与品 ○買取り)
5. 量水器筐 ○水道事業者指定品 ○その他
6. 弁類 JIS(●5K ●10K) ○管端コア付
7. 管種 ○水道用鉄管 ○水道用鋼管
○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 ●水道用ポリエチレン二層管
○水道用ステンレス鋼管 ●一般配管用ステンレス鋼管
○水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(○白 ○黒)
○管端防食継手
8. 管端防食 図内機器表による。
9. 水槽 図内機器表による。
●FRP複合パネル(○メーカー標準仕様 ○国土交通省仕様 ●札幌市仕様)
○躯体ビット
10. 給水ポンプ 図内機器表による。
●付属品(○標準仕様 ●国土交通省仕様)
札幌市水道局給水装置工事設計施工指針による。
保温防露塗装特記仕様書による。
●飲料用水槽内部薬品洗浄 ●管内洗浄(高周波法等)
●12項目 ○16項目
○要(別途)
受水槽以降も、飲料水系統の給水装置は、「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」(平成9年厚生省令第14号)の鉛浸出性能基準を適用する。

○屋外排水設備 ●屋内排水設備
1. 下水処理区域 ○合流 ●分流
2. 排水方式 ●自然流下 ●ポンプアップ
3. 管種 ○排水用鉄管 ●硬質ポリ塩化ビニル管
○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(OR F-V P OR S-V U OR E-P-V U)
○遠心力鉄筋コンクリート管 ○鉛管 ○鉄筋コンクリート管
●配管用炭素鋼管(白) ○耐火二層管
○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
○排水用ノントールエポキシ塗装鋼管
○排水用硬質塩化ビニルコーティング鋼管
○コンクリート ○硬質塩化ビニル
4. 樹類 図内機器表による。
5. 排水ポンプ 付属品(○標準仕様 ○国土交通省仕様)
保温防露塗装特記仕様書による。
6. 防露 ○要(別途)
7. 排水負担金

●給湯設備
1. 給湯方式 ●中央式 ○局所式
2. 熱源 ○重油 ○灯油 ○電気 ●都市ガス ○液化石油ガス
○地域暖房
3. 管種 ○水道用鋼管(○L型 ○M型) ○被覆鋼管(○L型 ○M型)
●一般配管用ステンレス鋼管
○水道用耐熱性塩化ビニルライニング鋼管
JIS(●5K ○10K) ○管端コア付
4. 弁類 図内機器表による。
5. 給湯機器及び付属品 保温防露塗装特記仕様書による。
6. 保温 ●管内洗浄(高周波洗浄法等)
7. 洗浄

○消火設備
1. 防火対象物の種別 消防法施工令 別表 第 項 ()
2. 消火方式 ○屋内消火栓(○1号 ○易操作1号 ○2号 ○広範囲2号)
○スプリンクラー ○二酸化炭素消火 ○粉末消火
○連結送水管 ○連結放水 ○その他
3. 消火機器 図内機器表による。
4. 管種 ○配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452
○圧力配管用炭素鋼管(継目無鋼管) JIS G 3454
○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 WSP 041
○一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448
○配管用ステンレス鋼管 JIS G 3459
○消火用ポリエチレン管(消防庁告示適合品)
○JIS 10K ○16K(消防評定品)
5. 弁類 保温防露塗装特記仕様書による。
6. 防露 消防法及び関係法令による。
7. 施工

○給油設備
1. 種別 ○A重油 ○灯油
2. 管種 ○配管用炭素鋼管(黒) ○鋼管 ○被覆鋼管
3. 弁類 ○鉄製 ○ダクタイル製 ○青銅製 ○鋳鋼製
4. 油槽及び機械類 図内機器表による。
5. 施工 消防法及び関係法令による。

●ガス設備
1. 種別 ●都市ガス(13A)
○液化石油ガス(○集中 ○個別)
2. 機器 図内機器表による。
3. 管種 ○配管用炭素鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼管
○ポリエチレン被覆鋼管 ○硬質塩化ビニル被覆鋼管
○ダクタイル鉄管 ●ガス供給者指定管
4. 給排気管 ○ガス供給者指定管 ○標準仕様
5. 施工 ●都市ガス供給者の責任施工とする。
○液化石油ガス設備士の資格を有すること。
6. 接続負担金 ●要(別途)

保温防露塗装特記仕様書									
区分	施工場所	施工種別	材料及び施工順序						
			保温筒材質	保温厚さ					
給水	屋内露出(一般居室・廊下)	合成樹脂製カバー仕上	PF	80A径20mm 300A径25mm	粘着テープ	合成樹脂製カバー1			
	機械室・書庫・倉庫	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	7{カラスクロス			
	天井・ハイクシャフト内・空隙壁中	7{カラスクロス化粧保温筒	〃	〃	7{カラスクロス粘着テープ	7{カラスクロス化粧保温筒			
	床下・暗渠内	着色7{カラスクロス仕上げ	〃	〃	粘着テープ	＊リエチレンフィルム	着色7{カラスクロス		
排水	屋外露出・多湿箇所	ステンレス鋼板仕上	〃	〃	〃	〃			
	屋内露出(一般居室・廊下)	合成樹脂製カバー仕上	PF	80A径20mm 300A径25mm	粘着テープ	合成樹脂製カバー1			
	機械室・書庫・倉庫	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	7{カラスクロス			
	天井・ハイクシャフト内・空隙壁中	7{カラスクロス化粧保温筒	〃	〃	7{カラスクロス粘着テープ	7{カラスクロス化粧保温筒			
給湯	多湿箇所	ステンレス鋼板仕上	〃	〃	粘着テープ	＊リエチレンフィルム	ステンレス鋼板(SUS304、t=0.3mm)		
	屋内露出(一般居室・廊下)	合成樹脂製カバー仕上	GW	80A径20mm 150A径25mm	鉄線	合成樹脂製カバー1			
	機械室・書庫・倉庫	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	原紙	7{カラスクロス		
	天井・ハイクシャフト内・空隙壁中	7{カラスクロス化粧保温筒	〃	〃	7{カラスクロス粘着テープ	7{カラスクロス化粧保温筒			
温水	床下・暗渠内	着色7{カラスクロス仕上げ	〃	〃	鉄線	＊リエチレンフィルム	着色7{カラスクロス		
	屋外露出・多湿箇所	ステンレス鋼板仕上	〃	〃	〃	〃			
	屋内露出(一般居室・廊下)	合成樹脂製カバー仕上	GW	80A径20mm 150A径25mm	鉄線	合成樹脂製カバー1			
	機械室・書庫・倉庫	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	＊リエチレンフィルム	原紙	7{カラスクロス	
蒸気	天井・ハイクシャフト内・空隙壁中	7{カラスクロス化粧保温筒	〃	〃	7{カラスクロス粘着テープ	7{カラスクロス化粧保温筒			
	床下・暗渠内	着色7{カラスクロス仕上げ	〃	〃	鉄線	＊リエチレンフィルム	着色7{カラスクロス		
	屋外露出・多湿箇所	ステンレス鋼板仕上	〃	〃	〃	〃			
	屋内露出(一般居室・廊下)	合成樹脂製カバー仕上	GW	25A径30mm 50A径30mm 300A径40mm	鉄線	合成樹脂製カバー1			
冷温水	機械室・書庫・倉庫	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	〃	原紙	7{カラスクロス	
	天井・ハイクシャフト内・空隙壁中	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	〃			
	床下・暗渠内	着色7{カラスクロス仕上げ	〃	〃	〃	〃			
	屋外露出・多湿箇所	ステンレス鋼板仕上	〃	〃	〃	〃			
ブライン管	屋内露出(一般居室・廊下)	合成樹脂製カバー仕上	PF	25A径40mm 80A径50mm	粘着テープ	＊リエチレンフィルム	合成樹脂製カバー1		
	機械室・書庫・倉庫	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	〃			
	天井・ハイクシャフト内・空隙壁中	7{カラスクロス仕上	〃	〃	〃	〃			
	床下・暗渠内	着色7{カラスクロス仕上げ	〃	〃	〃	〃			
ダクト	屋外露出	ステンレス鋼板仕上	〃	〃	〃	〃			
	屋内露出(一般居室・廊下)	カラー亜鉛鉄板仕上	GW板	50mm	カラー亜鉛鉄板 (ｽﾝｲﾗﾙｸﾞｯﾄは保温帯を使用)				
	屋内露出(機械室・書庫・倉庫)	7{カラスクロス化粧保温板	〃	25mm	7{カラスクロス粘着テープ	7{カラスクロス化粧保温板 (ｽﾝｲﾗﾙｸﾞｯﾄは保温帯を使用)			
	屋内隠ぺい	7{カラスクロス化粧保温板	〃	〃	〃	〃 (ｽﾝｲﾗﾙｸﾞｯﾄは保温帯を使用)			
屋外露出	ステンレス鋼仕上	〃	50mm	＊リエチレンフィルム	鉄線	ステンレス鋼板 (ｽﾝｲﾗﾙｸﾞｯﾄは保温帯を使用)			

- 注意事項 1. GW保温材(保温筒、保温板、保温帯)は、JIS A 9504に規定した40K以上のものを使用すること。
 スパイラルダクト(フランジ部を除く)の保温は、グラスウール保温板32Kを使用しても良い。
 2. 通気管(排水に準ずる)、排気ダクト等の防露は、原則として外壁から1.5mの部分について行う。
 ただし、熱交換型換気扇の排気ダクト等の防露は、外壁から機器まで全ての部分とする。
 3. 消火管の防露工事は行わない。
 4. 学校工事では、露出する配管の合成樹脂カバーの板厚は0.5mm以上とすること。
 5. 学校工事では、露出するダクトの保温は、保温厚さ25mm、合成樹脂カバー仕上とし、合成樹脂カバーの板厚は0.5mm以上とすること。
 6. 学校工事では、高温排水の流れる配管の保温筒材質はGWとすること。

塗装仕様				
種類	施工場所	塗料の種類	塗り回数	
亜鉛めっき鋼管及び同用継手	露出	調合ペイント	さび止め1回	ペイント2回
	隠ぺい	サビ止めペイント	さび止め2回	ねじ部のみ
ライニング鋼管(黒)及びコーティング(黒)	露出	調合ペイント	さび止め1回	ペイント2回
	隠ぺい	サビ止めペイント	さび止め2回	ねじ部のみ
黒管及び同用継手	露出	7{ニコムペイント	さび止め2回	ペイント2回
	隠ぺい	サビ止めペイント	さび止め2回	但し、蒸気管以外は調合ペイント仕上とする。
注意事項 1. ビット内に用いる排水用各種鋼管は、一次防錆の上にさび止め1回塗りとする。				
防食仕様				
ブロックライニング内及びコンクリート内配管		プラスチックテープ(JIS Z 1901に準じた厚さ0.4mmのもの)1/2重ね1回巻き		
地中埋設鋼管(塩ビライニング鋼管を含む)	給水配管	ベトロラタム系防食テープ+プラスチックテープを使用する。		
	排水配管	プラスチックテープ巻きとする。		
注意事項 1. 埋設給油管は、ベトロラタム系防食テープ+プラスチックテープを使用する。				

その他注意事項

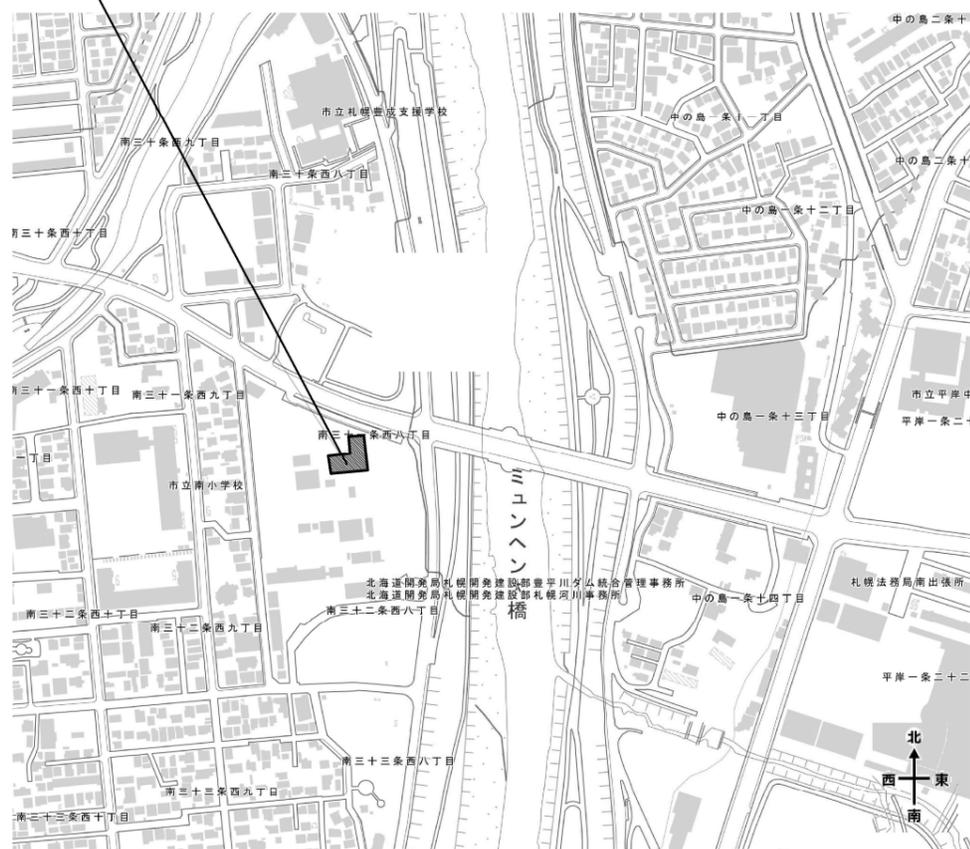
- 防水貫通処理 ビット内等防水をしている部分を貫通する場合、防水型スリーブを使用し、かつ、コーキング施工をする。
- 配管支持 (1)埋設配管は、土間スラブ配筋から支持金物により支持する。
(2)横走り主管・立て管は、地震・振動などにより脱落等を起こさないよう必要個所に振れ止め・床固定を行う。
- 支持金物 外壁及び厨房等の多湿個所に使用する露出配管等の支持金物は、SUS304とする。
また、ビット内に使用する支持金物や吊り棒は、SUS304又は合成樹脂被覆付鋼材とする。
- バルブ名札 (1)室名等を記入し、「玉鎖」でバルブから吊るす。文字はエナメル書き等とする。
(2)水抜装置は系統名等(室名)を記入し、バルブ操作口付近に設置する。
(3)消火水抜弁の表示をする。表示板は赤字アクリル板(100mm×300mm)に、「消火水抜弁」として白色文字の彫り込みとする。
- 管内洗浄 洗浄及び水質検査は、管内洗浄仕様書による(機械設備工事提出書類、様式集及び施工要領集)
検査項目は下記による(ビル管理法に該当する場合は()の項目を追加する。)
検査項目：一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・亜硝酸態窒素・鉄及びその化合物・塩化物イオン・有機物(全有機炭素(TOC)の量)・pH値・味・臭気・色度・濁度・残留塩素(鉛及びその化合物・亜鉛及びその化合物・銅及びその化合物・蒸発残留物)
市水道直結部分・ポリエチレン管部分・便所部分は洗浄しない。
消火管の地中埋設深さは、土被り1.000mmを原則とする。
- 埋設深度 (1)ダクトのフランジ用パッキンは、非アスベスト系ものを使用する。
(2)防火区画に設置する和風大便器の床下の処理は「防火区画貫通部60分遮炎性能」の規定に適合するものであること。
- その他 (1)露出部分のナットは、化粧ナットとする。
(2)屋内消火栓箱の仕様
①火報発信部は、鍵付とする。(但し学校のみ)
②「消火栓」の表示は、透明アクリル板(300mm×100mm)とし、裏赤色塗装、文字白色、化粧ビス4ヶ所固定とする。
③操作方法のステッカーを付ける。
④ホース結合金具はBC製とする。
(3)ビット内シャフト内配管に系統及び流れ方向の表示を行う。
(4)屋外給水埋設管の位置は、プレート等により表示する。
(5)公道部の埋設給水管は、地表から700mm程度の深さに水道局指定の標識シートを埋設する。
(6)アレス等による機器の振れ止めは、天井吊長さが200mm以下の場合には不要としてもよい。
(7)空調機のフィルターは資源リサイクル可能な製品とする。
(8)機器据付におけるあと施工アンカーの性能を確認する。
(9)耐火二層管の立配管の伸縮継手は各階1ヶ所に設置する。なお、管が貫通部に固定されておらず合流部のない場合は、4mごと1ヶ所設置する。
(10)【臨機の措置について】大雨などの緊急警報発令時、急ぎょ施設側より工事中止の要請があった場合は、監督員と協議するものとする。

工事区分

項目	建築	電気	暖房	衛生	備考
躯体の設備配管用スリーブ及びボックス入れ	○	○	○	○	
同上のスリーブの補強	○	○	○	○	
天井壁取付け設備機器用穴あけ及び補強	●	○	○	○	すみ出しは設備
ルーフトレン	○	○	○	○	補強は建築
設備用天井・床下点検口	●	○	○	○	位置は協議、すみ出し・施工は建築
設備機器用穴あけ及びモルタル充填・断熱材補修	○	○	●	●	
ドラフトチャンパー本体及び排気筒	○	○	○	○	
設備用機器基礎	○	○	○	○	
床下受水槽マンホール	○	○	○	○	
換気扇等の取付け用枠	○	○	○	○	
ビット内連通管	○	○	○	○	
設備機器取付け用下地補強	○	○	○	○	
フード・ベントキャップ類のコーキング	○	○	○	○	板金仕上げの開口は建築、すみ出しは設備
衛生器具周りのコーキング	●	○	○	○	

※ 本工事は建設リサイクル法が適用される。

札幌市南区南31条西8丁目



《工事概要》

○冷房設備

- ・ エアコンの撤去・更新
- ・ 冷媒配管の撤去・更新
- ・ 天井内ドレン管は縦管までの撤去・更新

○暖房設備

- ・ 温水配管の撤去・更新
- ・ FCV・PHの撤去・更新
- ・ 機械室内暖房設備撤去・更新
- ・ 補給水ポンプの新設

○給油設備

- ・ 機械室内給油設備撤去
- ・ 屋外地下埋設タンク及び給油関連設備撤去

○換気設備

- ・ 全熱交換器・天井扇・レンジフード・送排風機の撤去・更新

○自動制御設備

- ・ 自動制御設備機器撤去・更新
- ・ 天井内配線撤去・更新

○給水設備

- ・ 給水引込管撤去・更新
- ・ 受水槽・加圧給水ポンプ撤去・更新
- ・ 給水配管の撤去・更新

○排水設備

- ・ 屋内の排水配管撤去・更新
- ・ 排水ポンプの撤去・更新

○給湯設備

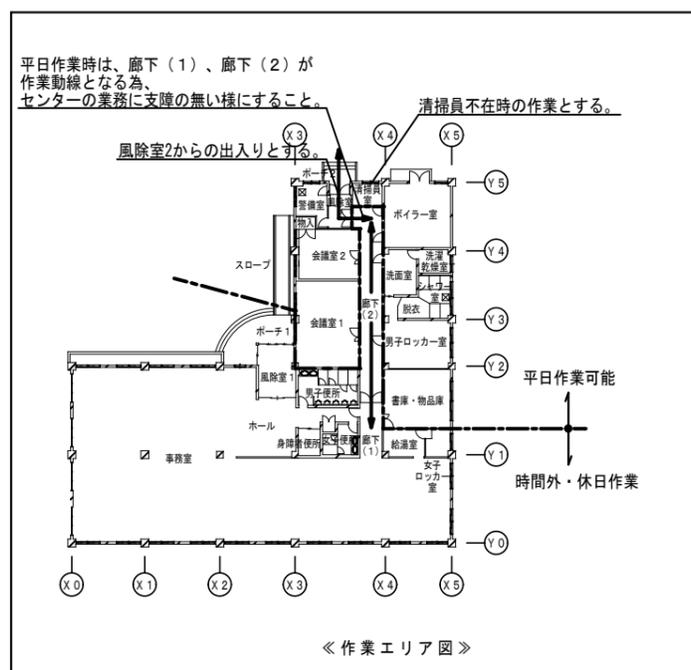
- ・ 給湯配管の撤去・更新
- ・ 機械室内の給湯設備機器類の撤去・更新

○衛生器具設備

- ・ 男女便所内和式便器の洋式化
- ・ 男女便所・多目的便所の洗面器の更新
- ・ 既設大便器・小便器の撤去・更新
- ・ 水栓類の撤去・更新

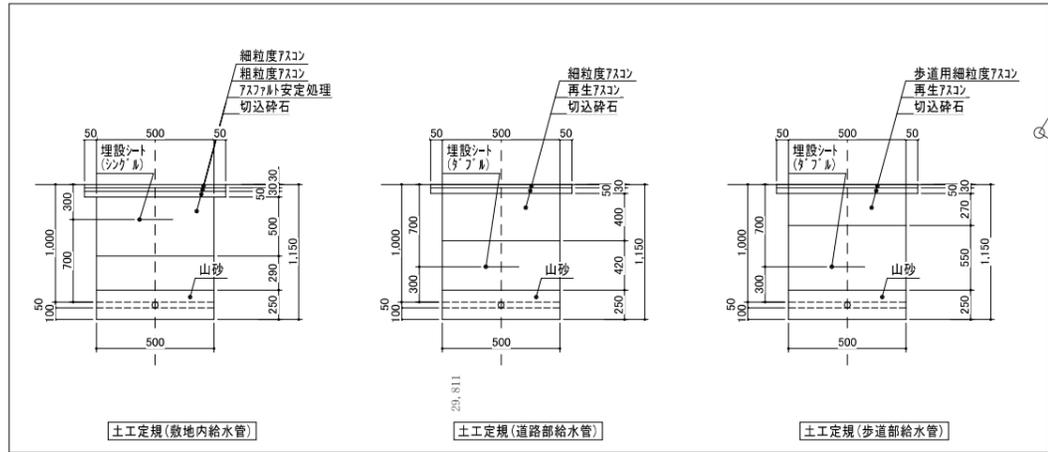
○ガス設備

- ・ ボイラーの都市ガス化に伴う、配管の新設



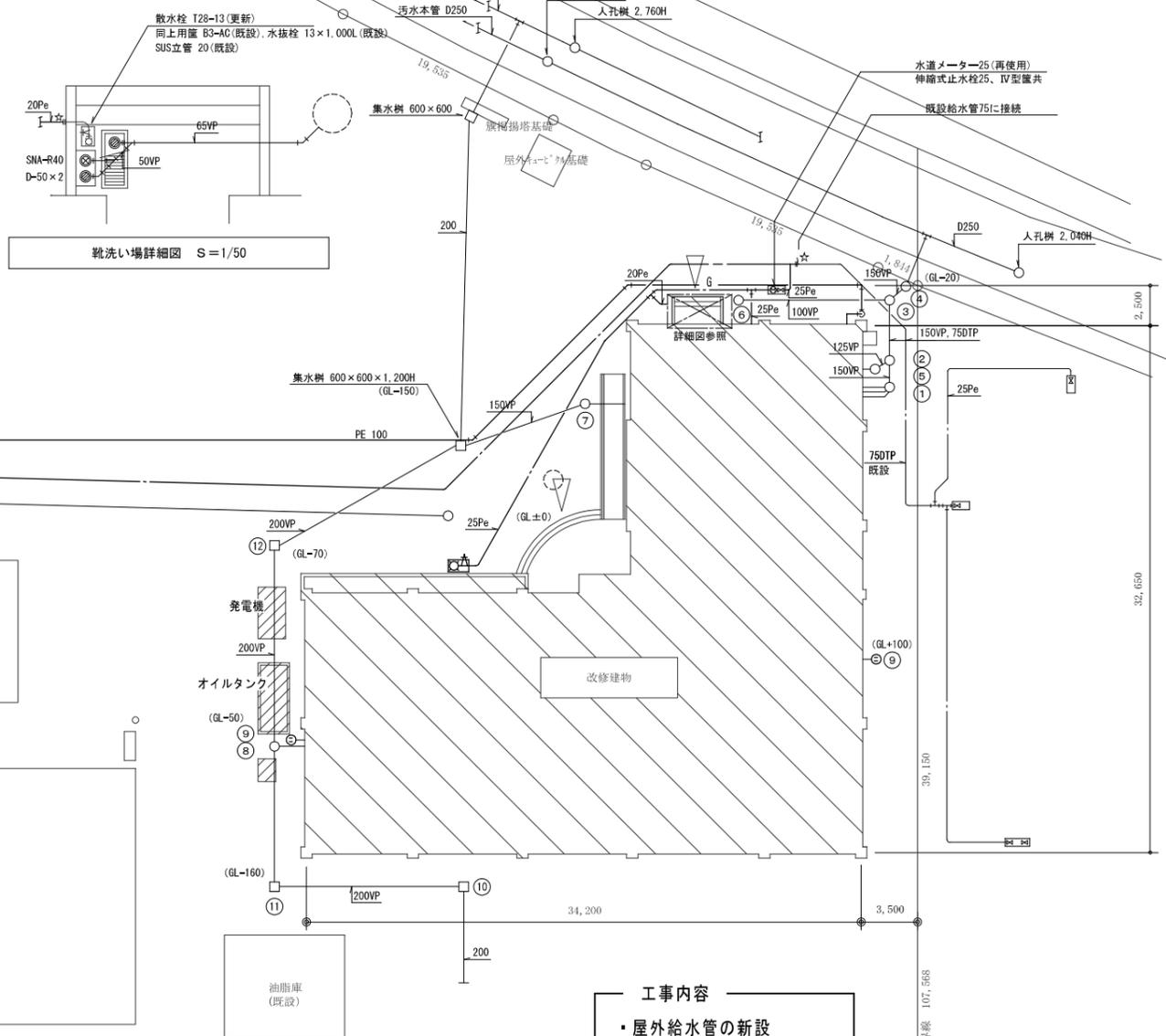
※注記

- 1 事務室、会議室とその隣接する部屋については原則平日時間外及び休日作業とするが、左図の作業エリアで平日作業可能エリアに関しては、監督職員と施設担当者が日程及び作業内容を調整の上、振動・騒音がない作業については実施可能とする。
- 2 屋外地下埋設タンクの撤去は仮設トイレの撤去後の11月に行う。
- 3 屋外給水引込管撤去・更新、屋外ガス引込管の新設は仮設トイレの設置前の8月までに行う。
- 4 屋外給水引込管撤去・更新、屋外ガス引込管の新設の際は場内の通行が全面遮断されない様、十分配慮する。
- 5 事務室の天井内の工事の際はビニールシート等で机面の養生を徹底する事。
- 6 会議室は、6月1日～7月31日迄は工事は出来ない。また、仮設会議室が設置される8月～10月は工事は可能だが、撤去される予定の10月末以降は定期的に会議等で使用する為、調整が必要である。



※都市ガスの掘削土工事は供給会社の規定による

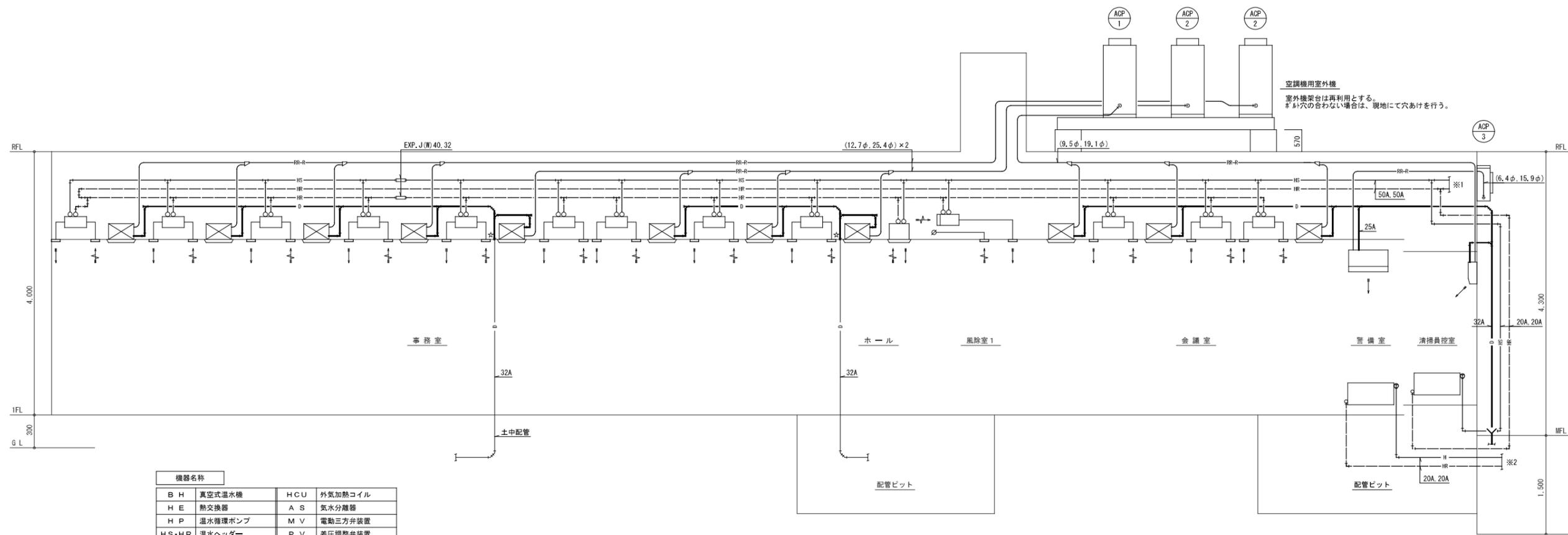
NO	名称	寸法	材質	管底	備考
①	汚水樹	600φ×880H	MHAA-Rダク鉄	880H	
②	汚水樹	600φ×925H	MHAA-Rダク鉄	925H	
③	汚水樹	600φ×960H	MHAA-Rダク鉄	960H	
④	公設樹	400φ×1,170H	コンクリート	1,170H	
⑤	トラップ樹	600φ×1,010H	MHAA-Rダク鉄	810H	泥溜200H
⑥	トラップ樹	600φ×1,000H	MHAA-Rダク鉄	820H	泥溜180H
⑦	雨水樹	600φ×1,220H	MHAA-Rダク鉄	850H	泥溜370H
⑧	雨水樹	600φ×1,350H	MHAA-Rダク鉄	1,170H	泥溜180H
⑨	浸透樹	450φ×1,000H	MHAA-Rダク鉄	670H	2組
⑩	雨水集水樹	600□×1,260H	グレーチング	980H	
⑪	雨水集水樹	600□×1,300H	グレーチング	1,010H	
⑫	雨水集水樹	600□×1,370H	グレーチング	1,140H	



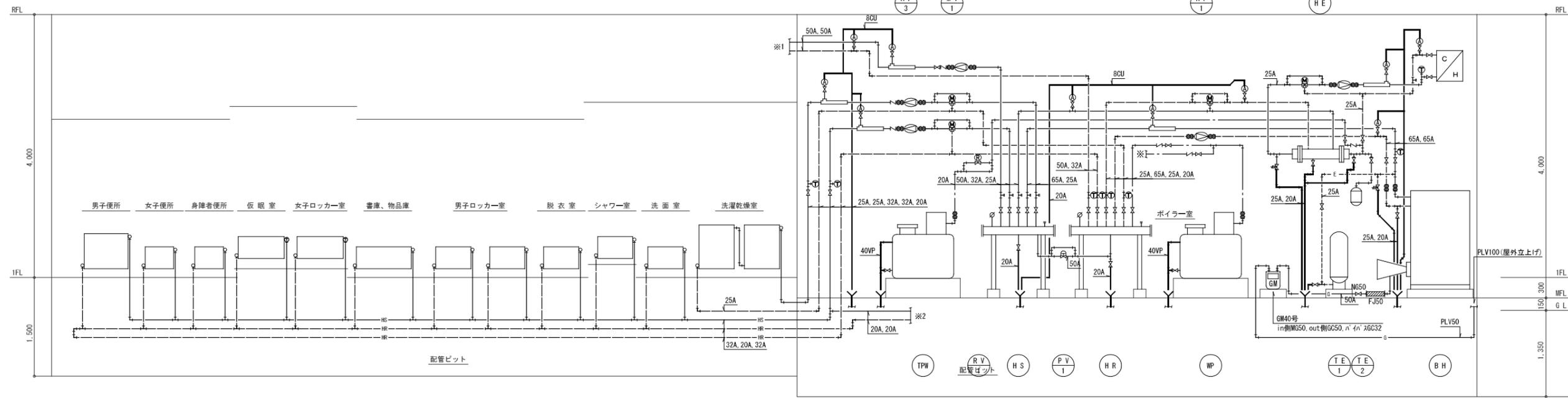
凡例		凡例		凡例	
— Pe	給水管 (屋外)	— D A	ドレン管	— A	配管用炭素鋼管 (白)
— Pe	給水管 (屋内直圧)	— I A	給湯管 (往・返)	— B	配管用ステンレス鋼管
— Pe	給水管 (屋内二次側)	— F A	防火用水管	— C	配管用炭素鋼管 (白)
— W	汚水管	— G A	ガス管 (LP)	— D	配管用炭素鋼管 (白)
— R	雨水管	— H A	温水管 (往・返)	— E	配管用炭素鋼管 (黒)
— A	通気管	— J A	冷媒管	— F	冷媒用被覆鋼管

工事内容
 ・屋外給水管の新設
 ・ガス配管の新設
 ※排水設備は更新しない

注1 ☆印は既設管接続
 注2 駐車場の埋設配管工事は車の動線を考慮して工事を行う。
 注3 北側掘削範囲には光ケーブルが埋設されているので、掘削には十分気をつける事
 注4 センターで設置する仮設トイレの給水はポーチ2の靴洗場の水栓からとる計画とする。



機器名称			
BH	真空式温水機	HCU	外気加熱コイル
HE	熱交換器	AS	気水分離器
HP	温水循環ポンプ	MV	電動三方弁装置
HS-HR	温水ヘッダー	PV	差圧調整弁装置
TE	密閉式膨張タンク	RV	減圧弁装置
TPW-WP	受水槽付加圧ポンプ		
ACP	空調機用室外機		



工事内容

- ・温水、冷媒、ドレン管の更新
- ・空調設備機器の更新

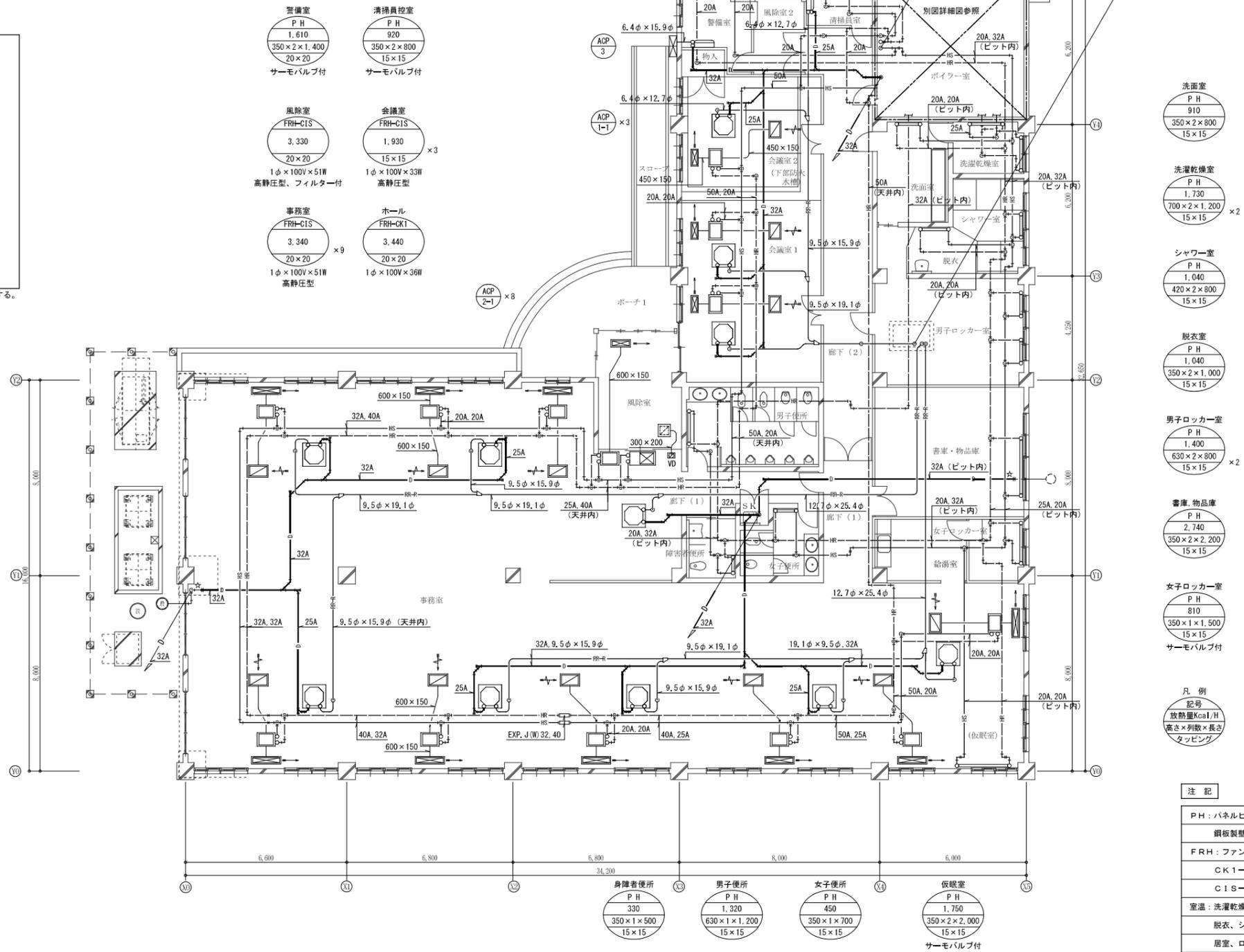
※ダクト設備は更新しない

機器一覧表		仕様	台数	電気特性			設置階/場所	備考
機器番号	機器名称			相	電力 V	消費電力 kw		
ACP-3	空冷パッケージエアコン室外機	1.5HP, 冷房能力: 3.6KW, 停電自動復帰, 進相コンデンサー, 防振パット, 防雪シートカバー付	1	1	200	1.33	1	外壁
ACP-3-1	空冷エアコン室内機	壁掛型, 冷房能力: 3.6KW, ドレンアップメカ, リモコンスイッチ共	1	-	-	-	1	警備室

※冷房条件: 室内DB26℃, WB18.7℃, 屋外30.8℃, WB24.6℃, 室内外機高低差2.0m

会議室 吹出口 VH 460×112 FRH付属品 3 Q = 340 m ³ /h ファン - 700×300×300H (GW 25 t 内貼, GC)	会議室 吸込口 VH 460×261 FRH付属品 3 Q = 340 m ³ /h ファン - 700×500×300H (GW 25 t 内貼, GC)
風除室 1 吹出口 VH 460×112 FRH付属品 1 Q = 470 m ³ /h ファン - 800×300×300H (GW 25 t 内貼, GC)	風除室 1 吸込口 GVS - 300 × 300 1 Q = 470 m ³ /h ファン - 500×500×300H (GW 25 t 内貼, GC)
事務室 吹出口 VHS - 1000 × 100 9 Q = 470 m ³ /h ファン - 1200×300×300H (GW 25 t 内貼, GC)	事務室 吸込口 HN 600×261 FRH付属品 9 Q = 470 m ³ /h ファン - 800×500×300H (GW 25 t 内貼, GC)

既存のままとする。



1階平面図 S=1:100

- 洗面室 P.H. 910 350×2×800 15×15
- 洗濯乾燥室 P.H. 1,730 700×2×1,200 15×15 ×2
- シャワー室 P.H. 1,040 420×2×800 15×15
- 更衣室 P.H. 1,040 350×2×1,000 15×15
- 男子ロッカー室 P.H. 1,400 630×2×800 15×15 ×2
- 書庫・物品庫 P.H. 2,740 350×2×2,200 15×15
- 女子ロッカー室 P.H. 810 350×1×1,500 15×15
- サマーバルブ付

凡例
 記号
 放熱量Kcal/H
 高さ×列数×長さ
 タッピング

注記	
P.H.	パネルヒーター
	鋼板製壁掛形表面輻射パネルタイプ
FRH	ファンコンベクター
	CK1-1天吊カセット形(一方吹出)
	CIS-1天吊埋込形
室温	洗濯乾燥室 30℃
	更衣、シャワー室 25℃
	居室、ロッカー室 22℃
	洗面、書庫、風除室、便所 15℃
	温水温度: 70℃ → 60℃
	洗濯乾燥室、更衣シャワー室、便所のパネルヒーターは耐食塗装仕上
	P.H.にはレタンコック取付

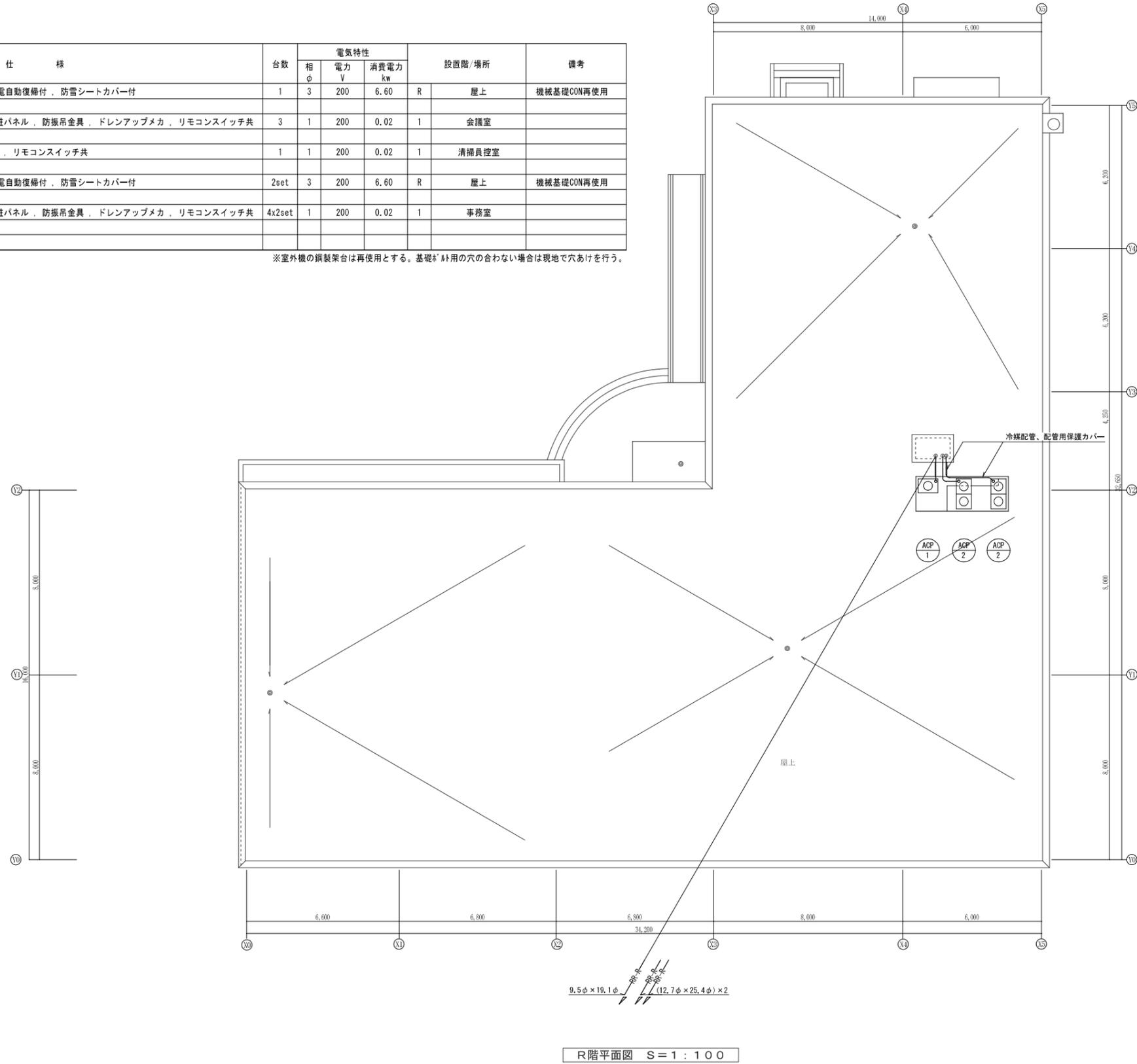
※ダクト設備は更新しない

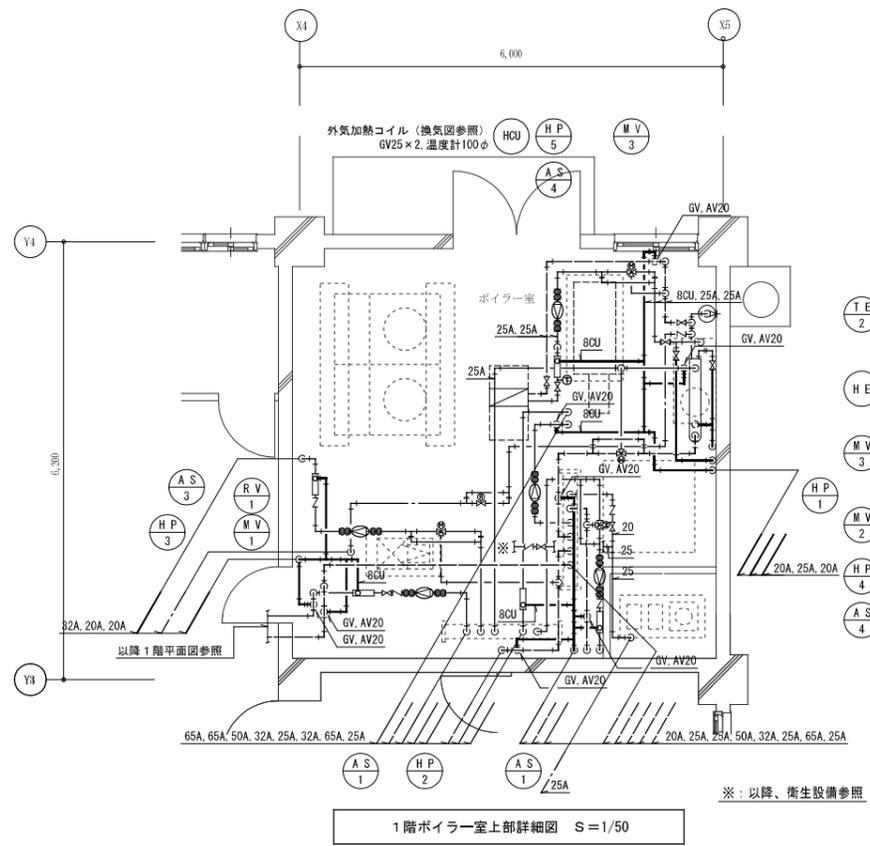
機器一覧表

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気特性			設置階/場所	備考	
				相φ	電力V	消費電力kw			
ACP-1	空冷マルチエアコン室外機	8HP, 冷房能力: 22.4KW, 高調波対応型, 停電自動復帰付, 防雪シートカバー付	1	3	200	6.60	R	屋上	機械基礎CON再使用
ACP-1-1	空冷マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型, 冷房能力: 4.5KW, 化粧パネル, 防振吊金具, ドレンアップメカ, リモコンスイッチ共 R32用遮断弁ユニット	3	1	200	0.02	1	会議室	
ACP-1-2	空冷マルチエアコン室内機	壁掛型, 冷房能力: 2.8KW, ドレンアップメカ, リモコンスイッチ共 R32用遮断弁ユニット	1	1	200	0.02	1	清掃員控室	
ACP-2	空冷マルチエアコン室外機	8HP, 冷房能力: 22.4KW, 高調波対応型, 停電自動復帰付, 防雪シートカバー付	2set	3	200	6.60	R	屋上	機械基礎CON再使用
ACP-2-1	空冷マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型, 冷房能力: 5.6KW, 化粧パネル, 防振吊金具, ドレンアップメカ, リモコンスイッチ共 R32用遮断弁ユニット	4x2set	1	200	0.02	1	事務室	

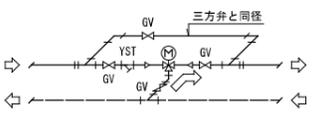
※冷房条件: 室内DB26℃, WB18.7℃, 屋外30.8℃, WB24.6℃, 室内外機高低差2.0m

※室外機の鎖製架台は再使用とする。基礎が11用の穴の合わない場合は現地で穴あけを行う。

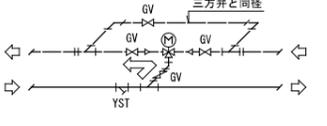




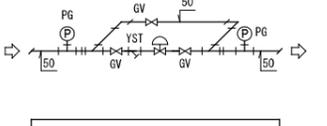
1階ボイラー室上部詳細図 S=1/50



電動三方弁装置組立図



電動三方弁装置組立図

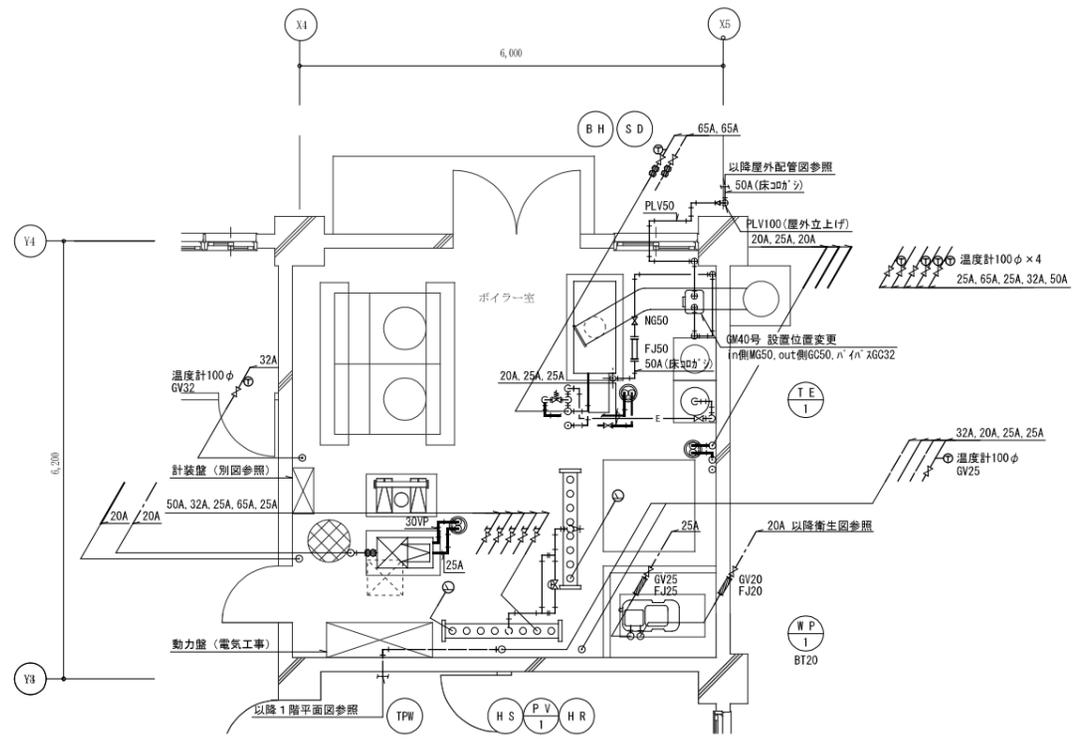


差圧調整弁装置組立図

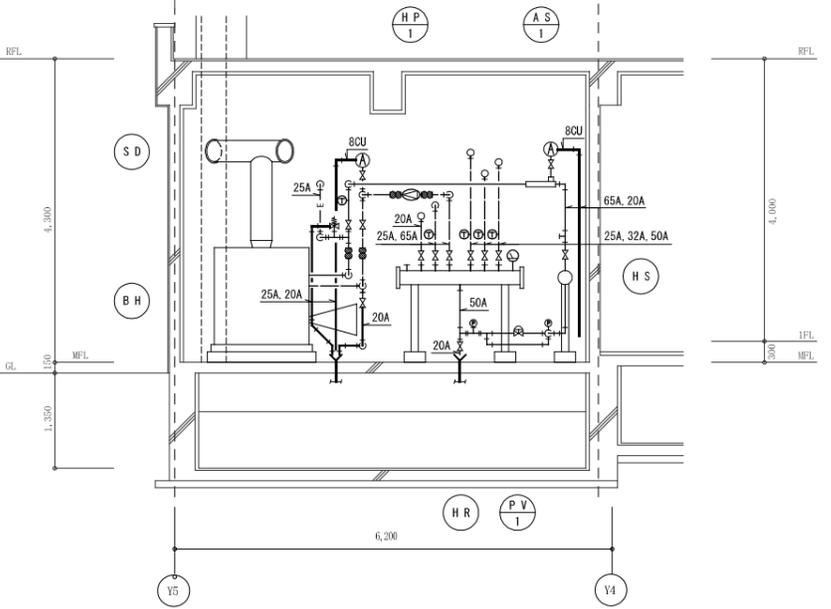


減圧弁装置組立図

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気特性		設置階/場所	備考	
				電力	消費電力			
BH	真空式温水器	2回路、仕体出力：349KW/h、 \dot{V} 2.3、33.3m ³ /h(13A) 種別能力：117KW、60℃～75℃、最高使用圧力：0.49MPa 給湯能力：103KW、45℃～60℃ 制御機(連相コンデンサー駆込)、ウィークリタイマー、感震装置共、コイル材質：SUS304 外部端子(連保発停、給気ファン連動、1次ドック連動、一括故障)	1	3	200	0.83	1	機械室 基礎は再使用
HE	熱交換器	シェルチューブ型、交換熱量：17.5KW/h、シェル：鋼管(黒)、チューブ：鋼管製 1次温水：75℃～65℃、25L/min(水) 2次温水：50℃～60℃、25L/min(不凍液40%) 最高使用圧力：0.49MPa、ブラケット共(GW40K50t、アルミニウム板)	1				1	機械室
HP-1	温水循環ポンプ (1次系統)	ライン型、 ϕ 40 x 190L/min x 7m	1	3	200	0.40	1	機械室
HP-2	温水循環ポンプ (事務室系統)	ライン型、 ϕ 32 x 80L/min x 15m	1	3	200	0.75	1	機械室
HP-3	温水循環ポンプ (警備所系統)	ライン型、 ϕ 25 x 35L/min x 12m	1	3	200	0.25	1	機械室
HP-4	温水循環ポンプ (乾燥室系統)	ライン型、 ϕ 25 x 20L/min x 8m	1	3	200	0.25	1	機械室
HP-5	温水循環ポンプ (外気加熱系統)	ライン型、 ϕ 25 x 25L/min x 8m、不凍液対応	1	3	200	0.25	1	機械室
HS	温水ヘッダー	鋼管製、150 x 1600L 架台付(GW40K50t、アルミニウム板) 水温計100 ϕ GV20 x 2、GV25 x 2、GV32、GV50、BV65	1				1	機械室
HR	温水ヘッダー	鋼管製、150 x 1800L 架台付(GW40K50t、アルミニウム板) 水温計100 ϕ GV20 x 2、GV25 x 2、GV32、GV50、BV65	1				1	機械室
TE-1	密閉式膨張タンク (暖房用)	膨張水量：33L、タンク容量：96L、最高使用圧力：0.49MPa	1				1	機械室
TE-2	密閉式膨張タンク (暖房用)	膨張水量：3L、タンク容量：7.5L、最高使用圧力：0.49MPa	1				1	機械室
SD	煙道	鋼板製、300 ϕ 、3.2t、測定口：100 ϕ 、煙道濃度計取付口付(RW75t、着色鉄板)	1				1	機械室
TPW	受水槽付加圧ポンプ	不凍液補給用、樹脂製受水槽50L、20A x 20L/min x 12m	1	1	100	0.13	1	機械室
AS-1	気水分離器	鋼板製、接続口径：65A、GV20、AV20	1				1	機械室
AS-2	気水分離器	鋼板製、接続口径：65A、GV20、AV21	1				1	機械室
AS-3	気水分離器	鋼板製、接続口径：65A、GV20、AV22	1				1	機械室
AS-4	気水分離器	鋼板製、接続口径：65A、GV20、AV23	2				1	機械室
	瞬間流量計	差圧式 20～200L/min	1				1	機械室
	同上用取付口	25～32用 温水ヘッダー立管及び加熱コイル系統に取付 50～65用 温水ヘッダー立管に取付	4 2				1 1	機械室 機械室
WP-1	補給水ポンプ	型式：吐出一定型 受水槽 50L付 20 ϕ x 15L/min x 20m 低水位遮断 満水警報 外部警報端子	1	1	100	0.15	1	機械室

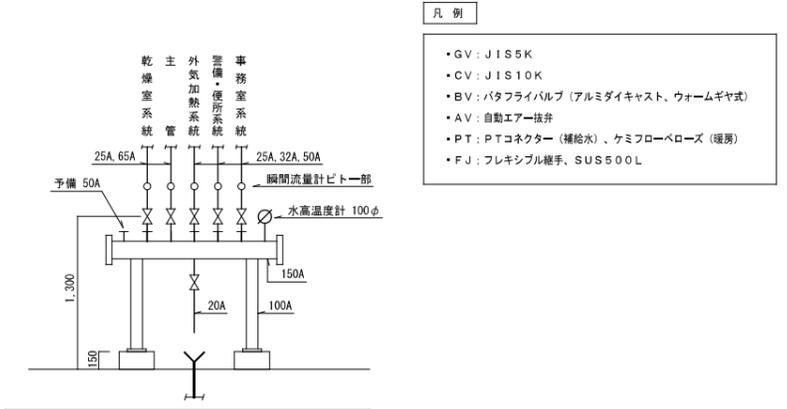


1階ボイラー室平面詳細図 S=1/50



1階ボイラー室断面詳細図 S=1/50

記号	名称	口径	数量	備考
MV-1	電動三方弁装置	警備、便所系統 32 x 20	1	GV32 x 2、GV25 x 2、YST32
MV-2	電動三方弁装置	乾燥室系統 25 x 20	1	GV25 x 4、YST32
MV-3	電動三方弁装置	外気加熱系統 25 x 20	2	GV25 x 4、YST32
PV-1	差圧調整弁装置	自力式 50 x 50	1	GV50 x 3、YST50、圧力計100 ϕ x 5K x 2
RV-1	減圧弁装置	補給水 20 x 20	1	GV20 x 3、YST20、圧力計100 ϕ x 5K x 2



温水ヘッダー(往)詳細図 S=1/30

機器一覧表

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気特性			設置階/場所	備考
				相	電力 V	消費電力 kW		
HEU-1	空調換気扇	天井吊下げ型, 90m ³ /h x 30Pa, 化粧パネル, 防振吊金具, リモコンスイッチ共	2	1	100	0.06		
HEU-2	空調換気扇	天井埋込型, 450m ³ /h x 50Pa, 化粧パネル, 防振吊金具, リモコンスイッチ共	1	1	100	0.16		
HEU-3	空調換気扇	天井埋込型, 600m ³ /h x 50Pa, 化粧パネル, 防振吊金具, リモコンスイッチ共	6	1	100	0.27		
SEU-4	顕熱交換型換気扇	天井埋込型, 600m ³ /h x 40Pa, 化粧パネル, 防振吊金具, リモコンスイッチ共	1	1	100	0.08		
CF-1	天井換気扇	100m ³ /h x 30Pa, 防振吊金具, 樹脂製パネル	1	1	100	0.02		
CF-2	天井換気扇	150m ³ /h x 50Pa, 防振吊金具, 樹脂製パネル	2	1	100	0.03		
CF-3	天井換気扇	240m ³ /h x 50Pa, 防振吊金具, 樹脂製パネル	1	1	100	0.04		
CF-4	天井換気扇	370m ³ /h x 30Pa, 防振吊金具, 樹脂製パネル	1	1	100	0.05		
CF-5	天井換気扇	490m ³ /h x 50Pa, 防振吊金具, 樹脂製パネル	1	1	100	0.08		
PF-1	有圧換気扇	給気用, 羽根径35cm, 650m ³ /h x 100Pa, 電動シャッター, 保護ガード付	1	3	200	0.15		
PF-2	有圧換気扇	排気用, 羽根径25cm, 410m ³ /h x 30Pa, 風圧シャッター, 保護ガード付	1	3	200	0.03		
DF-1	送風機	消音型ストレートシロッコ, #1 3/4 x 1300m ³ /h x 200Pa, 防振吊金具	1	1	200	0.02		
DF-2	送風機	耐湿型ストレートシロッコ, #1 x 250m ³ /h x 50Pa, 防振吊金具	1	1	100	0.02		
DF-3	送風機	消音型ストレートシロッコ, #1 1/4 x 390m ³ /h x 50Pa, 防振吊金具	1	1	100	0.02		
RF-1	レンジフード	深型, 自然給気タイプ, 幅600, 240m ³ /h x 50Pa, 給気電気シャッター, グリスフィルター付	1	1	100	0.08		
HCU-1	加熱コイルユニット	外気取入用, 天吊型, 加熱能力: 13.8KW, 処理風量: 1300m ³ /h, 面風速: 2.5m/s 温水量: 22L/min, 60°C-50°C (不凍液40%), 空気温度: 入口-8.1°C, 出口15°C フィルター: 500x500x25t, ろ材PS600, アルミ枠付, 予備材共	1					
AF	乾式エアフィルター	500x500x25t, ろ材PS600, アルミ枠付, 予備材共	2					
F-1	防雪フード	300x300, SUS304-1.0t, 防虫網(着脱式), FD付	1					
F-2	防雪フード	400x400, SUS304-1.0t, 防虫網(着脱式), FD付	1					
F-3	防雪フード	400x400, SUS304-1.0t, 防虫網(着脱式)	1					

チャンバー一覧表 既存

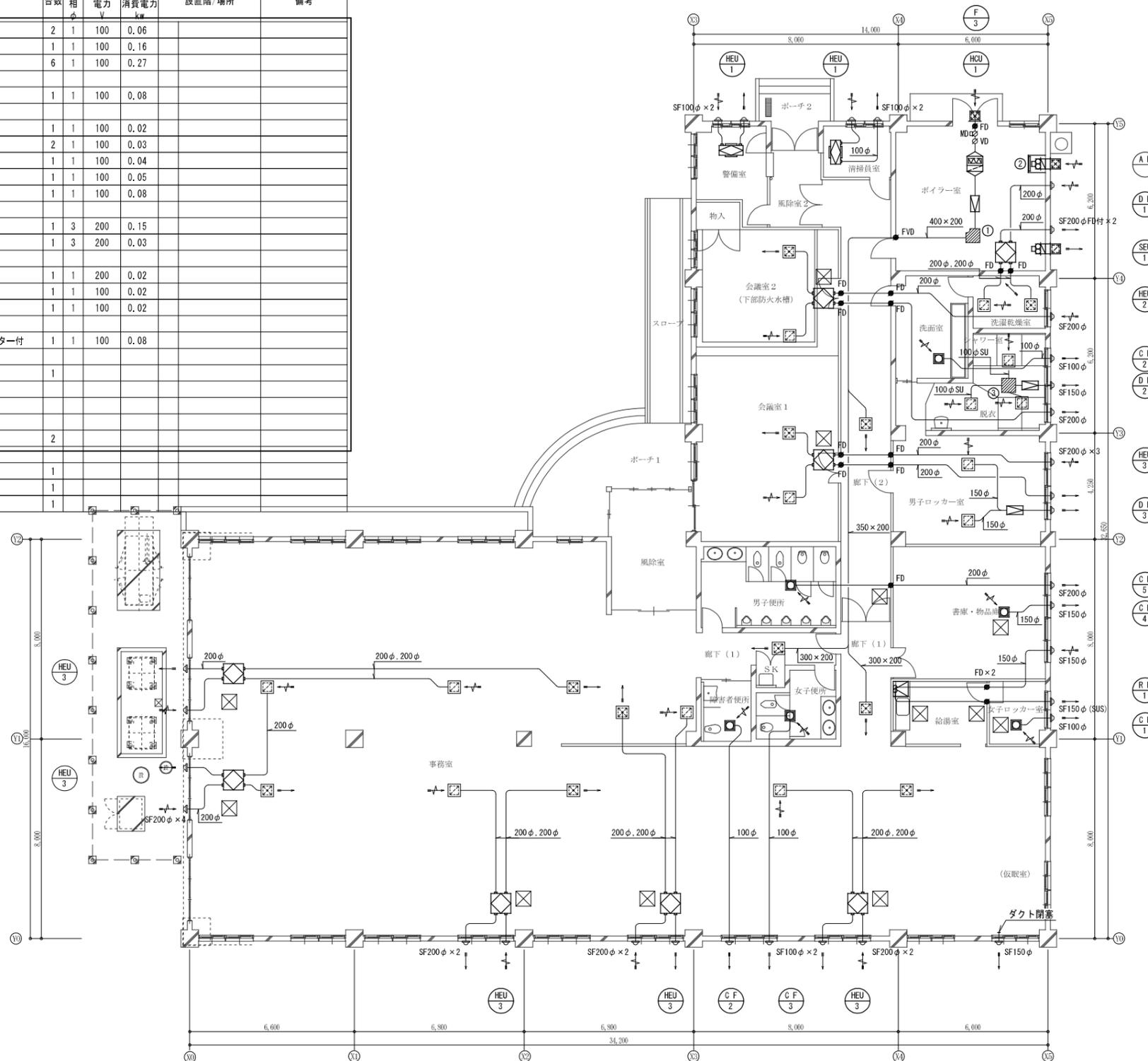
NO	名称	寸法	数量	消音内貼	既設品
1	給気チャンバー	600x600x500H	1	GW25t, GC	既設品
2	給気チャンバー	600x600x600H	1	GW25t, GC	既設品
3	排気チャンバー	400x400x300H	1	SUS304-0.5t	既設品

給湯室ガス排気計算 (LPG)

ガスコンロ: 0.47kg/h
 $V = 40KQ = 40 \times 12.7 \times 0.47 = 239$
 $\therefore V = 240m^3/h$

凡例

- SF : フード付ベントキャップ, アルミ製防虫網付 (RF用排気はステンレス製)
- ☒ : 天井点検口 (既設)



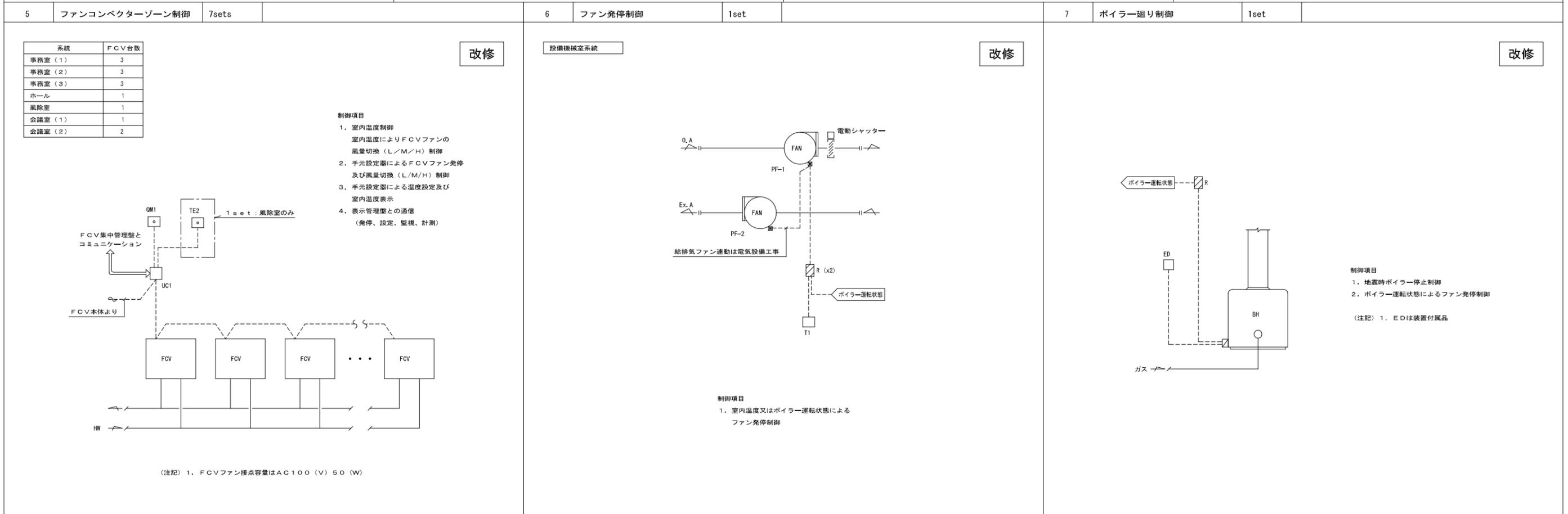
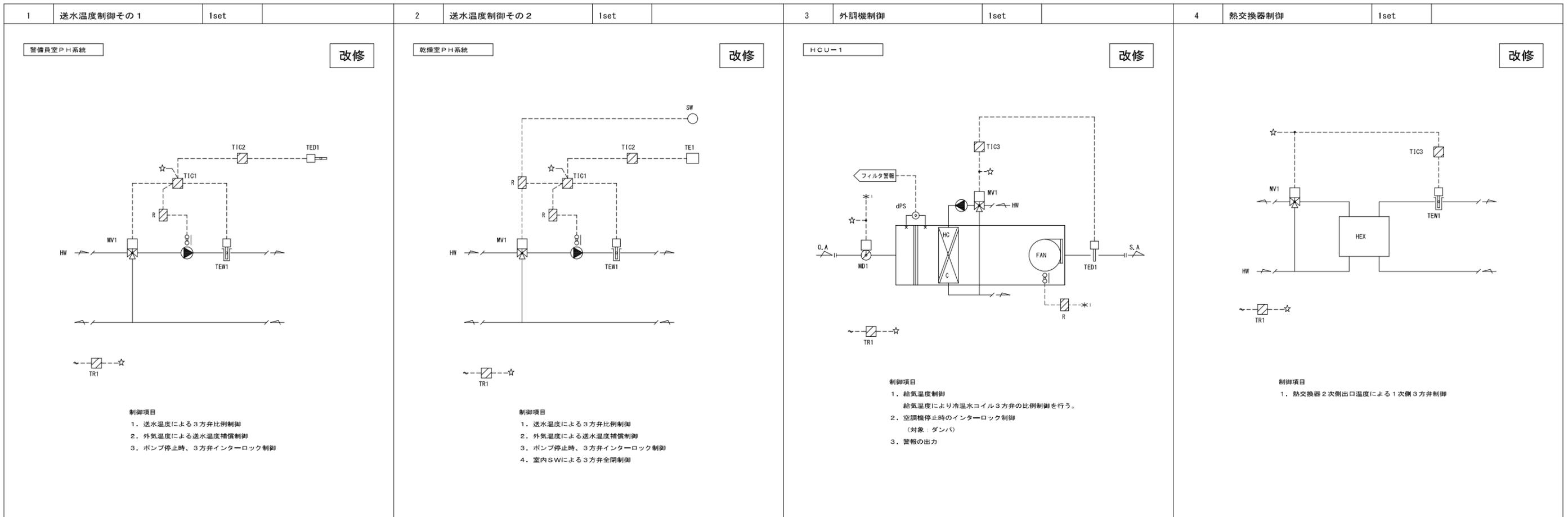
- 洗濯乾燥室 吹出口 既設品
VHS - 300 x 300
Q = 600 m³/h
チャンバ - 500 x 500 x 300H
(GW 25 t 内貼, GC)
- 洗濯乾燥室 吸込口 既設品
GVS - 300 x 300
Q = 600 m³/h
チャンバ - 500 x 500 x 300H
(GW 25 t 内貼, GC)
- 脱衣シャワー室 吸込口 既設品
GVS - 200 x 200
Q = 85 m³/h
チャンバ - 400 x 400 x 300H
(SUS304-0.5 t)
- 男子ロッカー室 吸込口 既設品
GVS - 200 x 200
Q = 195 m³/h
チャンバ - 400 x 400 x 300H
(GW 25 t 内貼, GC)
- 廊下 吹出口 既設品
VHS - 300 x 300
Q = 435 m³/h
チャンバ - 500 x 500 x 300H
(GW 25 t 内貼, GC)

1階平面図 S=1:100

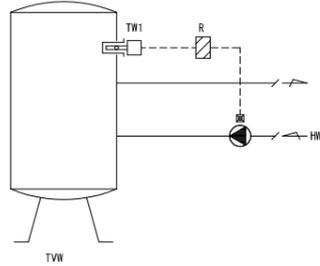
工事内容

- 換気機器の更新
- 事務室・会議室の制気口パネル再取付
- 機器更新部の保温の補修

※ダクト設備は更新しない



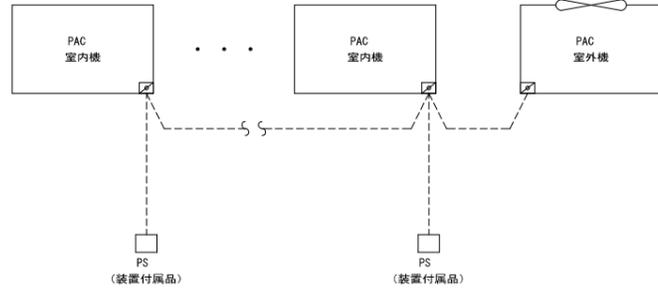
改修



制御項目
1. 槽内温度によるポンプ発停制御

改修

事務室系統 (その1)	室内機×4台
事務室系統 (その2)	室内機×4台
会議室 (1), (2), 清掃員控室系統	室内機×4台
警備員室系統	室内機×1台



自動制御機器表

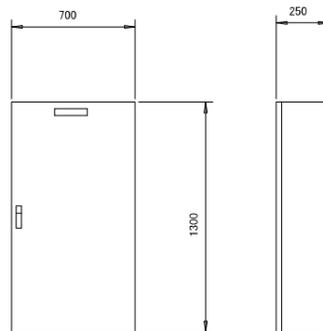
記号	名称	型番	個数	備考
T1	室内型サーモスタット	TY6301	1	二位置
TW1	挿入型サーモスタット	TY6800	1	W/保護管
TE1	室内型温度検出器	TY7043	1	
TE2	室内型温度検出器	TY7043	1	
TED1	挿入型温度検出器	TY7803	2	
TEW1	挿入型温度検出器	TY7830B0015	3	W/保護管
TR1	トランス	AT72-J1	5	
SW	切換スイッチ		1	
R	補助リレー		8	
dPS	差圧スイッチ	PYY-604	1	
DM1	デジタル温度調節器	OY205A	7	
UC1	コントロールユニット	WY-1202	7	
TIC1	温度指示調節計	R36	2	
TIC2	温度指示調節計	R36	2	
TIC3	温度指示調節計	R36	2	
MD1	直結ダンパ操作器	MY6050A	1	
MV1	電動3方弁	MY5310A+YY5303A	4	

バルブロ径表

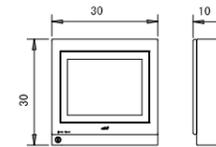
系統名	弁記号	流体	流量 l/m	ΔP kPa	CV	口径 (A)	備考
送水温度制御その1	MV1	HW	35.0	0.3	4.5	20	
送水温度制御その2	MV1	HW	20.0	0.3	2.6	20	
外調機制御	MV1	HW	25.0	0.3	3.2	20	
熱交換器制御	MV1	HW	34.0	0.3	4.3	20	

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法			収納系統名	備考
		W	H	D		
CP-1-1	壁掛	700	1300	250	・送水温度制御その1, 2 ・外調機制御 ・熱交換器制御 ・ファン発停制御 ・ボイラー廻り制御 ・貯湯槽制御	設備機械室設置
CP-1-2	壁掛	300	300	100	・FCV集中管理盤 (SMS2)	警備員室設置



制御盤 (CP-1-1)

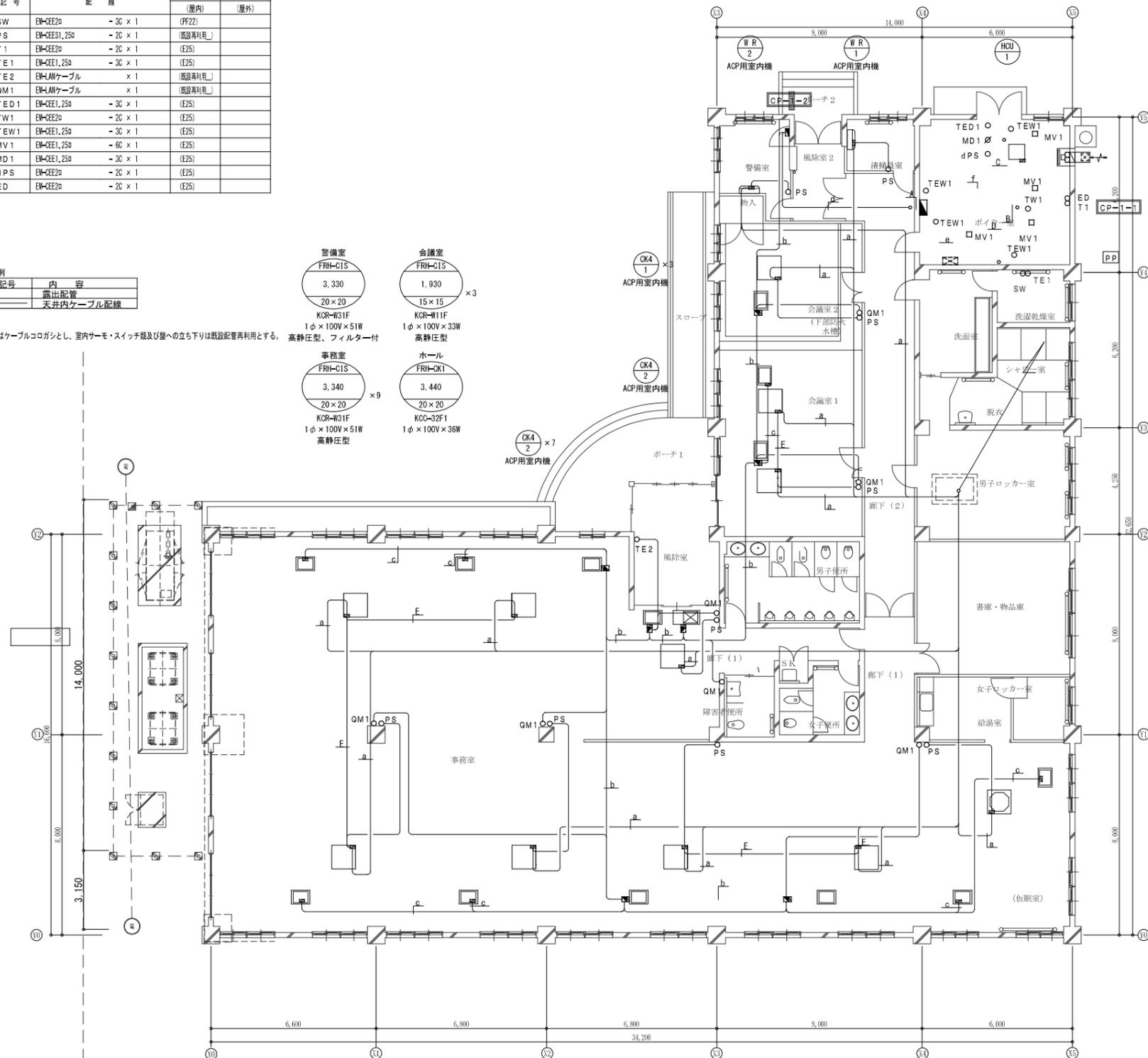


制御盤 (CP-1-2) SMS2

シンボル	記号	配線	配管	
			(屋内)	(屋外)
○	SW	EM-CEE2a	-3C x 1	(PF22)
○	PS	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(風除利見)
○	T 1	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)
○	TE 1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
○	TE 2	EM-LANケーブル	x 1	(風除利見)
○	QM 1	EM-LANケーブル	x 1	(風除利見)
○	TED 1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
○	TW 1	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)
○	TEW 1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
□	MV 1	EM-CEE1.25a	-6C x 1	(E25)
◇	MD 1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
○	dPS	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)
○	ED	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)

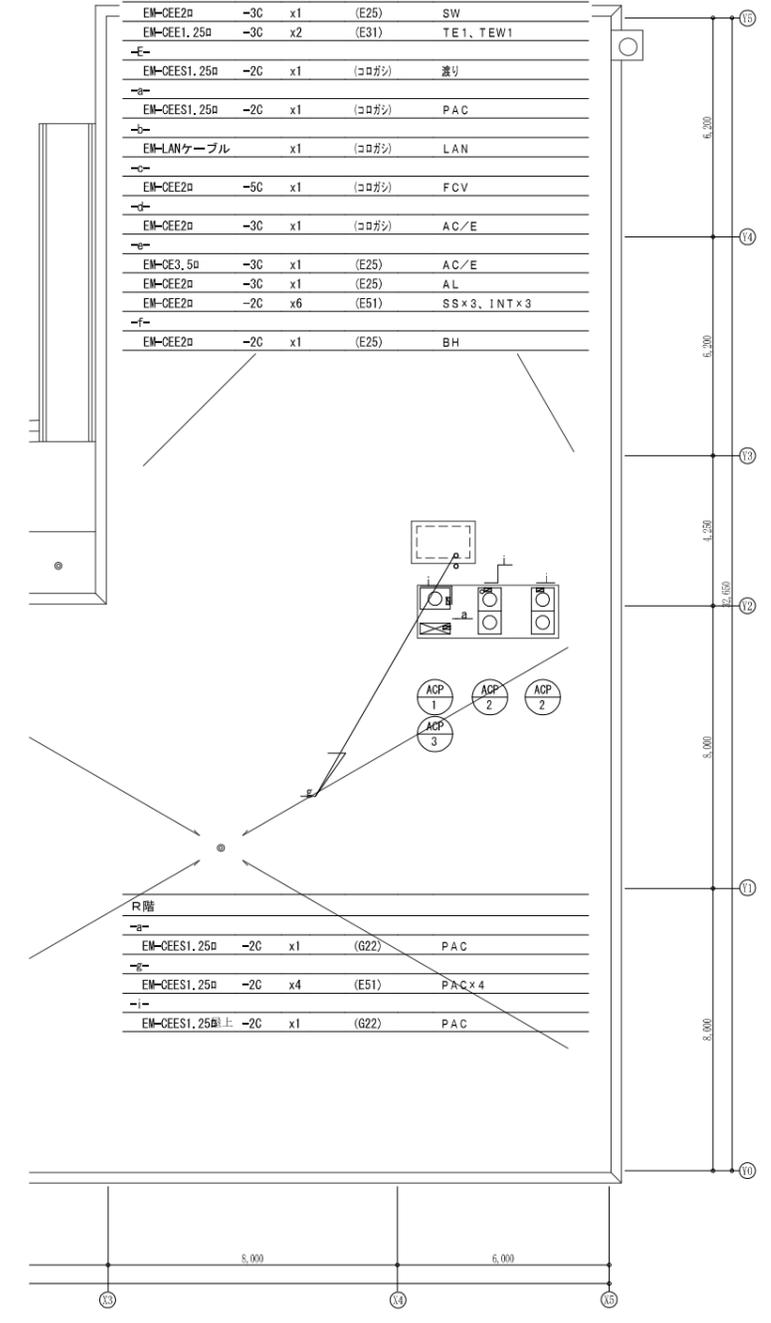
記号凡例	内容
平面図記号	露出配管
	天井内ケーブル配線

(特記)
・天井内はケーブルコログシとし、室内サーモ・スイッチ類及び壁への立ち下りは既設配管再利用とする。高静圧型、フィルター付



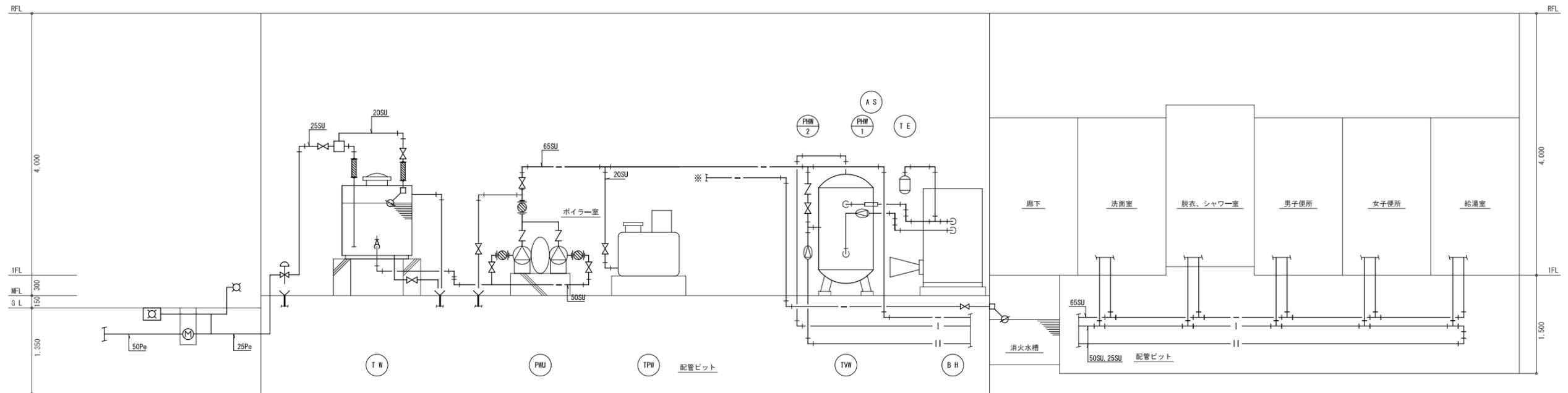
1階平面図 S=1:100

1階				
-A-	EM-CEE2a	-3C x 1	(E25)	AC/E
-B-	EM-CEE1.25a	-6C x 3	(E51)	MV 1 x 3
-C-	EM-CEE1.25a	-3C x 3	(E39)	MD 1, TEW 1, TED 1
-D-	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)	dPS
-E-	EM-CEE2a	-3C x 1	(E25)	SW
-F-	EM-CEE1.25a	-3C x 2	(E31)	TE 1, TEW 1
-G-	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(コログシ)	遮り
-H-	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(コログシ)	PAC
-I-	EM-LANケーブル	x 1	(コログシ)	LAN
-J-	EM-CEE2a	-5C x 1	(コログシ)	FCV
-K-	EM-CEE2a	-3C x 1	(コログシ)	AC/E
-L-	EM-CE3.5a	-3C x 1	(E25)	AC/E
-M-	EM-CEE2a	-3C x 1	(E25)	AL
-N-	EM-CEE2a	-2C x 6	(E51)	SS x 3, INT x 3
-O-	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)	BH

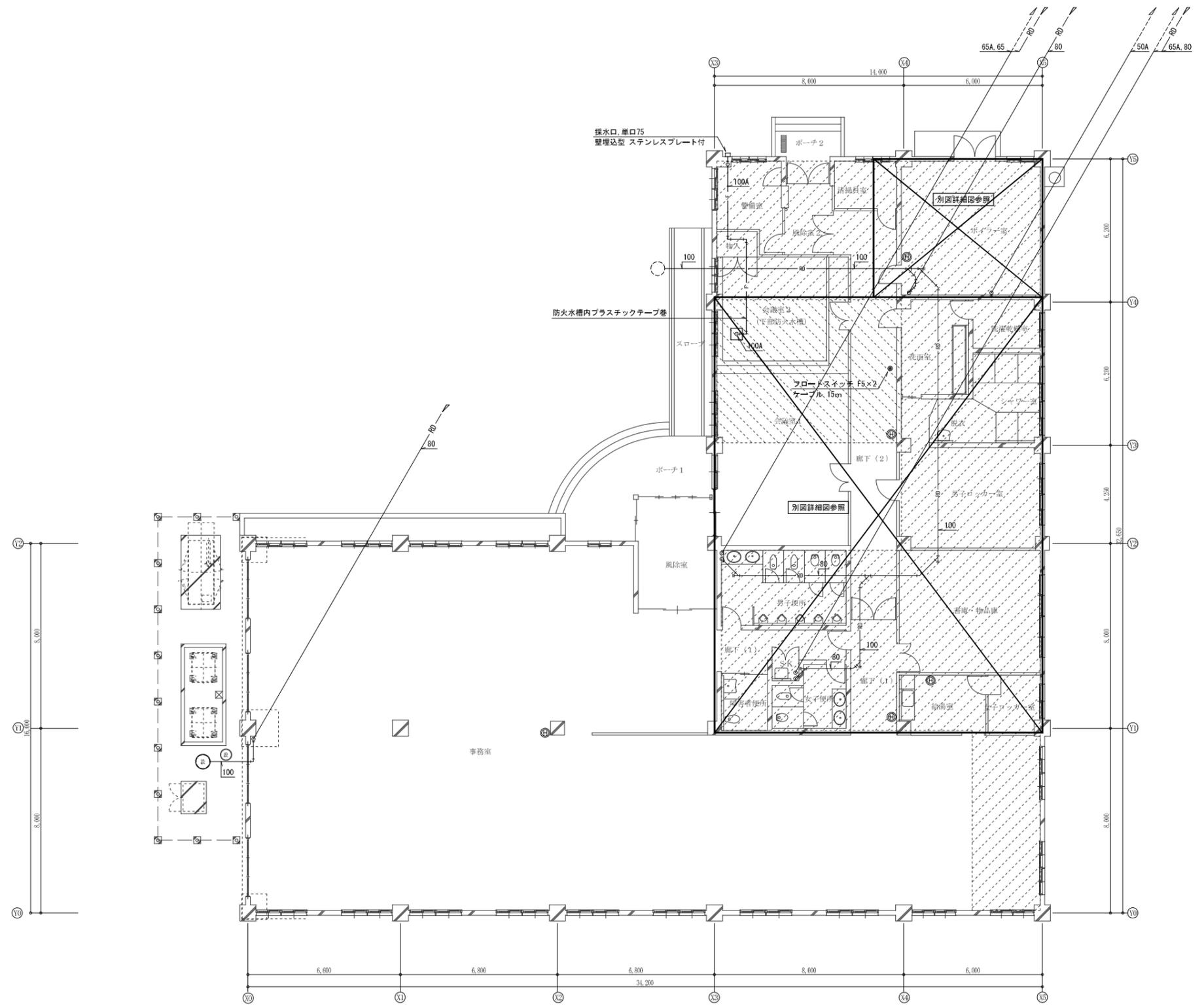


R階				
-a-	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(G22)	PAC
-b-	EM-CEES1.25a	-2C x 4	(E51)	PAC x 4
-c-	EM-CEES1.25a上	-2C x 1	(G22)	PAC

R階平面図 S=1:100



※：空調設備より



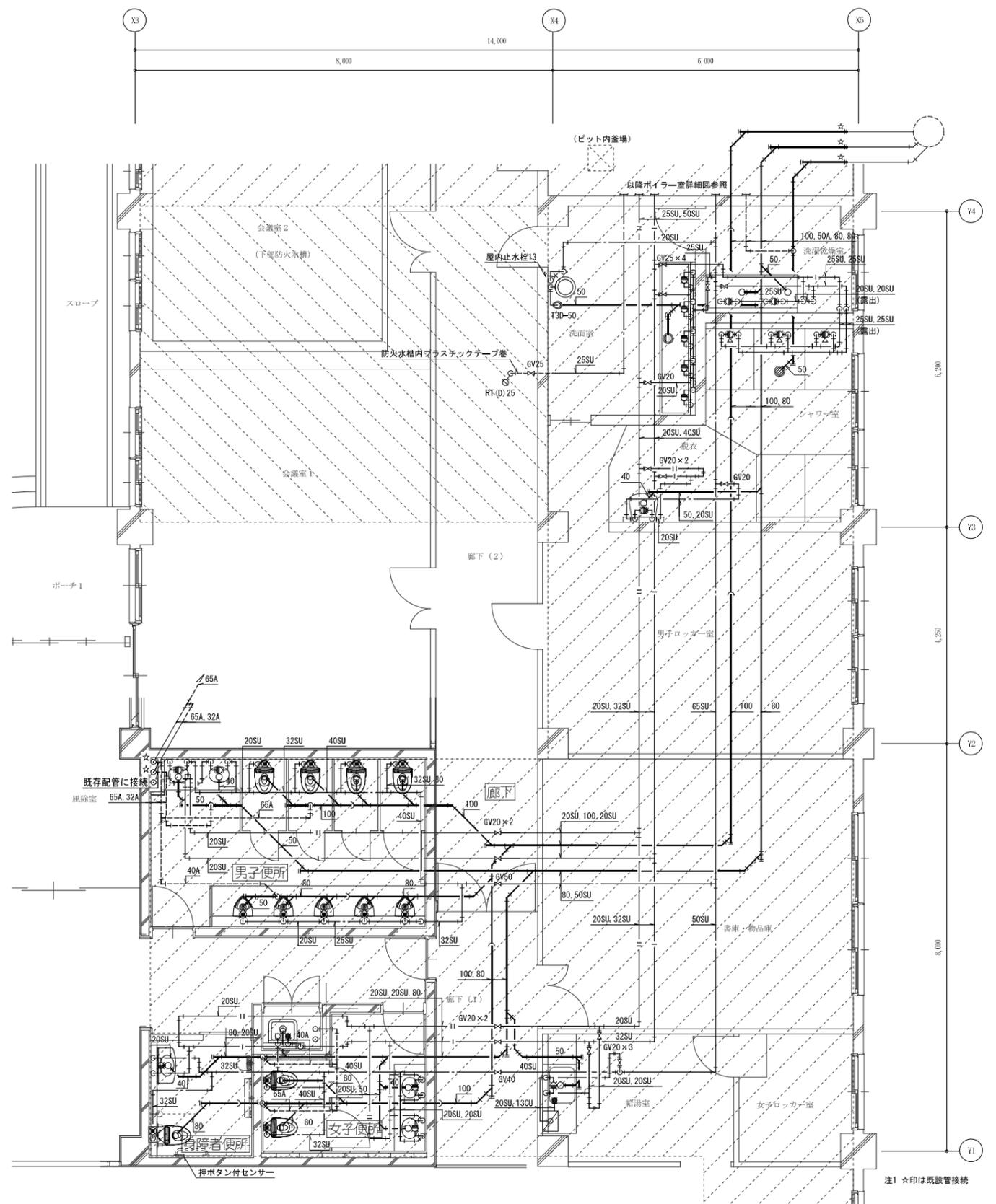
1階平面図 S=1:100

- 凡例
- (H) : ABC粉末消火器10型を示す(別途工事)
 - (斜線) : 床下配管ビット範囲

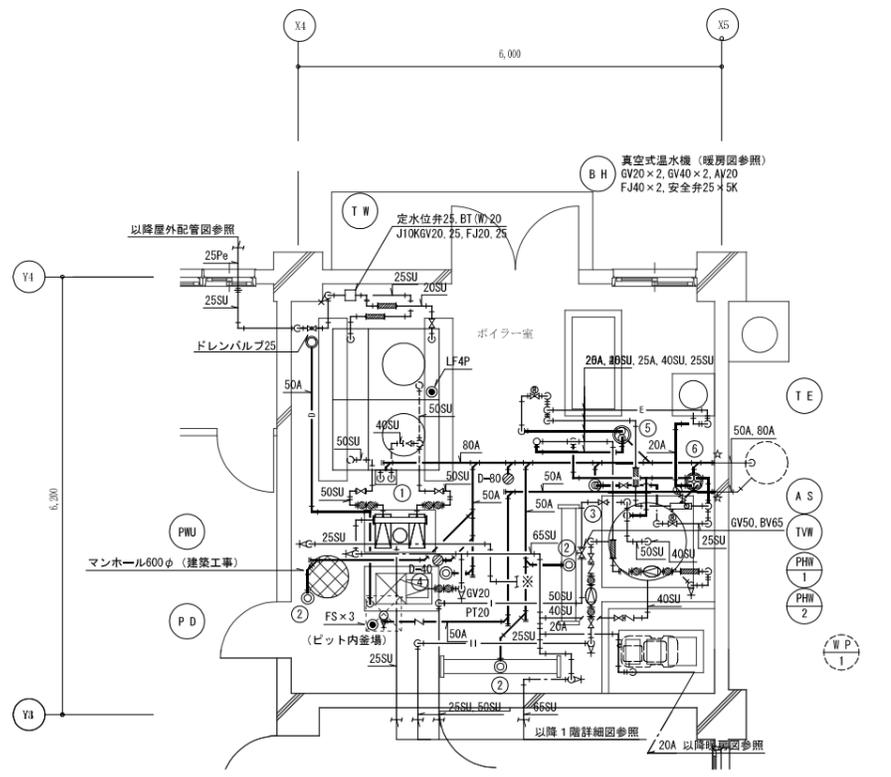
衛生器具一覧表

器具名	仕様	合計	男子 便所	女子 便所	身障者 便所	給湯 室	洗面 所	洗濯 乾燥 室	シャワ ー室	脱衣 室	備考
洋風大便器	CFS494(参考) 温水暖房便座(蓋あり) TS116MD(紙巻器) A21(注意板)	3	2	1	更新						
洋風大便器	CFS494(参考) 温水暖房便座(蓋あり) 紙巻器 注意板	3	2	1							
身障者用便器	C480AN(参考) 温水暖房便座(蓋無し) 自動FVBOX 押付けセンサー TS116MD(紙巻器) A21(注意板)	1			1	更新					
小便器	UFH507CR U321RM(参考) 感知FV	5	5								
洗面器	L531(参考) 自動混合栓(自己発電式) ストラップ S止水栓	4	2	2	更新						
洗面器	L210C L132G(参考) 自動混合栓(自己発電式) Pトラップ L止水栓	1							1	更新	
身障者用洗面器	L270DM(参考) 自動混合栓(自己発電式) Pトラップ L止水栓	1			1	更新					
水石入れ	TS126AR KF24F(参考)	4	2	2	更新						
水石入れ	TS126R・KF24G(参考)	2			1	更新				1	更新
化粧鏡	TS119ASR15	1			1						
化粧棚	TS119FR3	1								1	
既製流し台	1,350×560×800H	1				1	更新				
流し台	3,000×600×800H(ステンレス)	1					1	再取付			パフ研磨を行う
既製ガス台	600×555×620H(バックガード付)	1				1	更新				
混合水栓	TKS05301J SFWM420SYXN(参考) 立型シングルレバー混合栓	1				1	更新				
混合水栓	TKS05311Z SFWM435SYN(参考) シングルレバー混合栓	5					5	更新			
洗濯混合水栓	2バルブ混合栓 緊急止水付き	2						2	更新		
シャワー水栓	TBV03401Z1 BFKA145TNSG(参考) サーマスタット付	5							3	更新	
掃除用流し	SVS1 送り座付横水栓 C-1、H-1 ストラップ(ゴム共栓)	1		1	更新						
流し排水金物	SNK-A40(網栓)	1					1	更新			
電気温水器	壁掛型 20L 1φ×200V×1.5KW 給湯カラン 通間タイマー 埋込ブロー管共	1				1	更新				
うがい器	床置き式 タンク容量:20L うがい薬:18L共	1					1	再取付			

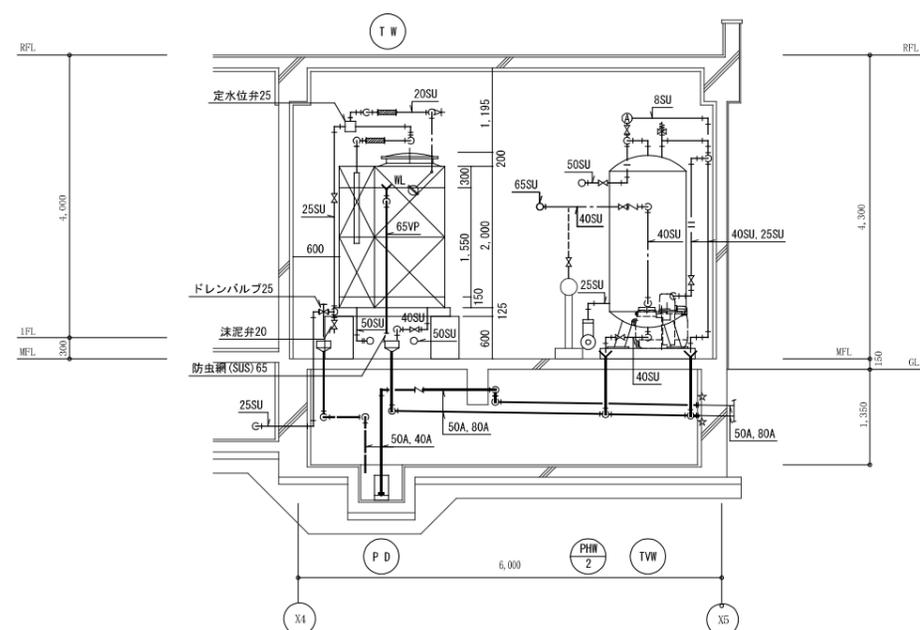
※GV:JIS5K



工事内容
 ・ピット内の給水管, 給湯管, 排水管, 通気管の更新
 ・男女便所・身障者便所の衛生陶器の更新



1階ボイラー室平面詳細図 S=1/50



1階ボイラー室断面詳細図 S=1/50

機器一覧表

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気特性			設置階/場所	備考
				相	電力	消費電力		
TW	受水槽	FRP製, サンドイッチパネル型, 1槽式, 1G, 2000x1500x2000H, 鋼製架台(亜鉛メッキ)共 有効容量: 4.65m ³ , マンホール600φ(継付), 通気口, 内梯子, 外梯子共, 外部補強	1				ボイラー室	機械基礎再使用
PWU	加圧給水ポンプユニット	インバーター制御式, 推定末端圧一定型, 交互並列運転, 40A x 50A x 250L/min x 30m ステンレス製ポンプ, 制御盤(受水槽満減警報, 一括故障及び警報用外部端子付), 防護架台共	1	3	200	1.5x2	ボイラー室	機械基礎再使用
TVW	貯湯槽	ステンレスクラッド鋼板製, 立形, 貯湯量: 1500L, 最高使用圧力: 0.49MPa 1000φx2000H, 外部電気防食装置共, GW40K50t アルミニウム板, 水高温度計100φ	1				ボイラー室	機械基礎再使用
PHW-1	給湯循環ポンプ (1次系統)	ライン型, SUS製, 32A x 60L/min x 5m	1	3	200	0.25	ボイラー室	
PHW-2	給湯循環ポンプ (2次系統)	ライン型, SUS製, 32A x 20L/min x 7m	1	3	200	0.25	ボイラー室	
TE	密閉式膨張タンク	鋼板製給湯用, 膨張水量: 66L, タンク容量: 174L, 圧力計付, 最高使用圧力: 0.49MPa	1				ボイラー室	機械基礎再使用
AS	気水分離器	鋼板製, ナイロンコーティング, 接続口径40A	1				ボイラー室	
PD	湧水水中ポンプ	フロート運転型, 40A x 100L/min x 5m, ケーブル5m付	1	3	200	0.25	ボイラー室	
FS	フロートスイッチ	上記ポンプ用, ポンプ起動, 停止, 満水警報用, ケーブル5m付	3				ボイラー室	

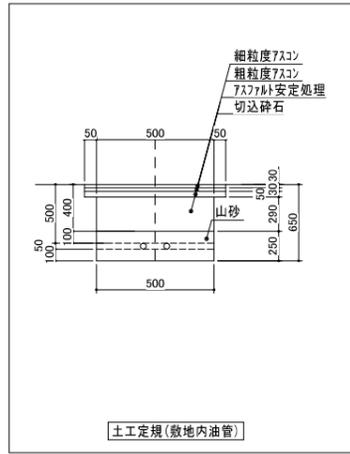
※: 空調設備より

排水ロータリー一覧表

NO	寸法	数量
1	200x300x80A	1
2	100φx40A	3
3	100φx50A	1
4	150φx40A	1
5	200φx40A	1
6	200φx50A	1

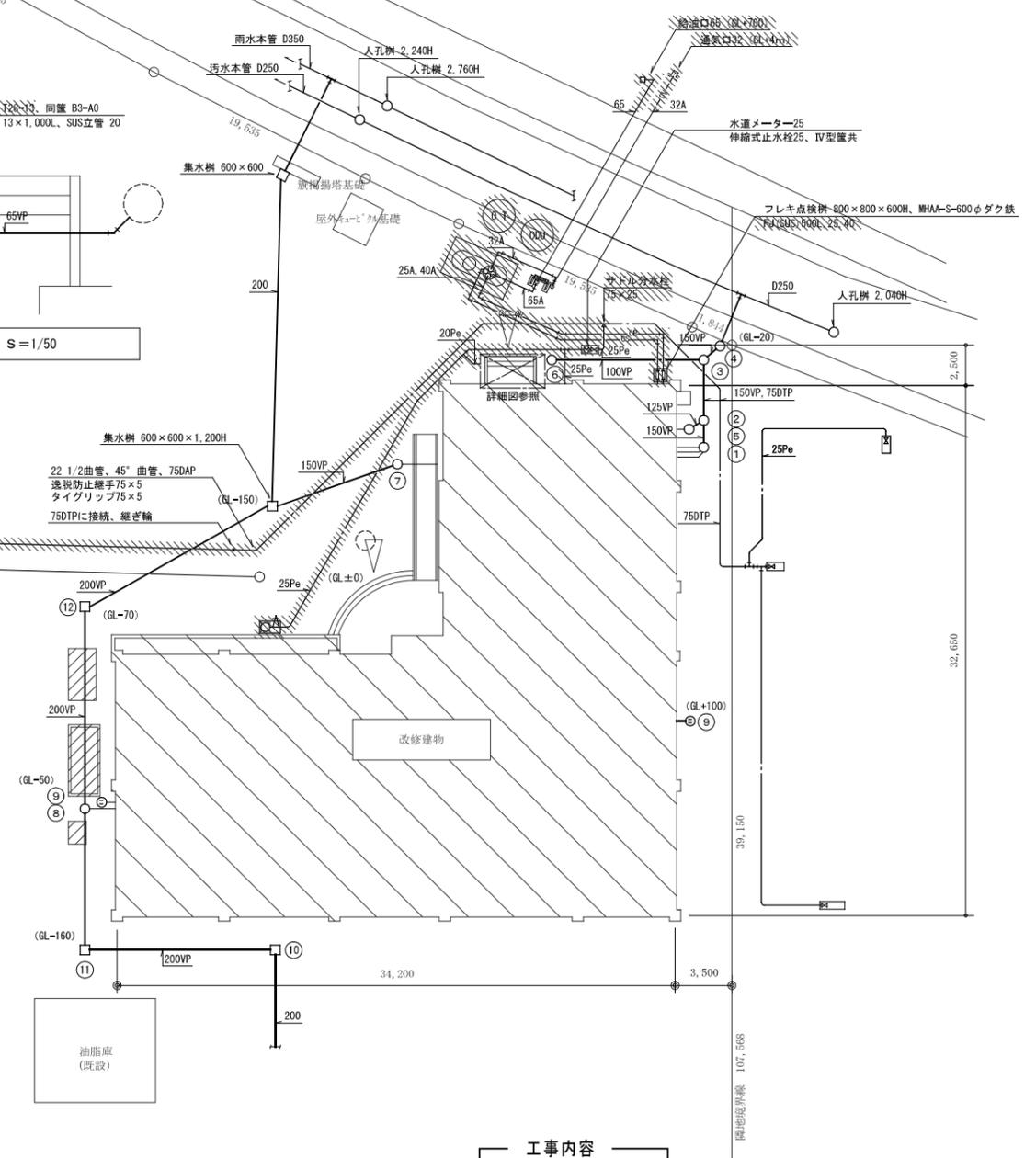
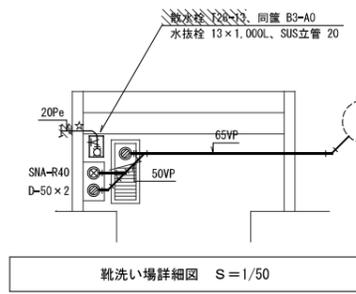
- 凡例
- GV: JIS5K (図示外)
 - CV: JIS10K
 - BV: バタフライバルブ (アルミダイキャスト, ウォームギヤ式)
 - AV: 自動エア抜弁
 - PT: 防振継手
 - FJ: フレキシブル継手 (SUS)

注1 ☆印は既設管接続



機器一覧表				
記号	名称	仕様	数量	メーカー名
Q	地下オイルタンク	通称式 4,000L 1,300φ×3,000L A兼油用	1	
QDU	給油口等共通架台	S.G.P.G.A. 1,000φ×500×2,100H	1	
		給油口φ×フラーBOX 橋承板共		

排水機一覧表					
NO	名称	寸法	材質	管底	備考
①	汚水機	600φ×880H	MHAA-Rダク鉄	880H	
②	汚水機	600φ×925H	MHAA-Rダク鉄	925H	
③	汚水機	600φ×960H	MHAA-Rダク鉄	960H	
④	公設機	400φ×1,170H	コンクリート	1,170H	
⑤	トラップ機	600φ×1,010H	MHAA-Rダク鉄	810H	泥溜200H
⑥	トラップ機	600φ×1,000H	MHAA-Rダク鉄	820H	泥溜180H
⑦	雨水機	600φ×1,220H	MHAA-Rダク鉄	850H	泥溜370H
⑧	雨水機	600φ×1,350H	MHAA-Rダク鉄	1,170H	泥溜180H
⑨	浸透機	450φ×1,000H	MHAA-Rダク鉄	670H	2組
⑩	雨水集水機	600φ×1,260H	グレーチング	980H	
⑪	雨水集水機	600φ×1,300H	グレーチング	1,010H	
⑫	雨水集水機	600φ×1,370H	グレーチング	1,140H	

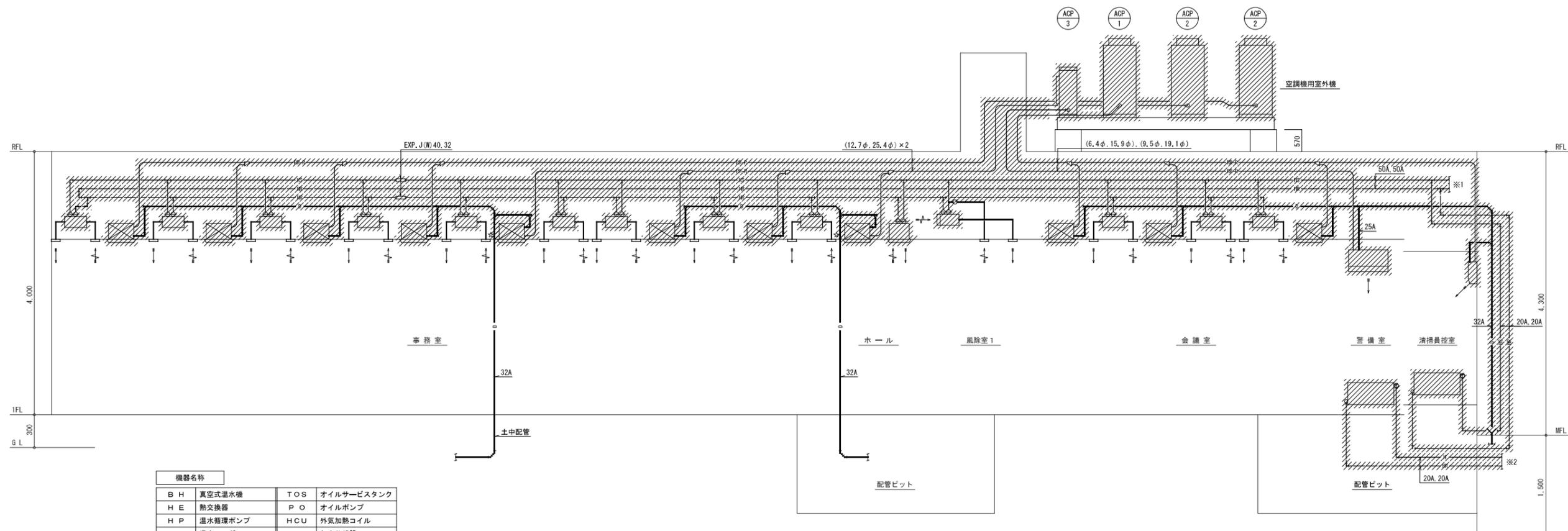


凡例					
— DTP —	給水管 (屋外)	水道用ダクタイル鋼鉄管	— PD —	雨水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
— Pe —	給水管 (屋外)	水道用ポリエチレン二層管	— A —	通気管	配管用炭素鋼管 (白)
— IB —	給水管 (屋内直圧)	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (白)	— D — A	ドレン管	配管用炭素鋼管 (白)
— IB —	給水管 (屋内二次側)	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (白)	— HT —	給湯管 (往・返)	耐熱塩化ビニルライニング鋼管
— W —	汚水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	— F — A	防火用水管	配管用炭素鋼管 (白)
— WP —	雑排水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	— G — A	ガス管 (LP)	配管用炭素鋼管 (白)
— WP —	雑排水管	硬質塩化ビニル鋼管	— H — A	温水管 (往・返)	配管用炭素鋼管 (黒)
— LP —	汚水、雑排水管	排水用鉛管	— HR —	冷媒管	冷媒用被覆鋼管
— A —	圧送排水管	配管用炭素鋼管 (白)	— OS — A	油管 (往・返)	配管用炭素鋼管 (黒)
			— OR —	オイル通気管	配管用炭素鋼管 (黒)

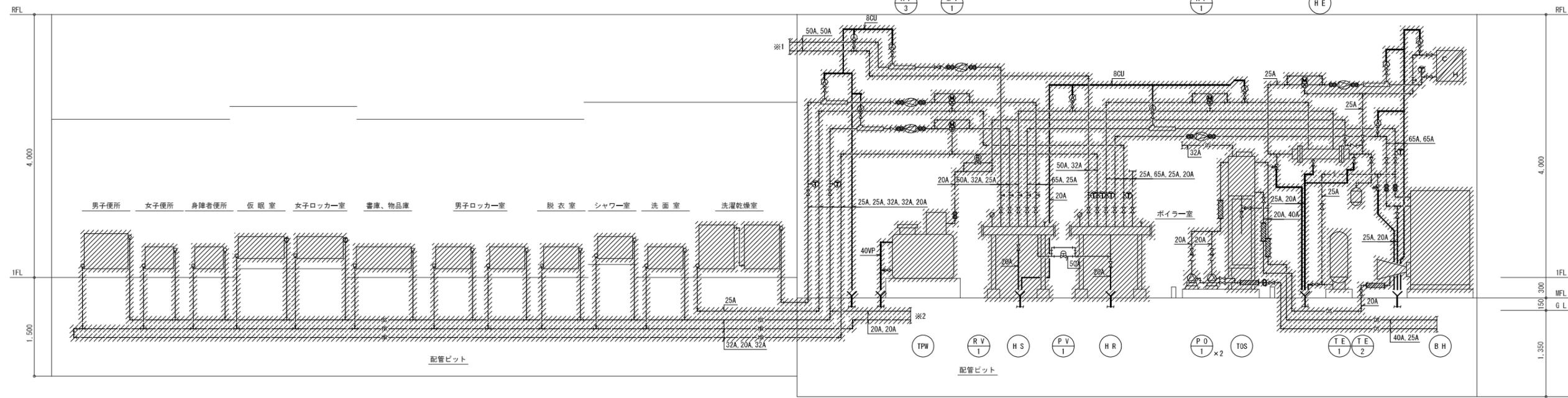
※ 給水・給湯管継手、管端防食継手

工事内容
 ・給水管の撤去
 ・給油設備の撤去

注1 ☆印は切断箇所を示す。

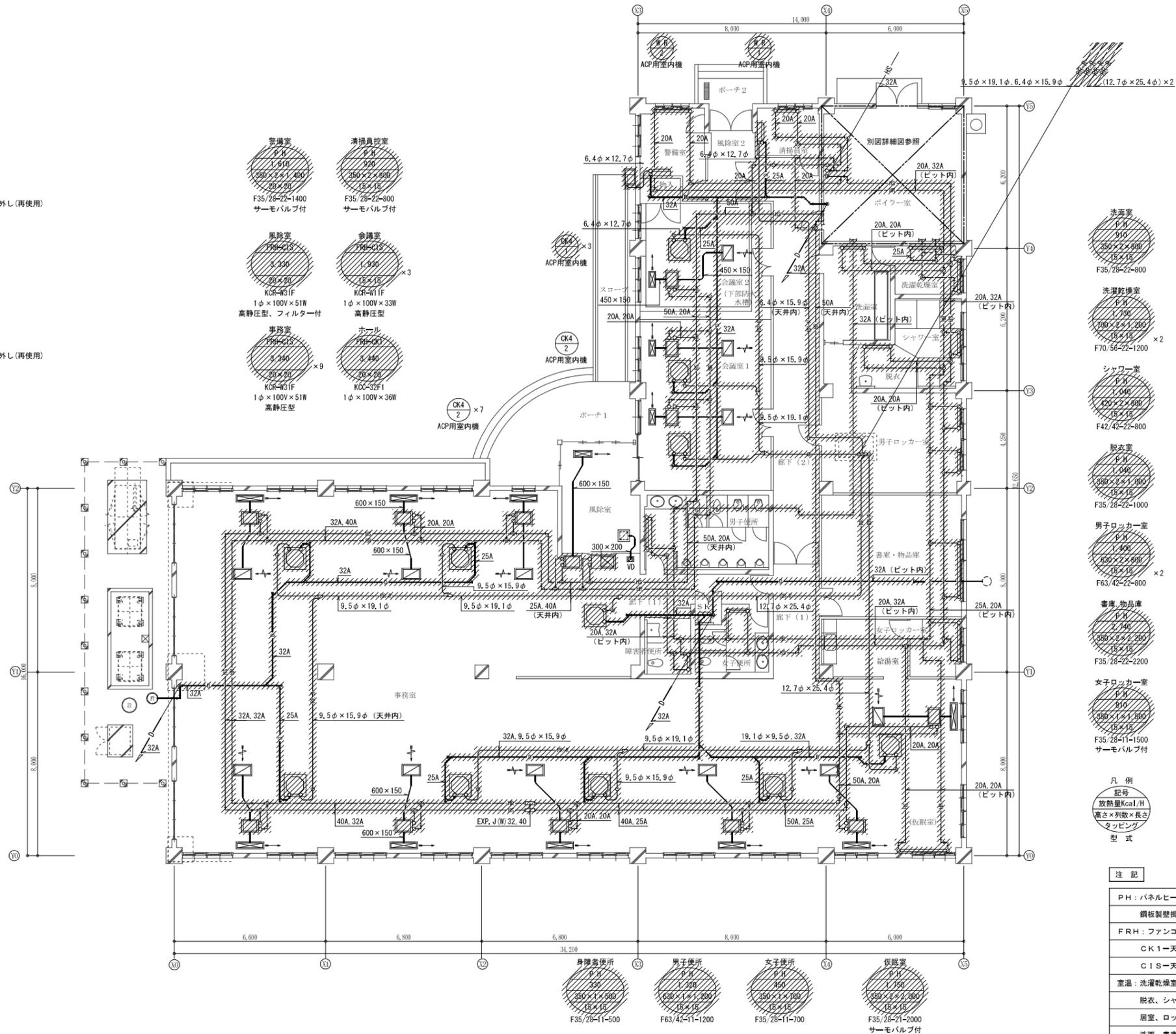


機器名称			
BH	真空式温水機	TOS	オイルサービスタンク
HE	熱交換器	PO	オイルポンプ
HP	温水循環ポンプ	HCU	外気加熱コイル
HS-HR	温水ヘッダー	AS	気水分離器
TE	密閉式膨張タンク	MV	電動三方弁装置
TPW	受水槽付加圧ポンプ	PV	差圧調整弁装置
ACP	空調機用室外機	RV	減圧弁装置



注1 ☆印は切断箇所を示す。

取外し(再使用)	会議室 吹出口 VH 460×112 FRH付属品 Q = 340 m ³ /h ファン - 700×300×300H (GW 25 t 内貼、GC)	会議室 吸込口 VH 460×261 FRH付属品 Q = 340 m ³ /h ファン - 700×500×300H (GW 25 t 内貼、GC)	取外し(再使用)
	風除室 1 吹出口 VH 460×112 FRH付属品 Q = 470 m ³ /h ファン - 800×300×300H (GW 25 t 内貼、GC)	風除室 1 吸込口 GVS - 300 × 300 Q = 470 m ³ /h ファン - 500×500×300H (GW 25 t 内貼、GC)	
取外し(再使用)	事務室 吹出口 VHS - 1000 × 100 Q = 470 m ³ /h ファン - 1200×300×300H (GW 25 t 内貼、GC)	事務室 吸込口 HN 600×261 FRH付属品 Q = 470 m ³ /h ファン - 800×500×300H (GW 25 t 内貼、GC)	取外し(再使用)



1階平面図 S=1:100

工事内容

- ・温水、冷媒、ドレン管の撤去
- ・事務室・会議室の制気口取外し
- ※ダクト設備は撤去しない

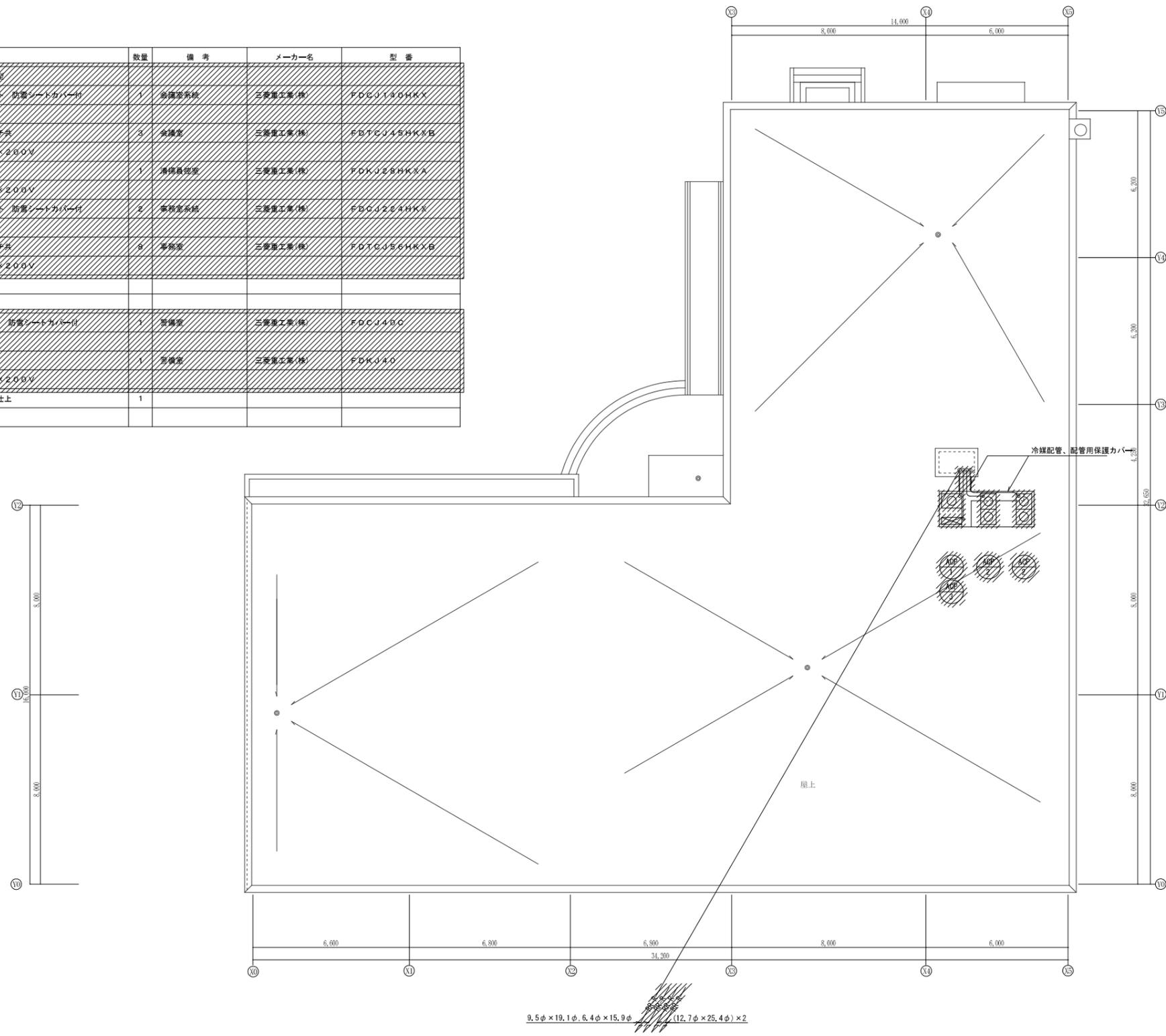
洗面室	PH 910 350×2×600 18×18	F35/28-22-800
洗濯乾燥室	PH 1750 300×2×1200 18×18	F70/56-22-1200
シャワー室	PH 1040 450×2×600 18×18	F42/42-22-800
脱衣室	PH 1040 350×2×1300 18×18	F35/28-22-1000
男子ロッカー室	PH 1400 350×2×600 18×18	F63/42-22-800
書庫・物品庫	PH 2140 350×2×2200 18×18	F35/28-22-2200
女子ロッカー室	PH 910 350×2×1300 18×18	F35/28-11-1500 サーモバルブ付

注記

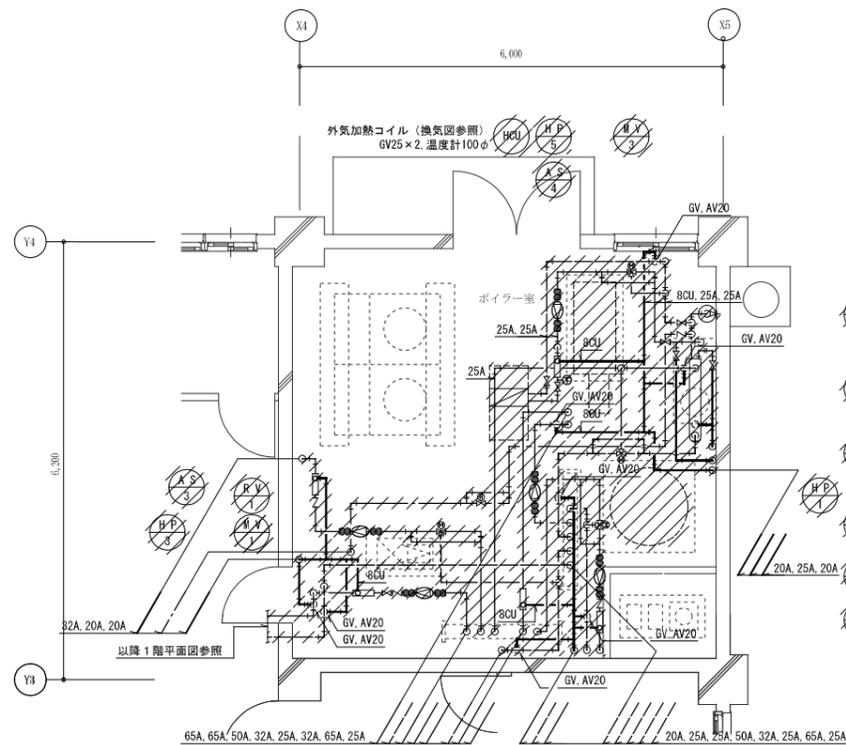
PH	: パネルヒーター (旭イノベックス(株))
鋼板製壁掛形表面輻射パネルタイプ	
FRH	: ファンコンベクター(株)前田鉄工所
CK1	: 天吊カセット形 (一方向吹出)
CIS	: 天吊埋込形
室温	: 洗濯乾燥室 30℃
	: 脱衣、シャワー室 25℃
	: 居室、ロッカー室 22℃
	: 洗面、書庫、風除室、便所 15℃
温水温度	: 70℃ → 60℃
洗濯乾燥室、脱衣シャワー室、便所のパネルヒーターは耐食塗装仕上	
PH用レタンコックはキャップ付	
ファンコンベクター用サブライダクトは保温を施す	

機器一覧表						
記号	名称	仕様	数量	備考	メーカー名	型番
マルチパッケージ型空調機 空冷式 冷房専用型 インバーター制御 停電自動復帰付 高調湿対応型						
ACP-1	室外機	冷房能力 14.0kW(12.500kcal/h) 5HP 防振パット 防露シートカバー付 COP 5.15kW/FAN 0.13kW×3φ×200V	1	高調湿系統	三菱重工(株)	FDCJ140HXX
CK4-1	室内機	天井埋込カセット形 4方向吹出 トレニアップ機構 リモコンスイッチ付 冷房能力 4.5kW(4.000kcal/h) FAN 25W×1φ×200V	3	高調湿	三菱重工(株)	FDTGJ45HKB
NR-1	室内機	壁掛け トレニアップ機構 リモコンスイッチ付 冷房能力 2.8kW(2.500kcal/h) FAN 30W×1φ×200V	1	高調湿設置	三菱重工(株)	FDKJ28HXA
ACP-2	室外機	冷房能力 22.4kW(20.000kcal/h) 8HP 防振パット 防露シートカバー付 COP 5.5kW/FAN 0.11kW×2 3φ×200V	2	高調湿系統	三菱重工(株)	FDCJ224HXX
CK4-2	室内機	天井埋込カセット形 4方向吹出 トレニアップ機構 リモコンスイッチ付 冷房能力 5.5kW(5.000kcal/h) FAN 25W×1φ×200V	6	高調湿	三菱重工(株)	FDTGJ55HKB
パッケージ型空調機 空冷式 冷房専用型 停電自動復帰付 速相コンデンサー付						
ACP-3	室外機	冷房能力 3.6kW(3.150kcal/h) 1.5HP 防振パット 防露シートカバー付 COP 4.6kW/FAN 0.04kW×3φ×200V	1	高調湿	三菱重工(株)	FDCJ43C
NR-2	室内機	壁掛け トレニアップ機構 リモコンスイッチ付 冷房能力 3.6kW(3.150kcal/h) FAN 35W×1φ×200V	1	高調湿	三菱重工(株)	FDKJ40
	室外機 鋼製架台	3,600×1,400×200H [-200×90 溶融亜鉛メッキ仕上]	1			

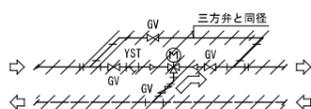
※ 冷房条件：室内DB26℃、WB18.7℃、屋外30.8℃、WB24.6℃、室内外機高低差2.0m



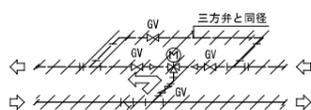
R階平面図 S=1:100



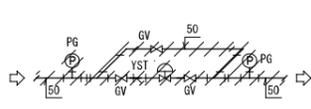
1階ボイラー室上部詳細図 S=1/50



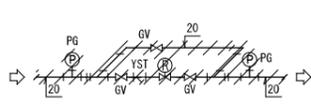
電動三方弁装置組立図



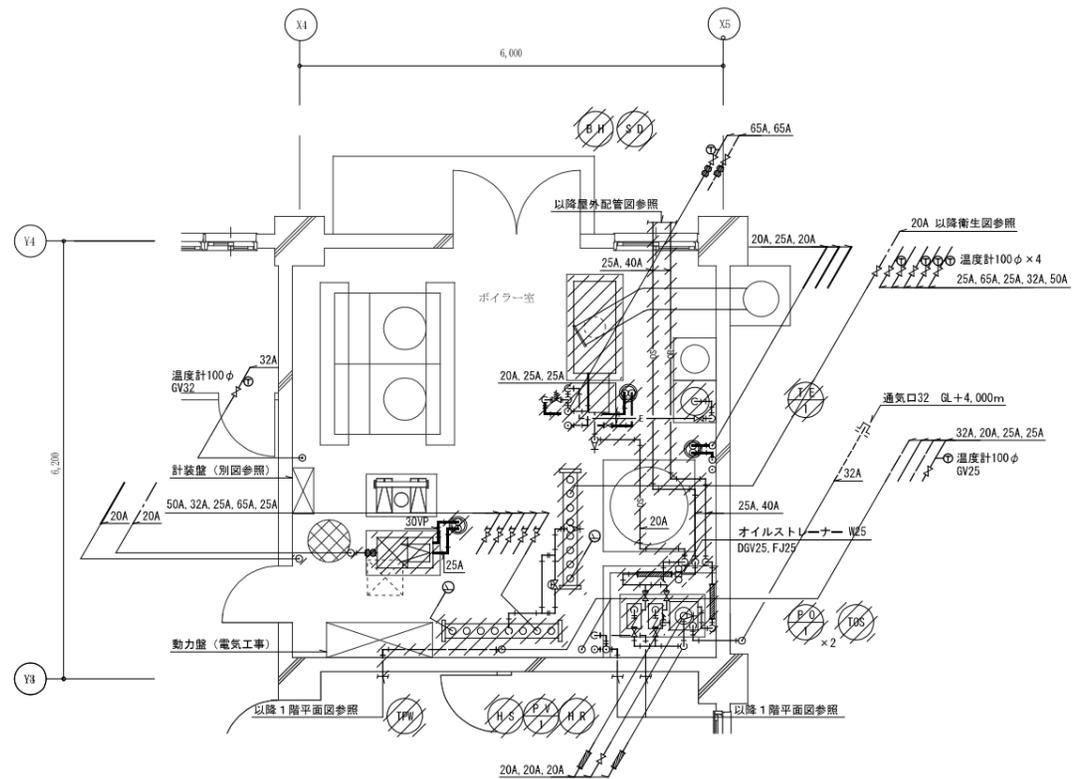
電動三方弁装置組立図



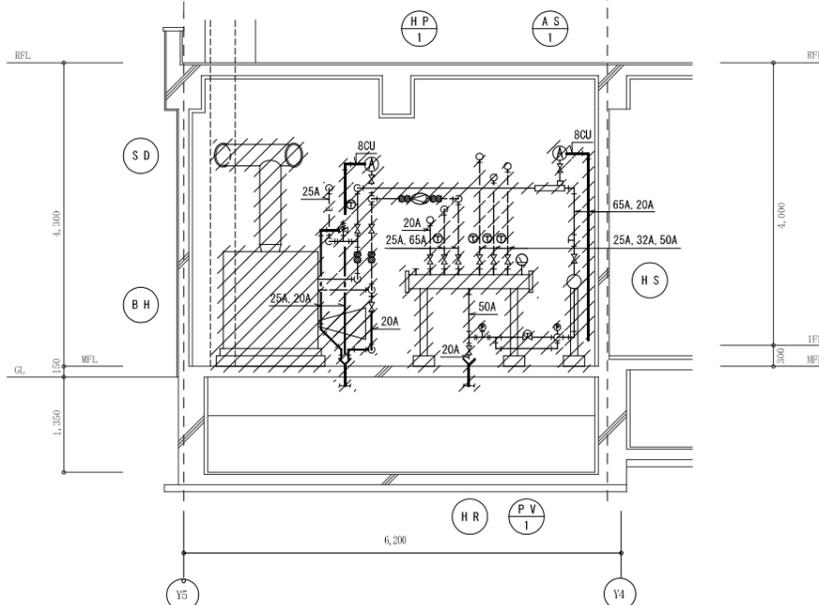
差圧調整弁装置組立図



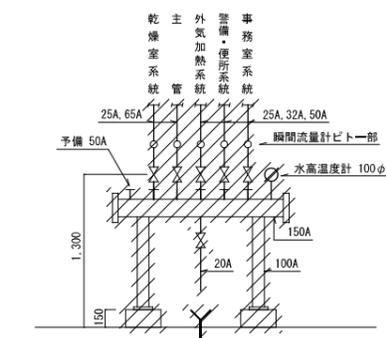
減圧弁装置組立図



1階ボイラー室平面詳細図 S=1/50



1階ボイラー室断面詳細図 S=1/50



温水ヘッダー (往) 詳細図 S=1/30

記号	名称	仕様	数量	備考	メーカー名	型番
BH	高圧式温水機 (2回巻型)	名体出力: 300.000kcal/H 圧油圧: 37.6L/H 3φ×200V×0.44KW 総揚力: 101.000kcal/H 6.0℃~7.5℃ 最高使用圧力: 0.48MPa 総揚力: 119.000kcal/H 4.5℃~6.0℃ 制御盤 (遠隔コンテナー用) 付属 設置後器具 コイル材質: SUS304 外形寸法: 高さ1800mm, 幅1200mm, 奥行600mm (1階設備)	1	GV20, DGV20	(株)前田鉄工所	RKV-300A-HTB-N
HE	熱交換機	シングルチップ型 交換熱量: 15.000kcal/H シェル: 交換(黒) チップ: 銅製 一次温水: 150~65℃, 25L/min 二次温水: 60℃~50℃, 25L/min 最高使用圧力: 0.49MPa チップ材質: (GW40K, 50L, TUSニウム板)	1	GV20×3, GV25×2 GV20, 安全弁28×5K	(株)前田鉄工所	THP-1010W-14
HP-1	温水循環ポンプ	一次系統 ライン型 40×180L/min×7m×3φ×200V×0.4KW	1	PT65×2	(株)日立製作所	JL40P2-50.4
HP-2	温水循環ポンプ	二次系統 ライン型 32×80L/min×1.8m×3φ×200V×0.75KW	1	GV40V50, PT50×2	(株)日立製作所	JL32P2-50.75
HP-3	温水循環ポンプ	設備、便所系統 ライン型 25×35L/min×1.2m×3φ×200V×0.25KW	1	GV32, PT32×2	(株)日立製作所	JL25P2-50.25
HP-4	温水循環ポンプ	設備系統 ライン型 25×20L/min×8m×3φ×200V×0.25KW	1	GV25, PT25×2	(株)日立製作所	JL25P2-50.25
HF-5	温水循環ポンプ	外気加熱系統 ライン型 25×25L/min×8m×3φ×200V×0.25KW	1	PT25×2	(株)日立製作所	JL25P2-50.25
HS	温水ヘッダー	往 銅製 150A×1.600L 長さ付 (GW40K, 50L, TUSニウム板) 水高温度計100φ	1	GV20×25×2, 32×50, BV65	(株)小川鉄工所	
HR	温水ヘッダー	戻 銅製 150A×1.600L 長さ付 (GW40K, 50L, TUSニウム板) 水高温度計100φ	1	GV20×25×2, 32×50, BV65	(株)小川鉄工所	
TE-1	窓閉式調整タンク	種別用 貯水量: 3.8L 吐出容量: 80L 最高使用圧力: 0.83MPa	1	GV20, 25	日立金庫(株)	AST-90
TE-2	窓閉式調整タンク	外気加熱用 貯水量: 3L 吐出容量: 7.8L 最高使用圧力: 0.49MPa	1	GV20	日立金庫(株)	EX-15
SD	差圧調整弁	銅製 接続口径: 32mm 測定口: 100φ 検温速度計取付口付 (RVフランジ付7.5L 巻色鉄板)	1		(株)小川鉄工所	
SD	差圧調整弁	不凍液補給用 樹脂製受水機50L	1	GV25, PT20	(株)小川鉄工所	N3-135H+TA-B-F
AS-1	気水分離器	銅製 接続口径: 65	1	GV20, AV20	コンチネンタル(株)	NE-65 標準
AS-2	気水分離器	銅製 接続口径: 50	1	GV20, AV20	コンチネンタル(株)	MM-50 標準
AS-3	気水分離器	銅製 接続口径: 32	1	GV15, AV15	コンチネンタル(株)	NS-32 標準
AS-4	気水分離器	銅製 接続口径: 25	2	(GV15, AV15) × 2	コンチネンタル(株)	NB-25 標準
	瞬間流量計	巻形式 2.0~200L/min	1		日本フローセル(株)	PFN5-W
	向上ヒート一部	2.5~3.2用 温水ヘッダー五層及び加熱コイル系統に取付	4		日本フローセル(株)	PFN5-N
	向上ヒート一部	5.0~6.5用 温水ヘッダー五層に取付	2		日本フローセル(株)	PFN5-N
TOS	オイルサービスタング	銅製 100L 100×450×600H 長さ: 1,500H 物圧式油面計付	1	DGV20×5, FJ20×2, FJ40	(株)小川鉄工所	
PO-1	オイルポンプ	減圧型 A兼用 20A×10L/min×1.8m×3φ×200V×0.2KW (自動交互運転)	2	DGV20×4, DCV20×2	(株)日立製作所	KP25-0.2

記号	名称	口径	数量	備考	メーカー名	型番
MV-1	電動三方弁装置	高圧、便所系統 32×20	1	GV32×2, GV25×2, YST32	山武ハネワエル(株)	V50P5A, Q455C
MV-2	電動三方弁装置	設備系統 25×20	1	GV25×4, YST32	山武ハネワエル(株)	V50P5A, Q455C
MV-3	電動三方弁装置	外気加熱系統 25×20	2	GV25×4, YST32	山武ハネワエル(株)	V50P5A, Q455C
PV-1	差圧調整弁装置	自力式 80×50	1	GV50×3, YST80, 圧力計100φ×5K×2	フジマン(株)	RMD31B型
RV-1	減圧弁装置	積形式 20×20	1	GV20×3, YST20, 圧力計100φ×5K×2	フジマン(株)	F100-2V型

- 凡例
- GV: JIS5K
 - CV: JIS10K
 - DGV: ダグタイル製16K
 - DCV: ダグタイル製16K
 - BV: バタフライバルブ (アルミダイキャスト、ウォームギヤ式)
 - AV: 自動エア抜弁
 - PT: PTコネクタ (補給水)、ケミフローベローズ (暖房)
 - FJ: フレキシブル継手、SUS500L

機器一覧表

記号	名称	仕様	数量	備考	メーカー名	型番
HEU-1	全熱交換型換気扇	天井吊り形 80m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×50W	2	コントロールスイッチ 化粧パネル共	三菱電機(株)	VL-140ZS
HEU-2	全熱交換型換気扇	天井埋込形 450m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×160W	1	コントロールスイッチ 給排気グリル200φ共 防振吊金具	三菱電機(株)	LGH-60RS2
HEU-3	全熱交換型換気扇	天井埋込形 600m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×210W	6	コントロールスイッチ 給排気グリル200φ共 防振吊金具	三菱電機(株)	LGH-60RS2
SEU-1	扇熱交換型換気扇	天井吊り形 500m ³ /h×4mmH ₂ O×1φ×100V×80W	1	コントロールスイッチ 防振吊金具	扇熱アルミニウム(株)	CV10-510H-40
CF-1	天井埋込換気扇	100m ³ /h×3mmH ₂ O×1φ×100V×20W	1	樹脂カバー	三菱電機(株)	VB-132A
CF-2	天井埋込換気扇	150m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×25W	2	樹脂カバー	三菱電機(株)	VD-152PA
CF-3	天井埋込換気扇	240m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×40W	1	樹脂カバー	三菱電機(株)	VD-202BA
CF-4	天井埋込換気扇	318m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×50W	1	樹脂カバー	三菱電機(株)	VD-202BA
CF-5	天井埋込換気扇	438m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×75W	1	樹脂カバー	三菱電機(株)	VD-232BA
PF-1	有圧換気扇	給気用 350φ×650m ³ /h×10mmH ₂ O×3φ×200V×150W	1	電動シャッター	三菱電機(株)	EF-35DTB
PF-2	有圧換気扇	排気用 250φ×410m ³ /h×3mmH ₂ O×3φ×200V×25W	1	風圧シャッター 保護ネット共	三菱電機(株)	EF-25ATB
DF-1	中間ダクトファン	給気用 φ150×φ1300m ³ /h×20mmH ₂ O×3φ×200V×300W	1	防振吊金具	三菱電機(株)	BFS-15D1
DF-2	中間ダクトファン	排気用 φ125×φ900m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×15W	1	防振吊金具 樹脂製	三菱電機(株)	BFS-40SD
DF-3	中間ダクトファン	排気用 φ114×φ900m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×20W	2	防振吊金具	三菱電機(株)	BFS-40S
RF-1	レンジフードファン	深形 500種 240m ³ /h×5mmH ₂ O×1φ×100V×75W	1	自然排気タイプ	三菱電機(株)	V-50FDQ
HDU-1	加熱コイルユニット	外気導入用 天井吊り形 制熱能力 11500kcal/h 給気流量 1300m ³ /h 風速 2.5m/s フィルタ 500×500×25 給気材P500B アルミ枠付 予備材共	1	温水温 20L/min 温水温度 50℃~55℃ 定電圧 入力 10.7V 出力 1.5V	新機工業(株)	WG157×300-HF
AF	乾式エアフィルタ	500×500×25 5種P500B アルミ枠付 予備材共	2		日本ハイパー(株)	VA-25型
F-1	防鼠フード	300×300 SUS304-1.0t 防虫網(着脱式) FD付	1	ヘアライン仕上	都工業(株)	
F-2	防鼠フード	400×400 SUS304-1.0t 防虫網(着脱式) FD付	2	ヘアライン仕上	都工業(株)	
F-3	防鼠フード	400×400 SUS304-1.0t 防虫網(着脱式)	1	ヘアライン仕上	都工業(株)	

チャンバー一覧表

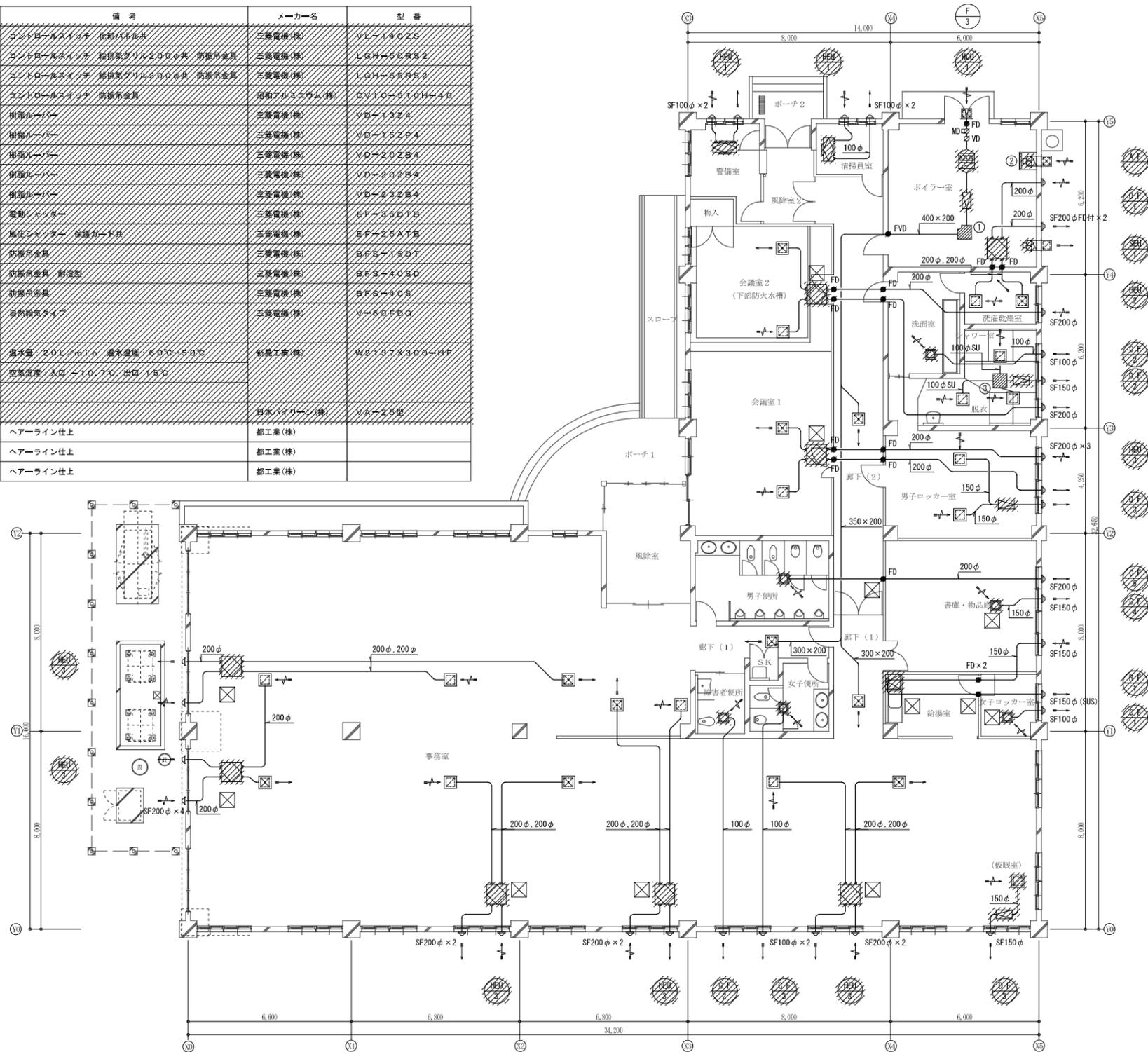
NO	名称	寸法	数量	消音内貼
1	給気チャンバー	600×600×500H	1	GW25t, GC
2	給気チャンバー	600×600×600H	1	GW25t, GC
3	排気チャンバー	400×400×300H	1	SUS304-0.5t

給湯室ガス排気計算(LPG)

ガスコンロ: 0.47kg/h
 $V = 40KQ = 40 \times 12.7 \times 0.47 = 239$
 $\therefore V = 240m^3/h$

凡例

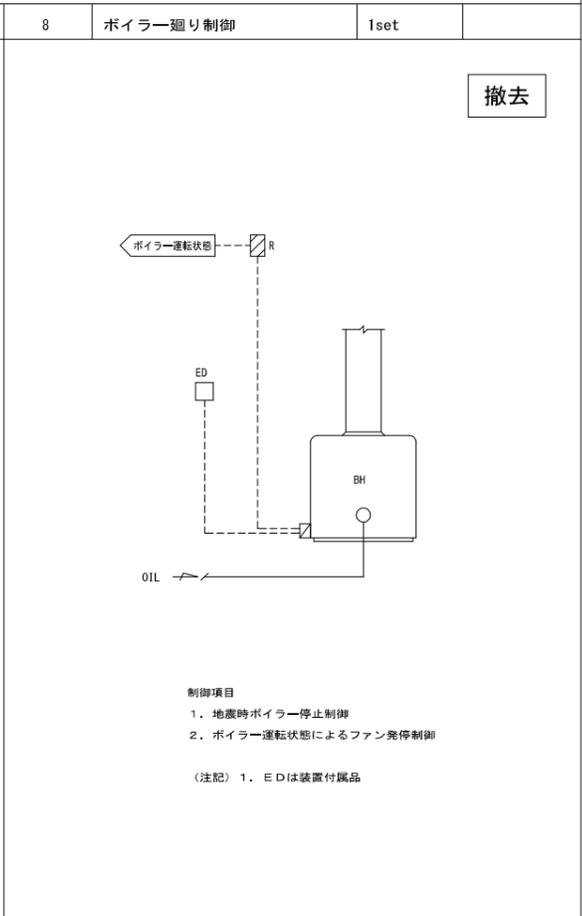
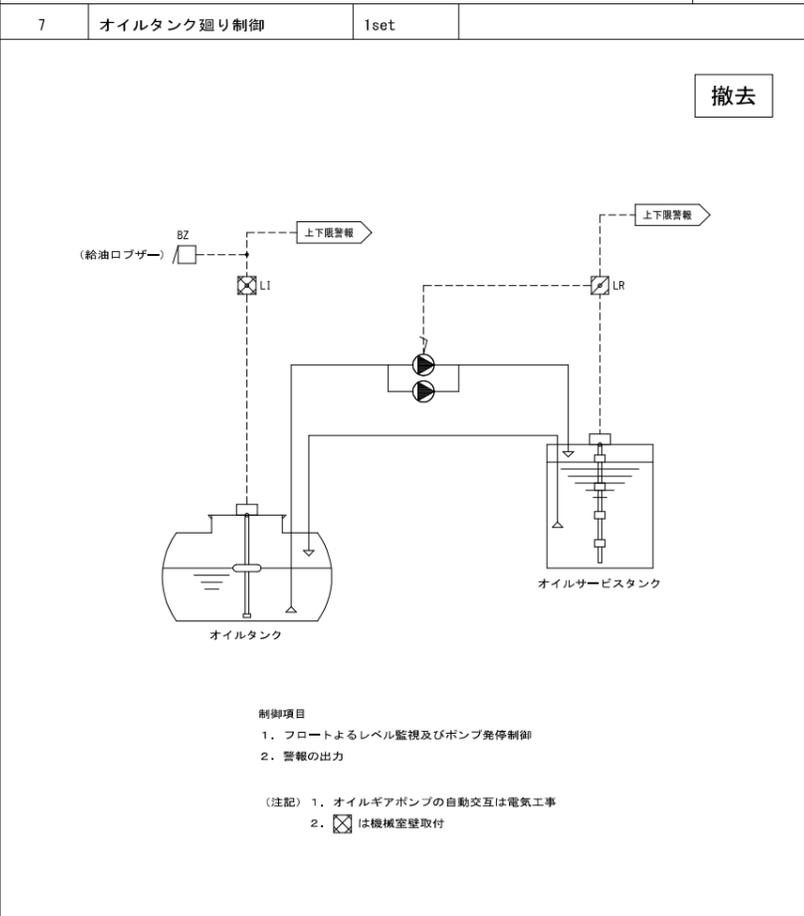
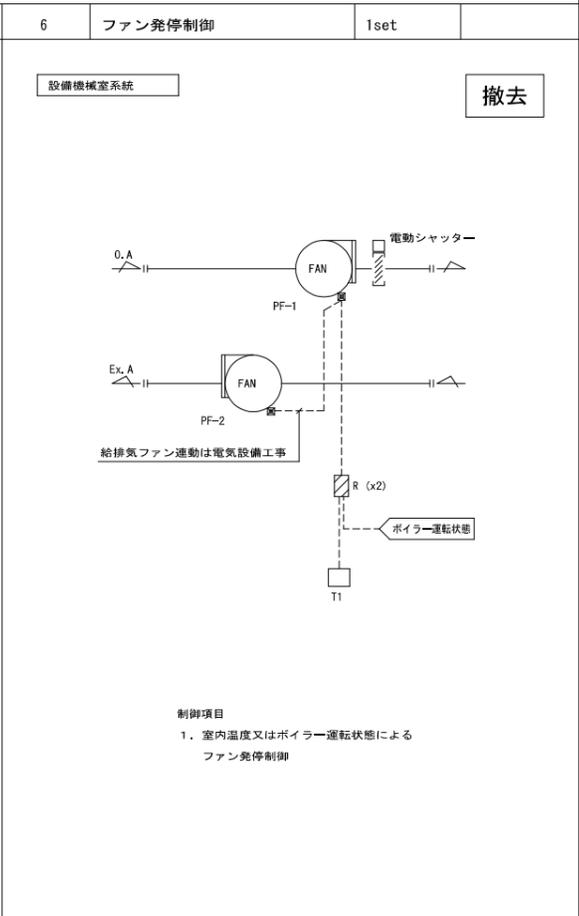
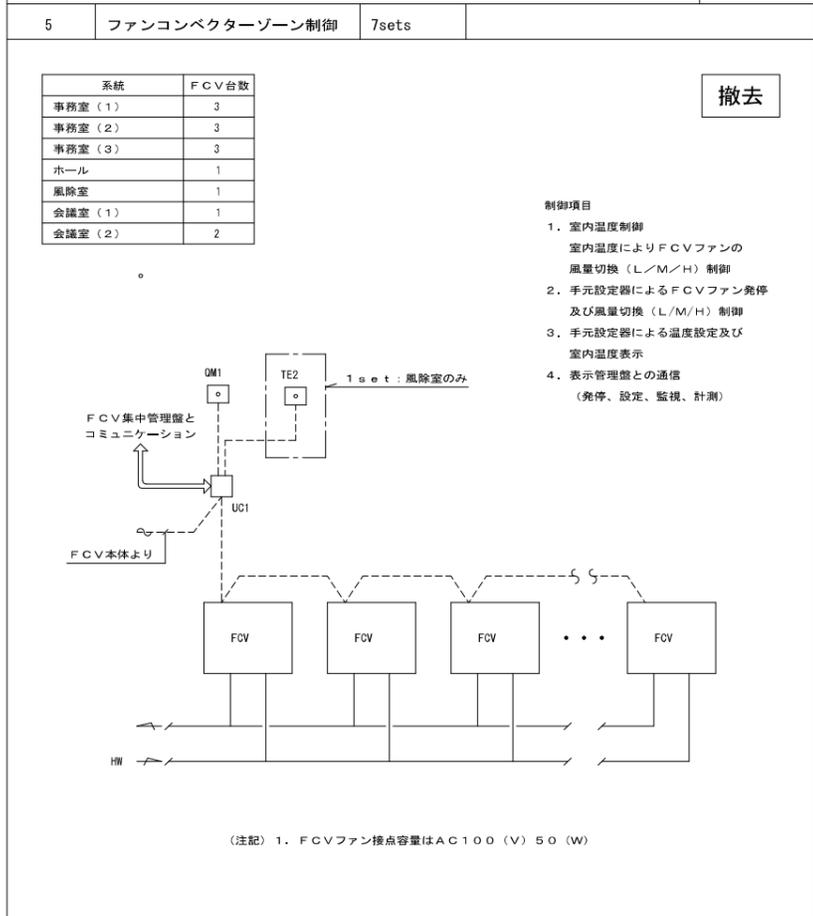
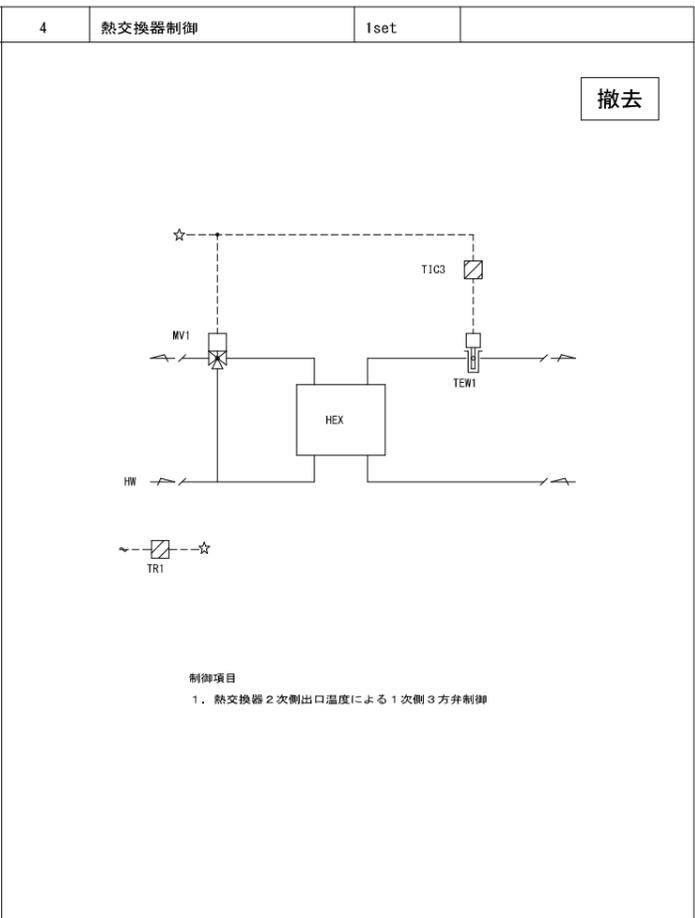
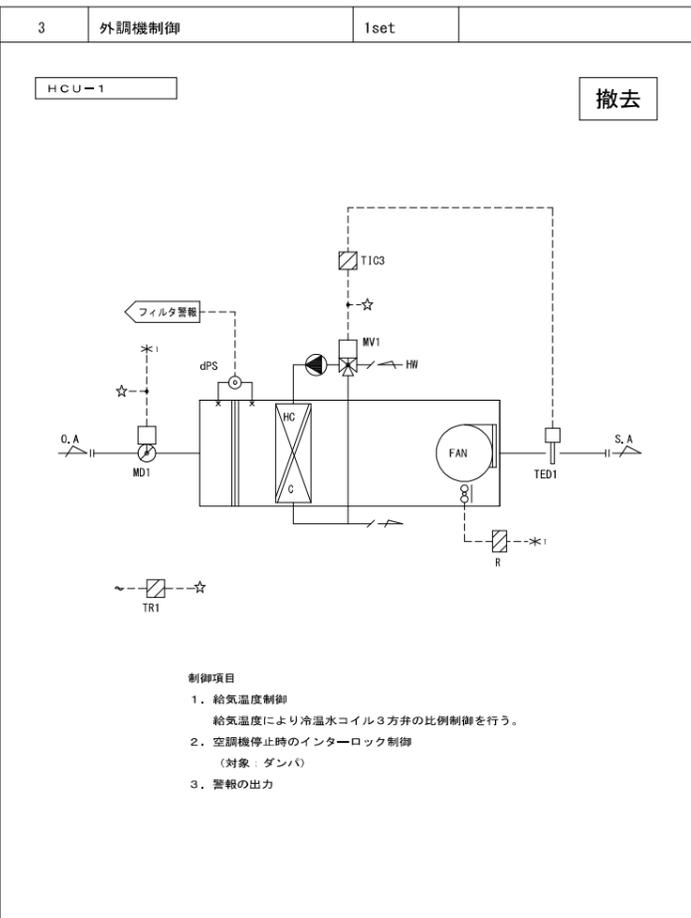
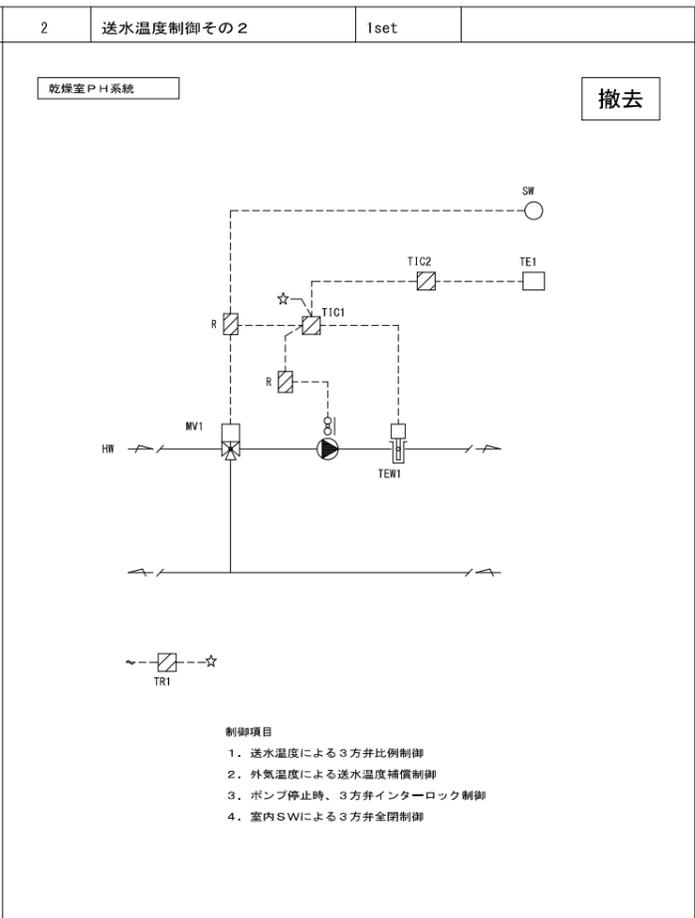
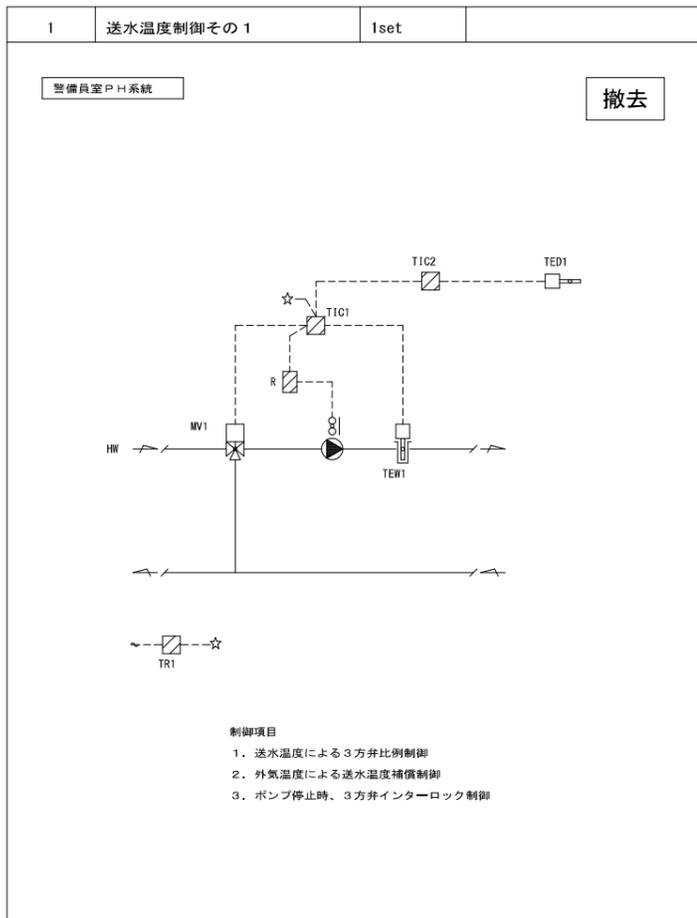
- //// : 撤去範囲を示す。
- SF : フード付ペントキャップ、アルミ製防虫網付 (RF用排気はステンレス製)
- ☒ : 天井点検口 (既設)

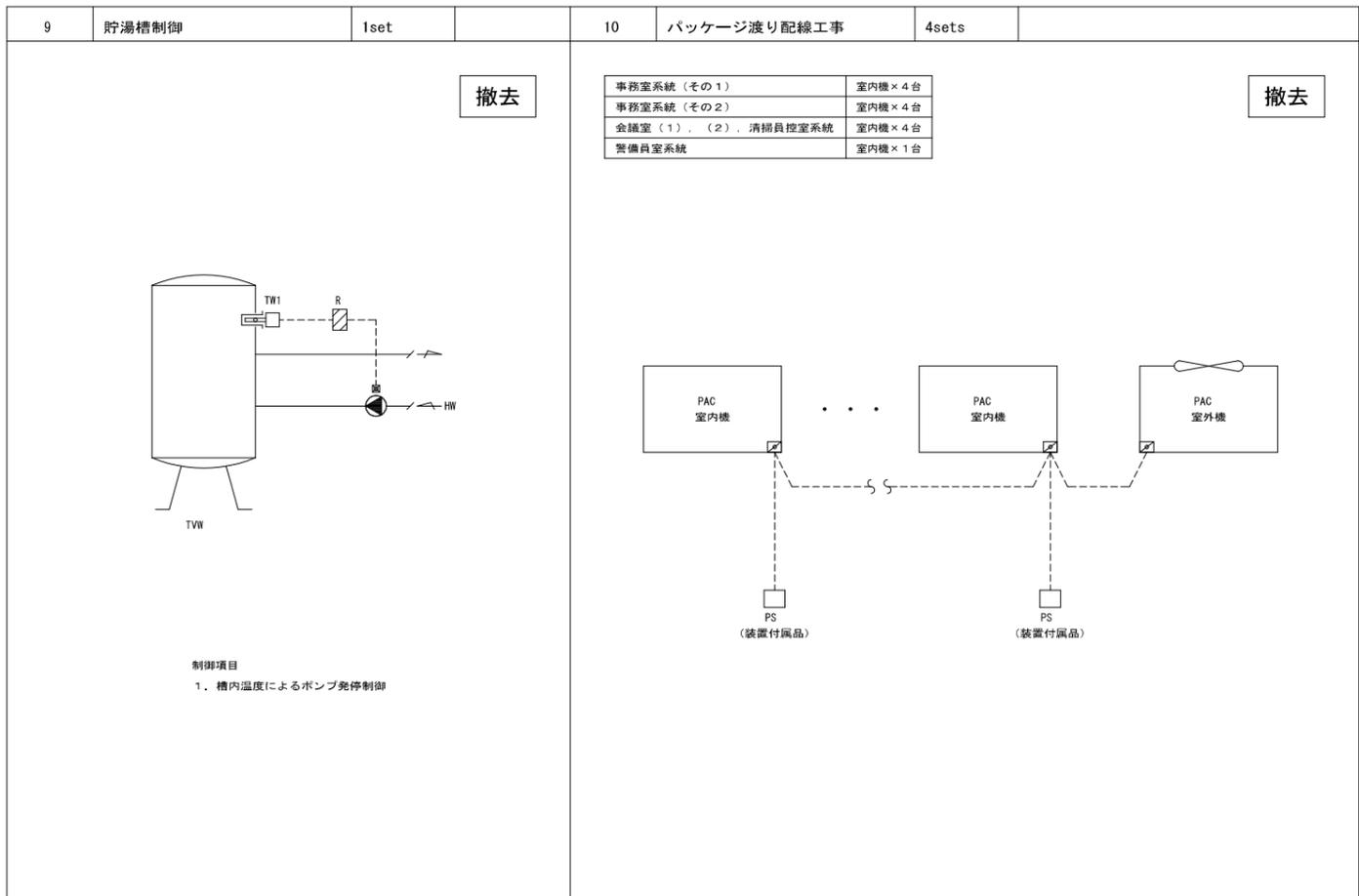


- 洗濯乾燥室 吹出口
 VHS = 300 × 300
 Q = 600 m³/h
 チャンバ - 500 × 500 × 300H
 (GW 25 t 内貼, GC)
- 洗濯乾燥室 吸込口
 GVS = 300 × 300
 Q = 600 m³/h
 チャンバ - 500 × 500 × 300H
 (GW 25 t 内貼, GC)
- 脱衣シャワー室 吸込口
 GVS = 200 × 200
 Q = 85 m³/h
 チャンバ - 400 × 400 × 300H
 (SUS304-0.5 t)
- 男子ロッカー室 吸込口
 GVS = 200 × 200
 Q = 195 m³/h
 チャンバ - 400 × 400 × 300H
 (GW 25 t 内貼, GC)
- 廊下 吹出口
 VHS = 300 × 300
 Q = 435 m³/h
 チャンバ - 500 × 500 × 300H
 (GW 25 t 内貼, GC)

1階平面図 S=1:100

工事内容
 ・換気機器の撤去
 ・事務室・会議室の化粧パネル取外し
 ・機器撤去に関する保温の撤去
 ※ダクト及びボックス・チャンパー類は撤去しない





自動制御機器表

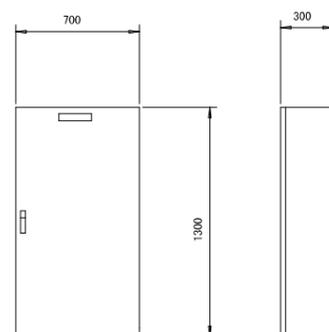
記号	名称	型番	個数	備考	メーカー名
T1	室内型サーモスタット	T631A	1		山武ハネウエル (株)
TW1	挿入型サーモスタット	T675A	1	W/保護管	山武ハネウエル (株)
TE1	室内型温度検出器	T7090D	1		山武ハネウエル (株)
TE2	室内型温度検出器	TY7095A	1		山武ハネウエル (株)
TEd1	挿入型温度検出器	TY7800C	2		山武ハネウエル (株)
TEW1	挿入型温度検出器	TY7830B0015	3	W/保護管	山武ハネウエル (株)
TR1	トランス	AT72-J1	5		山武ハネウエル (株)
SW	切換スイッチ	AT72-J1	1		山武ハネウエル (株)
R	補助リレー		8		山武ハネウエル (株)
dPS	差圧スイッチ	PYY-CL-13/DY3000A	1		山武ハネウエル (株)
LI	油面指示計	GYE-EL43B2	1	W/BZ	(株) 工技研究所
LR	油面警報計	GYE-SL-42	1		(株) 工技研究所
OM1	デジタル温度調節器	OY7205A	7		山武ハネウエル (株)
UC1	コントロールユニット	WY7205A	7		山武ハネウエル (株)
TIC1	温度指示調節計	R302GA040700	2		山武ハネウエル (株)
TIC2	温度指示調節計	R205GA00001	2		山武ハネウエル (株)
TIC3	温度指示調節計	R302GA000100	2		山武ハネウエル (株)
MD1	直結ダンパ操作器	MY6040A	1		山武ハネウエル (株)
MV1	モジュロルモータ	M904F	4		山武ハネウエル (株)
	バルブリンケージ	O455C	4		山武ハネウエル (株)
	3方弁	V5065A	4		

バルブロ径表

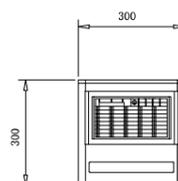
系統名	弁記号	流体	流量 l/m	ΔP kPa	CV	口径 (A)	備考
送水温度制御その1	MV1	HW	35.0	0.3	4.5	20	
送水温度制御その2	MV1	HW	20.0	0.3	2.6	20	
外調機制御	MV1	HW	25.0	0.3	3.2	20	
熱交換器制御	MV1	HW	34.0	0.3	4.3	20	

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法			取納系統名	備考
		W	H	D		
CP-1-1	壁掛	700	1300	300	<ul style="list-style-type: none"> 送水温度制御その1, 2 外調機制御 熱交換器制御 ファン発停制御 オイルタンク廻り制御 ボイラー廻り制御 貯湯槽制御 	設備機械室設置 メーカー名 (株) 興亜電気製作所
CP-1-2	壁掛	300	300	100	<ul style="list-style-type: none"> FCV集中管理盤 (スマートポイント) 	警備員室設置 メーカー名 山武ハネウエル (株)



制御盤 (CP-1-1) S : 1 / 20



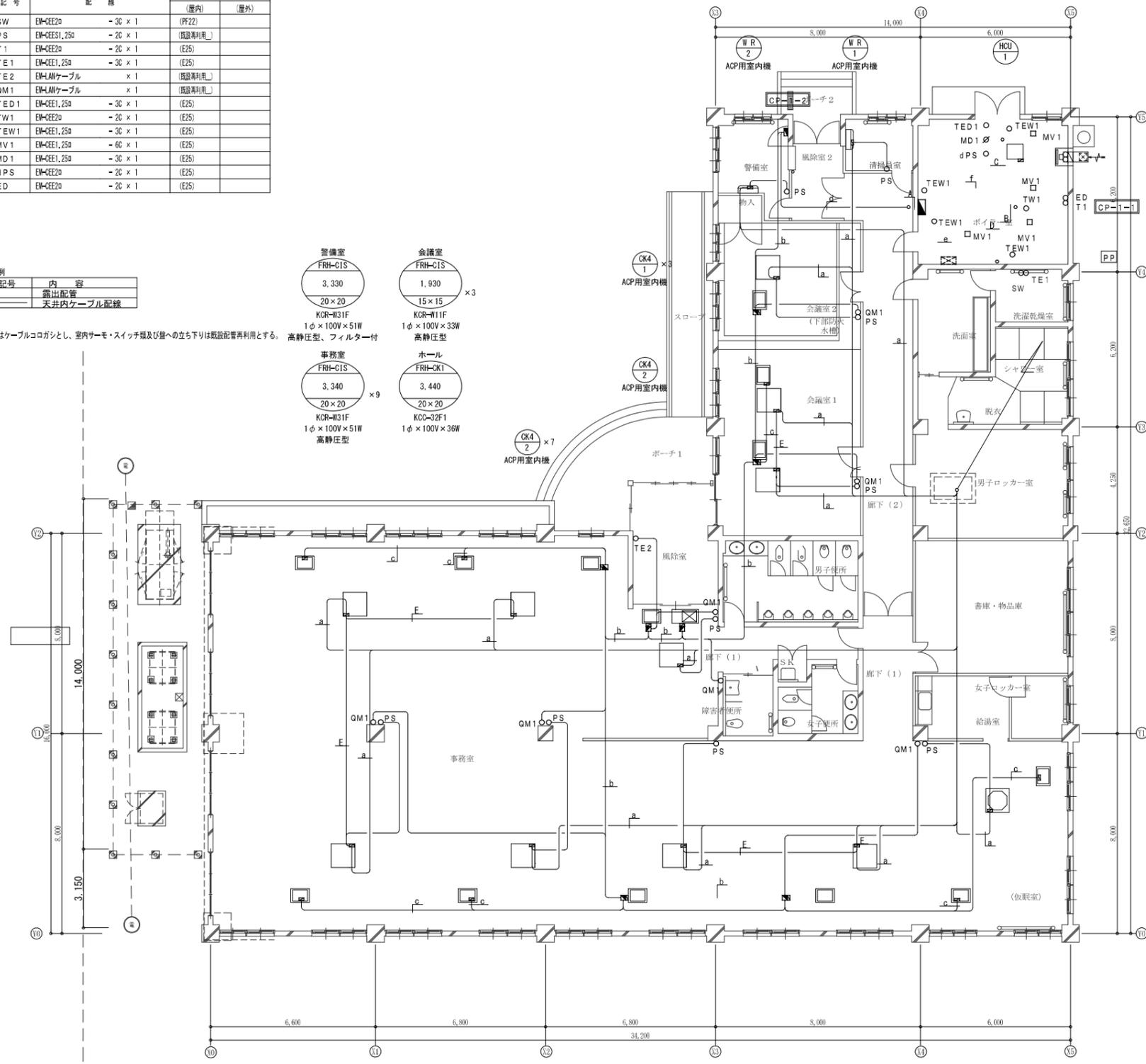
制御盤 (CP-1-2) S : 1 / 10

シンボル	記号	配線	配管	
			(屋内)	(屋外)
○	SW	EM-CEE2a	-3C x 1	(PF22)
○	PS	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(風除利用)
○	T1	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)
○	TE1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
○	TE2	EM-LANケーブル	x 1	(風除利用)
○	QM1	EM-LANケーブル	x 1	(風除利用)
○	TED1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
○	TW1	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)
○	TEW1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
□	MV1	EM-CEE1.25a	-6C x 1	(E25)
○	MD1	EM-CEE1.25a	-3C x 1	(E25)
○	dPS	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)
○	ED	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25)

記号凡例	
平面図記号	内容
○	露出配管
○	天井内ケーブル配線

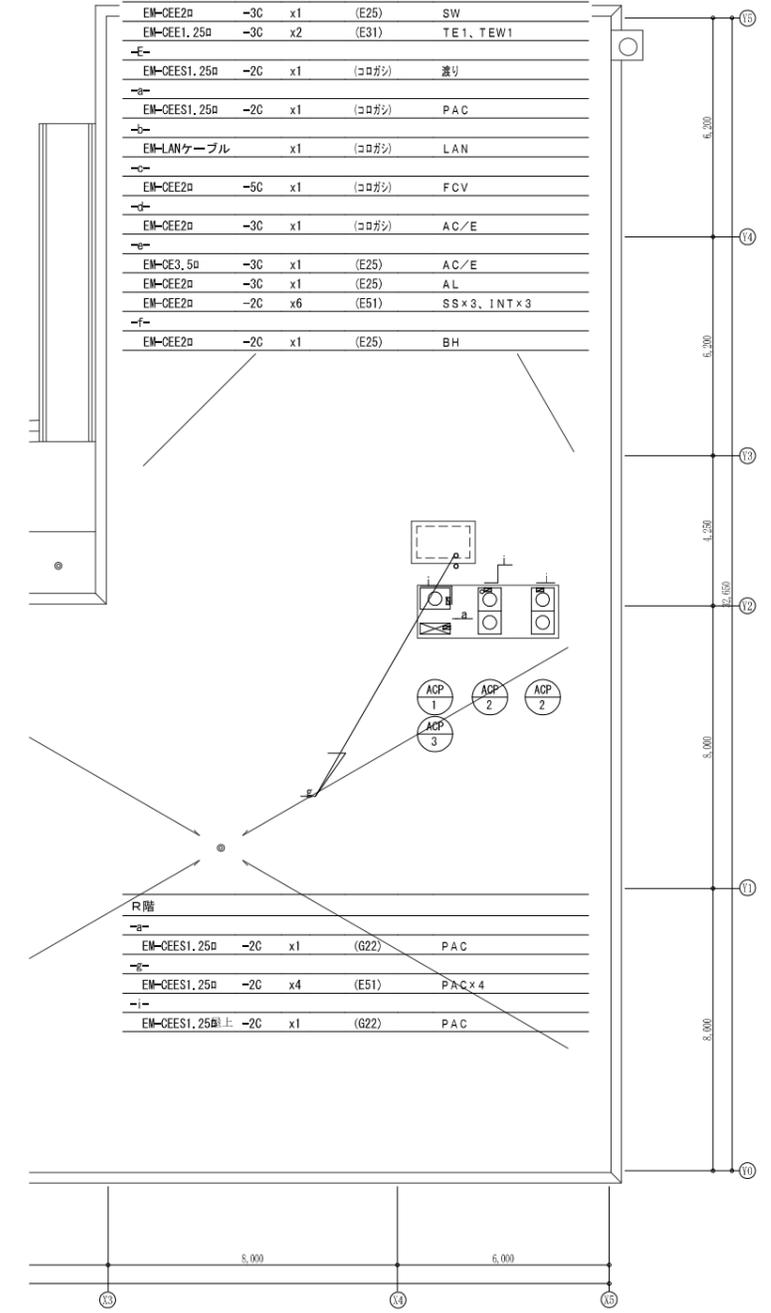
(特記)
 ・天井内はケーブルコログシとし、室内サーモ・スイッチ類及び壁への立ち下りは既設配管再利用とする。高静圧型、フィルター付

警備室	会議室
FRH-C1S 3.330 20×20	FRH-C1S 1.930 15×15
KCR-W31F 1φ×100V×51W 高静圧型、フィルター付	KCR-W11F 1φ×100V×33W 高静圧型
事務室	ホール
FRH-C1S 3.340 20×20	FRH-CK1 3.440 20×20
KCR-W31F 1φ×100V×51W 高静圧型	KCC-32F1 1φ×100V×36W



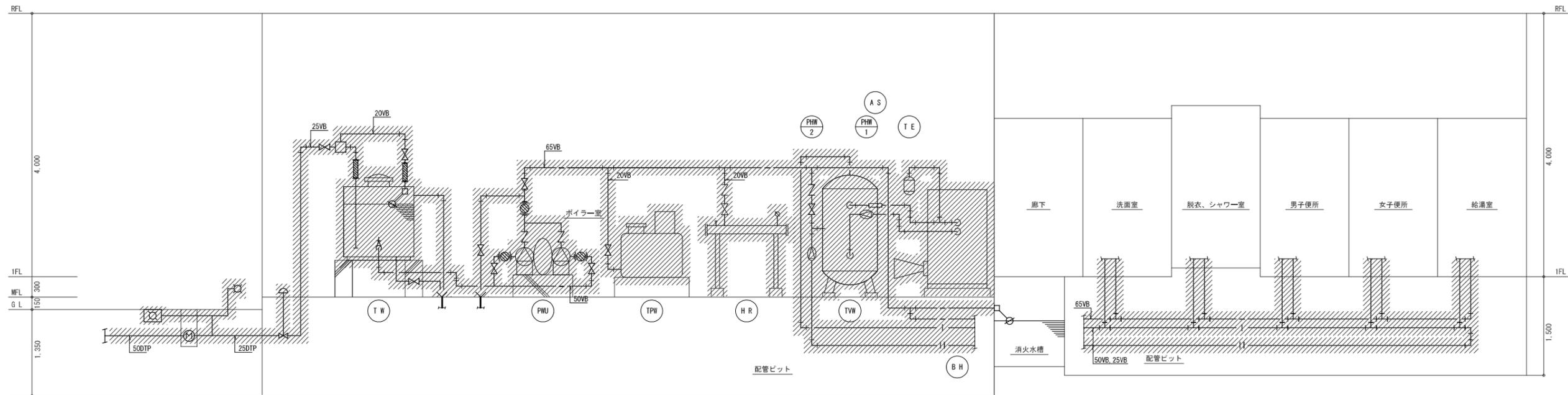
1階平面図 S=1:100

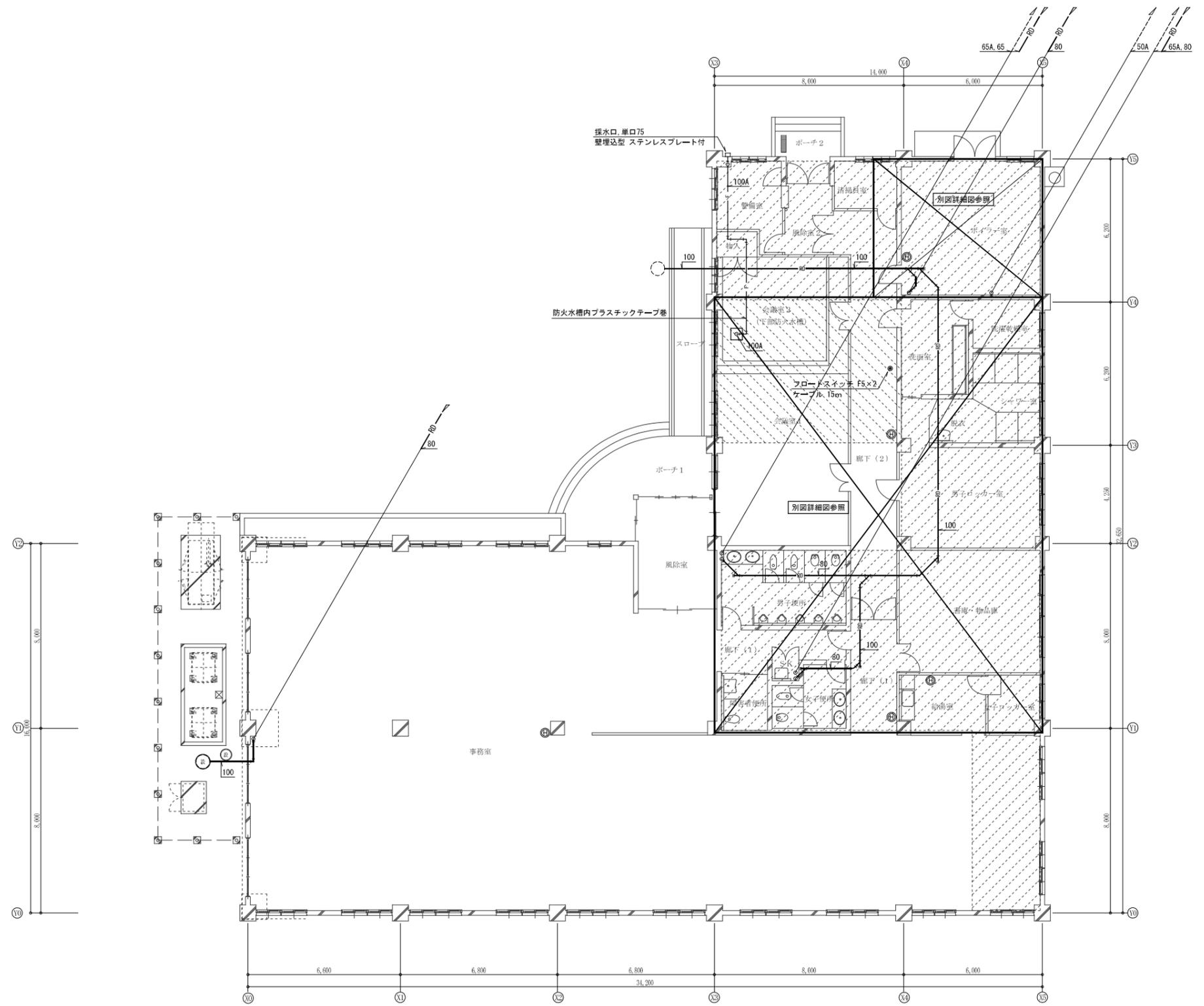
1階			
-a-	EM-CEE2a	-3C x 1	(E25) AC/E
-b-	EM-CEE1.25a	-6C x 3	(E51) MV1 x 3
-c-	EM-CEE1.25a	-3C x 3	(E39) MD1, TEW1, TED1
-d-	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25) dPS
-e-	EM-CEE2a	-3C x 1	(E25) SW
-f-	EM-CEE1.25a	-3C x 2	(E31) TE1, TEW1
-g-	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(コログシ) 遮り
-h-	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(コログシ) PAC
-i-	EM-LANケーブル	x 1	(コログシ) LAN
-j-	EM-CEE2a	-5C x 1	(コログシ) FCV
-k-	EM-CEE2a	-3C x 1	(コログシ) AC/E
-l-	EM-CE3.5a	-3C x 1	(E25) AC/E
-m-	EM-CEE2a	-3C x 1	(E25) AL
-n-	EM-CEE2a	-2C x 6	(E51) SS x 3, INT x 3
-o-	EM-CEE2a	-2C x 1	(E25) BH



R階平面図 S=1:100

R階			
-a-	EM-CEES1.25a	-2C x 1	(G22) PAC
-b-	EM-CEES1.25a	-2C x 4	(E51) PAC x 4
-c-	EM-CEES1.25a上	-2C x 1	(G22) PAC





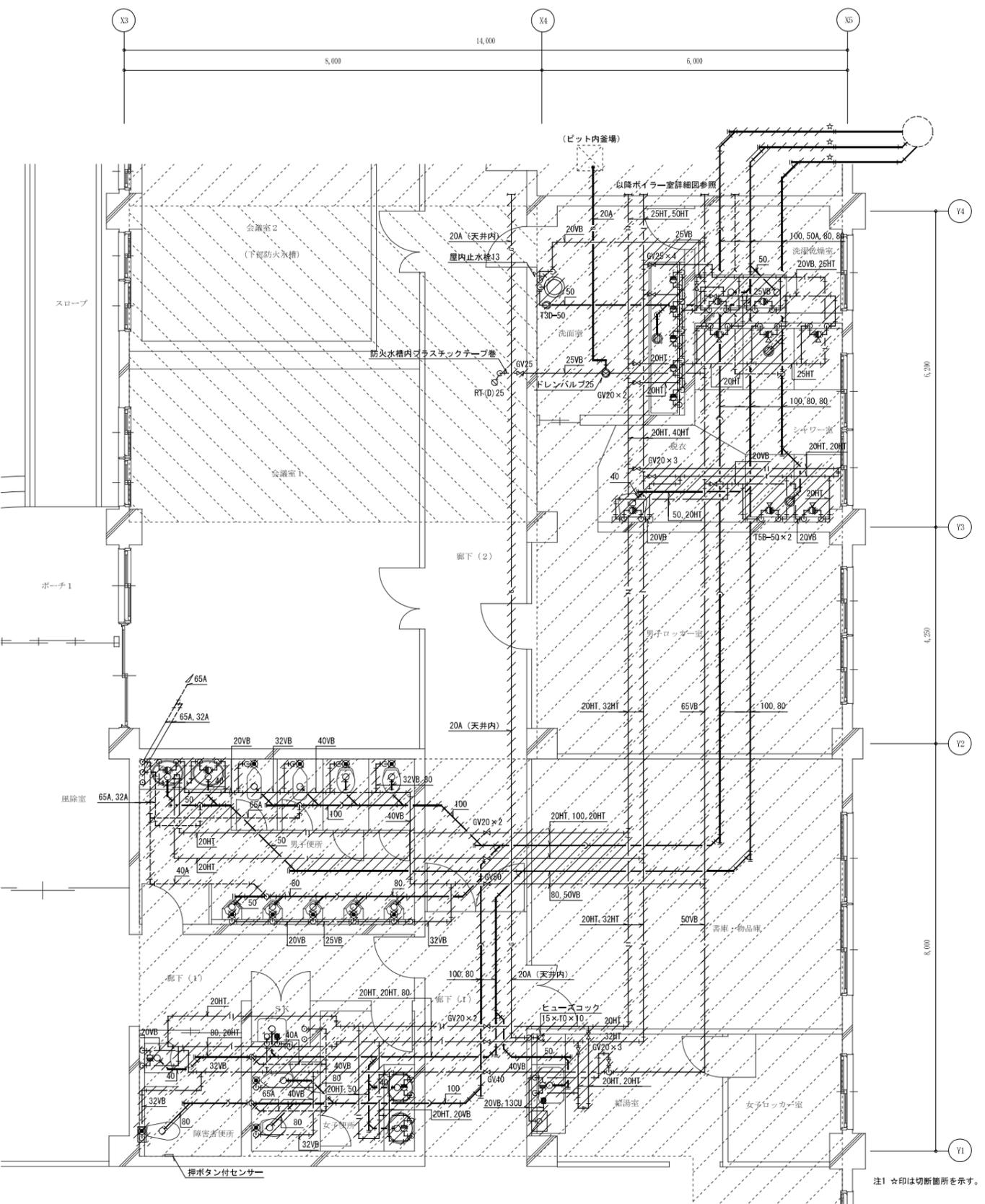
1階平面図 S=1:100

- 凡例
- (10) : ABC粉末消火器10型を示す (別途工事)
 - (斜線) : 床下配管ピット範囲

衛生器具一覧表

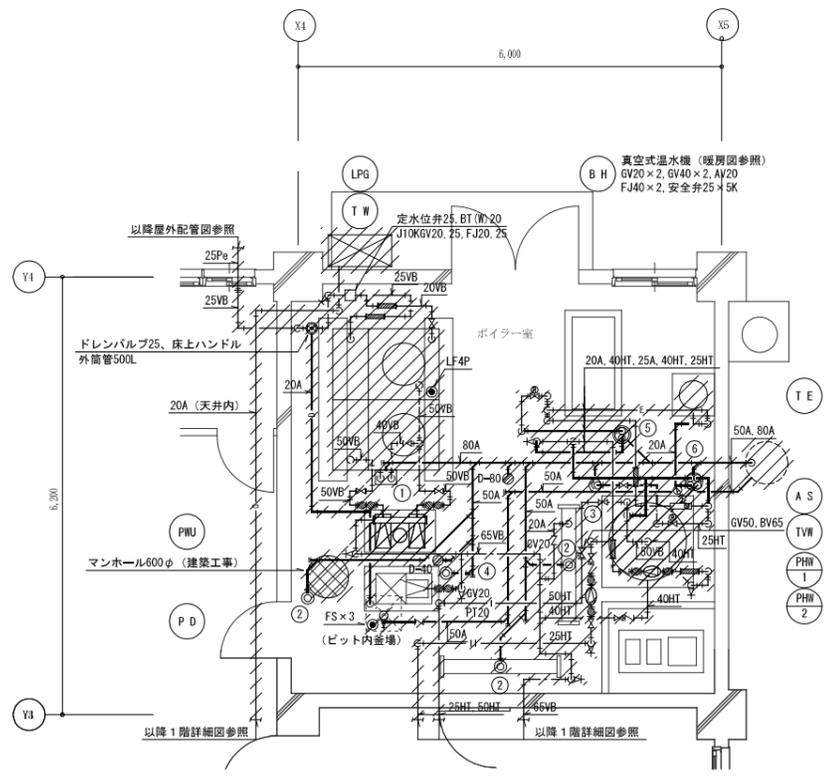
器具名	仕様	合計	男子便所	女子便所	身障者便所	給湯室	洗面所	洗濯乾燥室	シャワー室	脱衣室	メーカー名 (既設品)	型番	
洗濯乾燥機	Q21 TV7500HR (脱水FV) TS116MD (紙巻器) A21 (注意板)	3	2	1							東陶機器(株)		
洗濯乾燥機	Q150VF TV7500ZR (脱水FV) TS116MD (紙巻器) A21 (注意板)	3	2	1							東陶機器(株)		
身障者用洗面	C48AS TEL59L (自動FV808付) TES21BFR (弾射付センサー) TS116MD (紙巻器) A21 (注意板)	1			1						東陶機器(株)		
小便機	U30 TEA99X (感知FV)	5	5								東陶機器(株)		
洗面機	LE25CF TLP30AZKX (シングルレバー混合栓) ストラップ 止水栓	4	2	2						撤去	東陶機器(株)		
洗面機	LE37CF TLP30AZKX (シングルレバー混合栓) ドラップ 止水栓	1									東陶機器(株)		
身障者用洗面機	L183CF TLP30BDGX (シングルレバー混合栓) ドラップ 止水栓	1			1						東陶機器(株)		
水栓入れ	TS126BR	4	2	2						撤去	東陶機器(株)		
水栓入れ	TS126R	2									東陶機器(株)		
化粧鏡	TS119ASR15	1			1						東陶機器(株)		
化粧鏡	TS119FR3	1								1	東陶機器(株)		
陶製流し台	1,350×550×80H	1				1					撤去	クリナップ(株)	
流し台	3,000×600×80H (水栓レレス)	1					1				取外し	(株)樋口	
既設流し台	500×550×80H (バックガード付)	1					1				撤去	クリナップ(株)	
混合水栓	TKJ332KX (直型) シングルレバー混合栓	1				1					撤去	東陶機器(株)	
混合水栓	TKJ302KX (シングルレバー混合栓)	5				1				撤去	東陶機器(株)		
混合水栓	TSA8U2R (2ハンドル混合栓)	2					2			撤去	東陶機器(株)		
シャワーヘッド	TMJ40C2KK (サーモスタット付)	5						5			撤去	東陶機器(株)	
掃除用流し	SK322 TESA E20 (送り受け排水栓) C-1 H-1 ストラップ (ゴム共栓)	1		1							撤去	東陶機器(株)	
高し排水金物	SNK-A4B (鋼栓)	1									撤去	(株)長谷川鉄工所	
電気温水器	縦形型 20L 1.8×2.05V×1.5KW 給湯専用 湯温タイマー 湯道フロー管付	1					1				撤去	(株)日本イトミック	EW-20N4B
3がけ器	床置き 3がけ容量 20L 3がけ器 15L共	1									取外し	サラヤ(株)	CO-SE-1型

※ GV: J1S5K

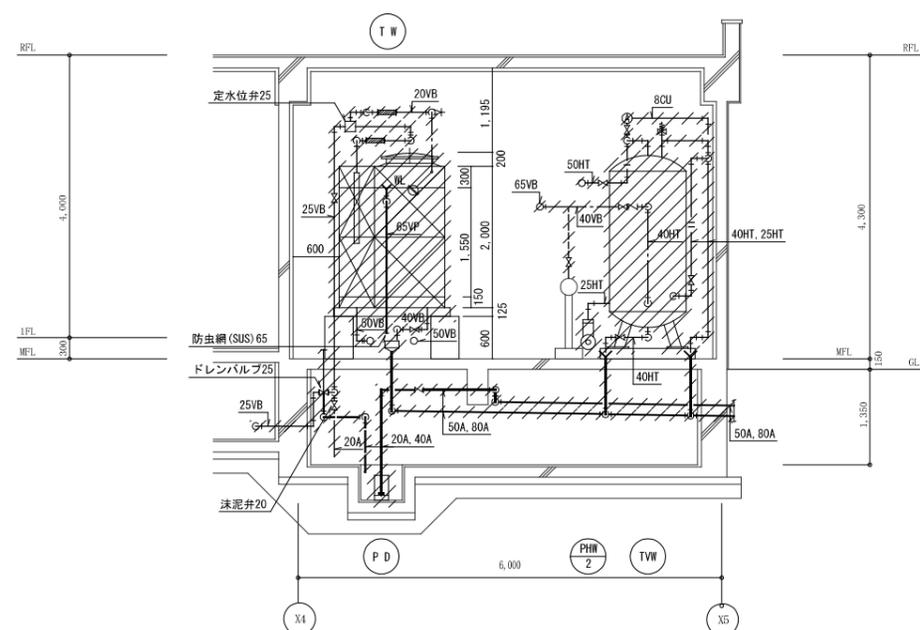


工事内容

- ・ピット内の給水管、給湯管、排水管、通気管の撤去
- ・男女便所・身障者便所の衛生陶器の撤去



1階ボイラー室平面詳細図 S=1/50

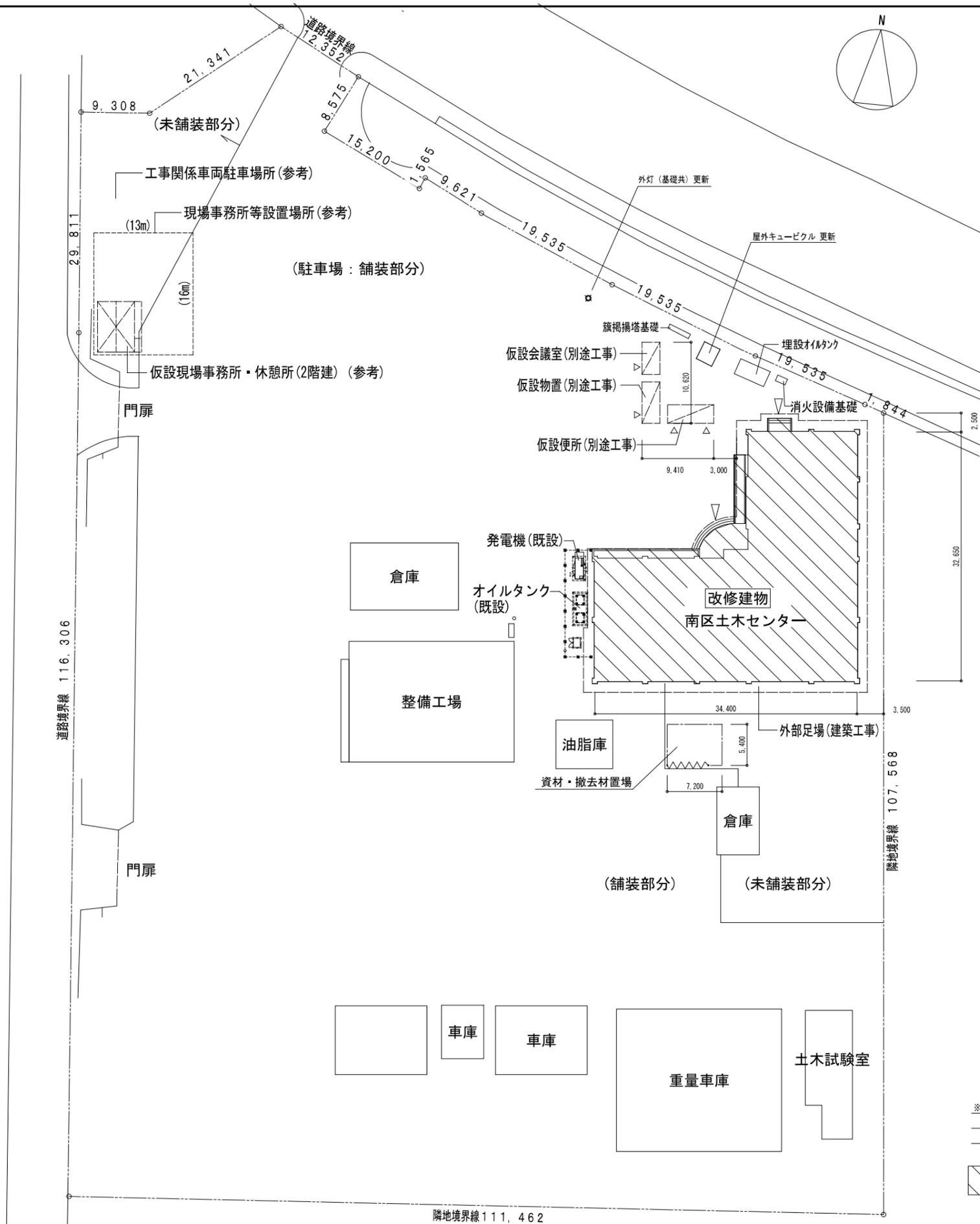
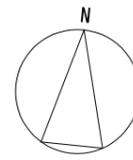


1階ボイラー室断面詳細図 S=1/50

機器一覧表							
記号	名称	仕様	数量	備考	メーカー名	型番	
TW	温水機	FRP製 軸シリンダバルブ型 1階式 1段 2,000×1,500×2,000H 鋼製集合(基脚×ツキ)共 有効容量: 4.65m³ マンホール600φ(兼付) 通気口 内挿子 外挿子共 外部挿子	1	GV40-50×2	日立化成工業(株)	HRT-BS(1,5×2×2.0)	
PWU	加圧給水ポンプユニット	インバーター制御式 指定家線に一定 交互並列運転型 スタンレスポンプ 4.0A×5.0A×2.50L/min×30m×3φ×200V×1.5KW×2台 防振基台共 制御盤/電圧検出装置 一括設置及び基脚別外部端子付)	1	BV65 PT60×2、6.5	(株)日立製作所	1J50-1.5×2	
TVW	貯湯槽	ステンレス製 鋼板製 立形 2,000L 最高使用圧力: 0.48MPa 1,100φ×2,000H 外部電気防振装置共 鋼W40K 50t アルミエウル板 水温検出計100φ	1	GV20-40×2、50、CV40 AV20、安全弁25×5K	(株)小川誠工務		
PHW-1	給湯循環ポンプ	一次系統 ライン型 SUS製 3.2A×60L/min×5m×3φ×200V×0.25KW	1	GV40、CV40、FJ40	(株)日立製作所	JLP32-50.25	
PHW-2	給湯循環ポンプ	二次系統 ライン型 SUS製 3.2A×20L/min×7m×5φ×200V×0.25KW	1	GV25×2、CV2.5	(株)日立製作所	JLP32-50.25	
TE	密閉式貯湯タンク	鋼板製 貯湯容量: 60L タンク容量: 174L 圧力計付 最高使用圧力: 0.58MPa	1	GV20、2.5	(株)日立製作所	AST-80	
AS	気水分離器	鋼板製 ナイロンコーティング 接続口径40A	1	GV、AV1.5	コンチネンタルシムラ(株)	NC-10 コーティング	
PD	汚水水中ポンプ	非自動型 4.0A×100L/min×5m×3φ×200V×0.25KW ケーブル5m付	1	CV40	(株)日立製作所	UN40-50.25MX	
FS	フロートスイッチ	ポンプ起動 停止 高水位検出 ケーブル5m付	3		新潟和工(株)	LC12	
LPG	プロパンガス	20K×2本取 9.00×4.50×1,500H SUS804-1.2L へアータン仕上	1		(株)徳口		

排水ロータリー一覧表		
NO	寸法	数量
1	200×300×80A	1
2	100φ×40A	3
3	100φ×50A	1
4	150φ×40A	1
5	200φ×40A	1
6	200φ×50A	1

- 凡例
- GV: JIS5K (図示外)
 - CV: JIS10K
 - BV: バタフライバルブ (アルミダイキャスト、ウォームギヤ式)
 - AV: 自動エアージェット
 - PT: PTコネクタ-2山
 - FJ: フレキシブル継手、SUS500L



【 特記事項 】

1. 資材等の取扱いに注意し、事故防止に努めること。
2. 資材搬出入等、工事車両出入りの際は、施設管理者及び監督職員と協議し、施設利用者、近隣住民の安全に充分配慮し、適宜、交通誘導警備員を配置すること。
3. 工事工程については施設管理者及び監督職員と協議を行うこと。
また、工事に先立ち、工程表及び施工計画書を作成し、監督職員及び監理者の承認を受けること。
4. 作業員駐車場に関して、施設管理者及び監督職員と充分協議すること。
5. 作業経路及び搬入経路部分については養生・整理整頓を入念に行うこと。
工事範囲外の資材搬出入等に使用する経路については、養生を行うこと。
駐車場・通路の使用にあたり、安全作業に努め養生清掃等を常時行なうこと。
必要に応じてカラーコーン等で区画を行うこと。
6. 仮設設置期間中の職員・関係者の車両駐車場所について、施設管理者及び監督職員と協議すること。
7. 仮設便所等の設置期間は8月上旬～10月下旬

※センター側で設置する仮設トイレの給水は、ポーチ2の洗浄機の水栓からとる計画とする。
仮設給水、排水の接続は別途工事とする。

 改修対象建屋